

令和7年度
牧之原市 市民意識調査

～ 報 告 書 ～

令和7年6月
牧 之 原 市

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 調査結果の要約	2
①牧之原市での暮らしについて	2
②女性にやさしいまちについて	3
③子育てについて	3
④教育について	4
⑤多文化共生について	4
⑥公共施設の最適化について	4
⑦健康寿命について	5
⑧行政サービスのデジタル化について	5
⑨市からの情報発信について	6
⑩牧之原市の行政サービスについて	7
⑪全ての取組の満足度の評価点順位と令和6年度との比較	8
(2) 調査結果の詳細	10
①牧之原市での暮らしについて	10
(1) 今後の居住継続意向	10
(2) 他の場所へ移りたい理由	12
(3) 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか	15
(4) 浜岡原子力発電所の今後についての考え	18
②女性にやさしいまちについて	20
(5) 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか	20
(6) 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野	22
③子育てについて	24
(7) 牧之原市は子どもを育てやすい環境か	24
(8) 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組	26
④教育について	29
(9) 義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力	29
⑤多文化共生について	32
(10) 外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野	32
⑥公共施設の最適化について	34
(11) 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの	34
(12) 「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか	37
⑦健康寿命について	39
(13) 健康について気を付けていること	39
⑧行政サービスのデジタル化について	42
(14) 個人でインターネットを利用している端末	42
(15) デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること	45
⑨市からの情報発信について	48
(16) 市から得たい情報	48
(17) 市からの情報を得る媒体	51

⑩牧之原市の行政サービスについて	54
(18) 満足度について	54
(19) 満足度【防災】	55
(20) 満足度【健康福祉】	56
(21) 満足度【教育文化】	57
(22) 満足度【産業経済】	58
(23) 満足度【生活基盤】	59
(24) 満足度【市政経営】	60
(25) 重要だと思う取組（重要度上位5つの合計件数）	61
(26) 重要だと思う取組（1位）	62
(27) 重要だと思う取組（2位）	63
(28) 重要だと思う取組（3位）	64
(29) 重要だと思う取組（4位）	65
(30) 重要だと思う取組（5位）	66
(31) 重要だと思う取組（合計点数の高い順）	67
(32) 重要だと思う取組（平均点の高い順）	68
⑪回答者自身のことについて	69
(33) 回答者の属性 ①性別	69
(34) 回答者の属性 ②年齢	69
(35) 回答者の属性 ③同居世帯の構成	70
(36) 回答者の属性 ④子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろ	70
(37) 回答者の属性 ⑤職業	71
(38) 回答者の属性 ⑥居住地域	71

3. 調査票	72
--------------	----

1. 調査概要

(1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取組に対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、令和5年度からスタートした第3次総合計画推進のための資料とすることを目的としています。

(2) 調査項目

- | | |
|----------------|--------------------|
| ①牧之原市での暮らしについて | ②女性にやさしいまちについて |
| ③子育てについて | ④教育について |
| ⑤多文化共生について | ⑥公共施設の最適化について |
| ⑦健康寿命について | ⑧行政サービスのデジタル化について |
| ⑨市からの情報発信について | ⑩行政サービスについて |
| ⑪回答者自身のことについて | ⑫日ごろ思うこと（自由意見）【別冊】 |

(3) 調査の設計

- ・調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の16歳以上の市民
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布、郵送回収またはインターネット回答
- ・調査期間：令和7年4月24日（木）～令和7年5月12日（月）
- ・発送数：1,400人

(4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,396人※	701人 (郵送 : 459人) (インターネット : 242人)	50.2% (郵送 : 32.9%) (インターネット : 17.3%)

※対象者数は、発送数から宛先不明等による返戻4件を除いた数です。

◎報告書を見る際の注意事項

- ・回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示しています。
- ・百分率は小数第二位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。また、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しない場合があります。
- ・1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・選択肢の文字数が多い場合、表やグラフ上では省略して表記していることがあります。
- ・昨年度調査との比較、性別および年齢別のグラフに対するコメントは、それぞれ5.0ポイント以上の差がある回答についてのみ掲載しています。
- ・年齢別クロス集計の分析軸の各回答者数（件数）が20件未満のものについては、コメントを割愛しています。

2. 調査結果

(1) 調査結果の要約

①牧之原市での暮らしについて

■2人に1人以上が、今の居住場所に「住み続けたい」

問1 今後の居住継続意向

今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が52.2%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が22.5%、「わからない」が19.3%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■他の場所へ移りたい理由は

「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が約半数

問2 他の場所へ移りたい理由

他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が52.3%と最も多く、次いで「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が48.7%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が43.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」「道路などの生活基盤が整備されていないから」が6.0ポイント以上減少しています。

■市内で転居するなら「災害の心配がないところ」が約6割

問3 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか

市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するかについては、「災害の心配がないところ」が58.5%と最も多く、次いで「商店や公共施設の近く」が38.4%、「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が37.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■浜岡原子力発電所は「安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が約4割

「停止しておいたほうが良い」は2割強

問4 浜岡原子力発電所の今後についての考え

浜岡原子力発電所の今後についての考えは、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が44.4%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い」が25.1%、「どちらともいえない」が19.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が5.0ポイント増加しています。

②女性にやさしいまちについて

■約3人に1人が、女性が暮らしやすいまちだと『思わない』

問5 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか

牧之原市は女性が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が36.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」が25.5%、「ある程度思う」が14.3%などとなっています。また、『思う』（「とても思う」＋「ある程度思う」）は16.5%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は33.8%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は「仕事」「子育て」「日常生活」がいずれも半数以上

問6 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「仕事」が56.6%と最も多く、次いで「子育て」が53.4%、「日常生活」が49.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、「仕事」「日常生活」が11.0ポイント以上増加しています。

③子育てについて

■子どもを育てやすい環境だと『思う』は27.5%、『思わない』は31.4%

問7 牧之原市は子どもを育てやすい環境か

牧之原市は子どもを育てやすい環境かについては、「どちらともいえない」が28.5%と最も多く、次いで「あまり思わない」が25.4%、「ある程度思う」が24.4%などとなっています。また、『思う』（「とても思う」＋「ある程度思う」）は27.5%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は31.4%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■子どもを育てやすい環境にするためには 約6割が「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」と回答

問8 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組

子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が58.8%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が47.6%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が39.1%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

④教育について

■義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力は「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が4割強

問9 義務教育学校の整備を踏まえ、今後、子どもに身につけさせたい力

義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力は、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が47.2%と最も多く、次いで「善悪を判断する力」が32.5%、「自ら学ぼうとする意欲」が32.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」「自ら学ぼうとする意欲」が5.0ポイント以上増加しています。

⑤多文化共生について

■外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は「日常生活サポート」が約6割

問10 外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「日常生活サポート」が59.2%と最も多く、次いで「言語サポート」が49.5%、「相談できる窓口」が27.0%などとなっています。

昨年度と比較すると、「日常生活サポート」「相談できる窓口」が7.0ポイント以上増加しています。

⑥公共施設の最適化について

■知っている取組は「学校再編の取組」が6割以上、「片浜小学校の利活用」は半数

問11 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているものは、「学校再編の取組」が66.3%と最も多く、次いで「片浜小学校の利活用」が50.2%、「道の駅の整備」が46.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はありません。

■施設の廃止や使用料の値上がりを「ある程度までは容認できる」と約7割が回答

問12 「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が72.9%と最も多く、次いで「容認できる」が13.6%、「容認できない」が11.4%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑦健康寿命について

■健康について気を付けていることは「睡眠・休養を十分にとる」が約6割

問13 健康について気を付けていること

健康について気を付けていることは、「睡眠・休養を十分にとる」が61.9%と最も多く、次いで「食事・栄養に気を配っている」が57.8%、「定期的に健康診断を受けている」が50.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「食事・栄養に気を配っている」「定期的に健康診断を受けている」が6.0ポイント以上増加しています。

⑧行政サービスのデジタル化について

■「スマートフォン」でのインターネット利用者が84.0%

個人でインターネットを利用していない人は9.3%

問14 個人でインターネットを利用している端末

個人でインターネットを利用している端末は、「スマートフォン」が84.0%と最も多く、次いで「パソコン」が42.9%、「インターネットに接続できるテレビ」が26.0%などとなっています。

昨年度と比較すると、「パソコン」が10.3ポイント減少しています。

■利便性向上に期待することは

「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が半数以上

問15 デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること

デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待することは、「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が53.8%と最も多く、次いで「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が52.2%、「窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー）が利用できる」が27.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑨市からの情報発信について

■最も得たい情報は、半数以上が「防災・防犯」と回答

問16 市から得たい情報

市から得たい情報は、「防災・防犯」が54.6%と最も多く、次いで「健康・医療・福祉」が48.4%、「観光・イベント」が39.8%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■「広報まきのほら」を情報源としている人が7割以上、「市公式LINE」は半数以上

問17 市からの情報を得る媒体

市からの情報を得る媒体は、「広報まきのほら」が70.5%と最も多く、次いで「市公式LINE」が56.8%、「区、町内会の会合」が19.5%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑩牧之原市の行政サービスについて

※『満足』は満足度「満足」＋「やや満足」を指します。

■「火災・救急などの消防体制」の満足度が、全分野を通して最も高い

【防災】

満足度は、「3 火災・救急などの消防体制」で『満足』が 68.9%、評価点が 0.50 点と、最も高くなっています。

■満足度・評価点ともに「健康づくり」が最も高い

【健康福祉】

満足度は、「12 健康づくり」で『満足』が 59.3%、評価点が 0.27 点と、最も高くなっています。

■満足度・評価点ともに「図書館の機能充実」が最も高い

【教育文化】

満足度は、「19 図書館の機能充実」で『満足』が 59.3%、評価点が 0.33 点と、最も高くなっています。

■満足度・評価点ともに「各種イベントの開催」が最も高い

【産業経済】

満足度は、「32 各種イベントの開催」で『満足』が 42.9%、評価点が -0.18 点と、最も高くなっています。

■満足度・評価点ともに「ごみの適正な処理などの生活環境対策」が最も高い

【生活基盤】

満足度は、「38 ごみの適正な処理などの生活環境対策」で『満足』が 61.2%、評価点が 0.30 点と、最も高くなっています。

■満足度・評価点ともに「市の情報や知りたい取組などの情報発信」が最も高い

【市政経営】

満足度は、「48 市の情報や知りたい取組などの情報発信」で『満足』は 61.1%、評価点が 0.35 点と、最も高くなっています。

⑪全ての取組の満足度の評価点順位と令和6年度との比較

分野	評価項目	満足度（R7）		満足度（R6）	
		順位	評価点	順位	評価点
防災	1 震災・水害・浸水対策	29	-0.20	24	-0.18
	2 自主防災組織の強化	9	0.13	8	0.07
	3 火災・救急などの消防体制	1	0.50	1	0.47
	4 盗難などの犯罪防止	20	-0.02	16	-0.08
	5 学校や地域で子どもを守る活動	2	0.49	2	0.42
	6 道路交通の安全対策	20	-0.02	20	-0.11
健康福祉	7 子育て支援	19	-0.01	18	-0.10
	8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援	31	-0.23	32	-0.25
	9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	15	0.06	23	-0.16
	10 高齢者福祉	18	0.02	13	0.00
	11 障がい者福祉	17	0.04	11	0.05
	12 健康づくり	6	0.27	6	0.13
	13 地域医療や榛原病院の体制	37	-0.39	41	-0.48
	14 地域福祉活動	12	0.08	15	-0.02
教育文化	15 子どもを通わせたいと思える学校環境	13	0.07	13	0.00
	16 学校再編の推進	11	0.09	8	0.07
	17 生涯学習活動の充実	8	0.14	12	0.02
	18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会	9	0.13	16	-0.08
	19 図書館の機能充実	4	0.33	6	0.13
	20 スポーツ環境の充実	13	0.07	24	-0.18
産業経済	21 農業者・水産業者への支援	36	-0.36	27	-0.21
	22 茶の消費促進	30	-0.21	-	-
	23 その他（茶以外）特産品の消費促進	34	-0.28	-	-
	24 荒廃農地の活用	49	-0.86	47	-0.77
	25 耕作しやすい農地整備	45	-0.58	44	-0.53
	26 企業誘致	48	-0.67	46	-0.58
	27 起業に対する支援	38	-0.41	38	-0.38
	28 雇用機会の創出や就業環境の充実	42	-0.49	39	-0.44
	29 商工業者への支援	32	-0.25	36	-0.34
	30 市内での買い物環境	43	-0.55	45	-0.57
	31 観光誘客の促進	44	-0.57	43	-0.52
	32 各種イベントの開催	28	-0.18	33	-0.26
生活基盤	33 道路や河川の補修・整備	35	-0.33	29	-0.23
	34 上水道の供給環境	7	0.18	5	0.25
	35 住宅、店舗、工場などの計画的な誘導	40	-0.42	37	-0.37
	36 住宅地の確保や空き地情報の発信	46	-0.60	42	-0.50
	37 公園・緑地の管理や整備	41	-0.43	39	-0.44
	38 ごみの適正な処理などの生活環境対策	5	0.30	4	0.28
	39 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組	16	0.05	10	0.06
	40 再生可能エネルギー・省エネルギーの促進	23	-0.11	24	-0.18
	41 街並みや周辺の景観・美観への保全	33	-0.27	31	-0.24
	42 自然環境の保全	22	-0.07	21	-0.12
	43 富士山静岡空港を活用するための取組	26	-0.17	34	-0.28
	44 公共交通の充実	47	-0.66	47	-0.77
市政経営	45 自治会の住民自治活動への支援	25	-0.16	18	-0.10
	46 行政と地域の連携・協働	26	-0.17	27	-0.21
	47 行政改革	38	-0.41	35	-0.31
	48 市の情報や知りたい取組などの情報発信	3	0.35	3	0.32
	49 姉妹都市、友好都市などとの交流	23	-0.11	22	-0.14

※評価点の算出方法は54ページ参照。
※満足度の上位項目（第5位まで）には網掛けが付いています。

【満足度順】

分野の凡例

防	防災	健	健康福祉	教	教育文化	産	産業経済	生	生活基盤	市	市政経営
---	----	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------

分野	評価項目	満足度（R7）		満足度（R6）	
		順位	評価点	順位	評価点
防	3 火災・救急などの消防体制	1	0.50	1	0.47
防	5 学校や地域で子どもを守る活動	2	0.49	2	0.42
市	48 市の情報や知りたい取組などの情報発信	3	0.35	3	0.32
教	19 図書館の機能充実	4	0.33	6	0.13
生	38 ごみの適正な処理などの生活環境対策	5	0.30	4	0.28
健	12 健康づくり	6	0.27	6	0.13
生	34 上水道の供給環境	7	0.18	5	0.25
教	17 生涯学習活動の充実	8	0.14	12	0.02
防	2 自主防災組織の強化	9	0.13	8	0.07
教	18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会	9	0.13	16	-0.08
教	16 学校再編の推進	11	0.09	8	0.07
健	14 地域福祉活動	12	0.08	15	-0.02
教	15 子どもを通わせたいと思える学校環境	13	0.07	13	0.00
教	20 スポーツ環境の充実	13	0.07	24	-0.18
健	9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	15	0.06	23	-0.16
生	39 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組	16	0.05	10	0.06
健	11 障がい者福祉	17	0.04	11	0.05
健	10 高齢者福祉	18	0.02	13	0.00
健	7 子育て支援	19	-0.01	18	-0.10
防	4 盗難などの犯罪防止	20	-0.02	16	-0.08
防	6 道路交通の安全対策	20	-0.02	20	-0.11
生	42 自然環境の保全	22	-0.07	21	-0.12
生	40 再生可能エネルギー・省エネルギーの促進	23	-0.11	24	-0.18
市	49 姉妹都市・友好都市などとの交流	23	-0.11	22	-0.14
市	45 自治会の住民自治活動への支援	25	-0.16	18	-0.10
生	43 富士山静岡空港を活用するための取組	26	-0.17	34	-0.28
市	46 行政と地域の連携・協働	26	-0.17	27	-0.21
産	32 各種イベントの開催	28	-0.18	33	-0.26
防	1 震災・水害・浸水対策	29	-0.20	24	-0.18
産	22 茶の消費促進	30	-0.21	-	-
健	8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援	31	-0.23	32	-0.25
産	29 商工業者への支援	32	-0.25	36	-0.34
生	41 街並みや周辺の景観・美観への保全	33	-0.27	31	-0.24
産	23 その他（茶以外）特産品の消費促進	34	-0.28	-	-
生	33 道路や河川の補修・整備	35	-0.33	29	-0.23
産	21 農業者・水産業者への支援	36	-0.36	27	-0.21
健	13 地域医療や榛原病院の体制	37	-0.39	41	-0.48
産	27 起業に対する支援	38	-0.41	38	-0.38
市	47 行政改革	38	-0.41	35	-0.31
生	35 住宅、店舗、工場などの計画的な誘導	40	-0.42	37	-0.37
生	37 公園・緑地の管理や整備	41	-0.43	39	-0.44
産	28 雇用機会の創出や就業環境の充実	42	-0.49	39	-0.44
産	30 市内での買い物環境	43	-0.55	45	-0.57
産	31 観光誘客の促進	44	-0.57	43	-0.52
産	25 耕作しやすい農地整備	45	-0.58	44	-0.53
生	36 住宅地の確保や空き地情報の発信	46	-0.60	42	-0.50
生	44 公共交通の充実	47	-0.66	47	-0.77
産	26 企業誘致	48	-0.67	46	-0.58
産	24 荒廃農地の活用	49	-0.86	47	-0.77

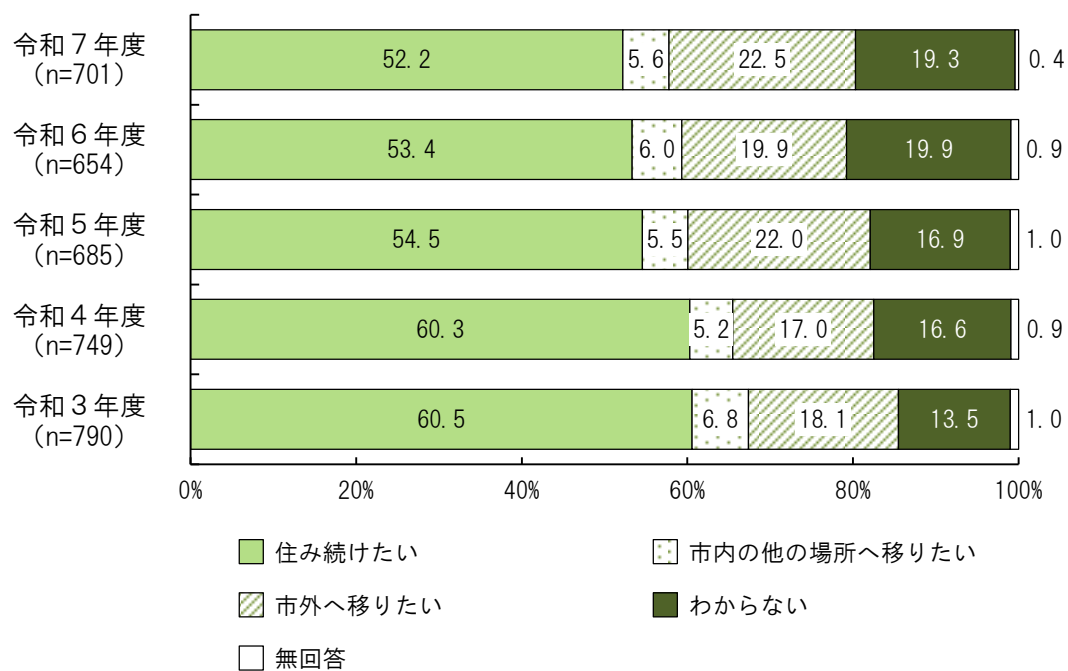
※満足度の評価点の高い順に並べ替えています。

(2) 調査結果の詳細

①牧之原市での暮らしについて

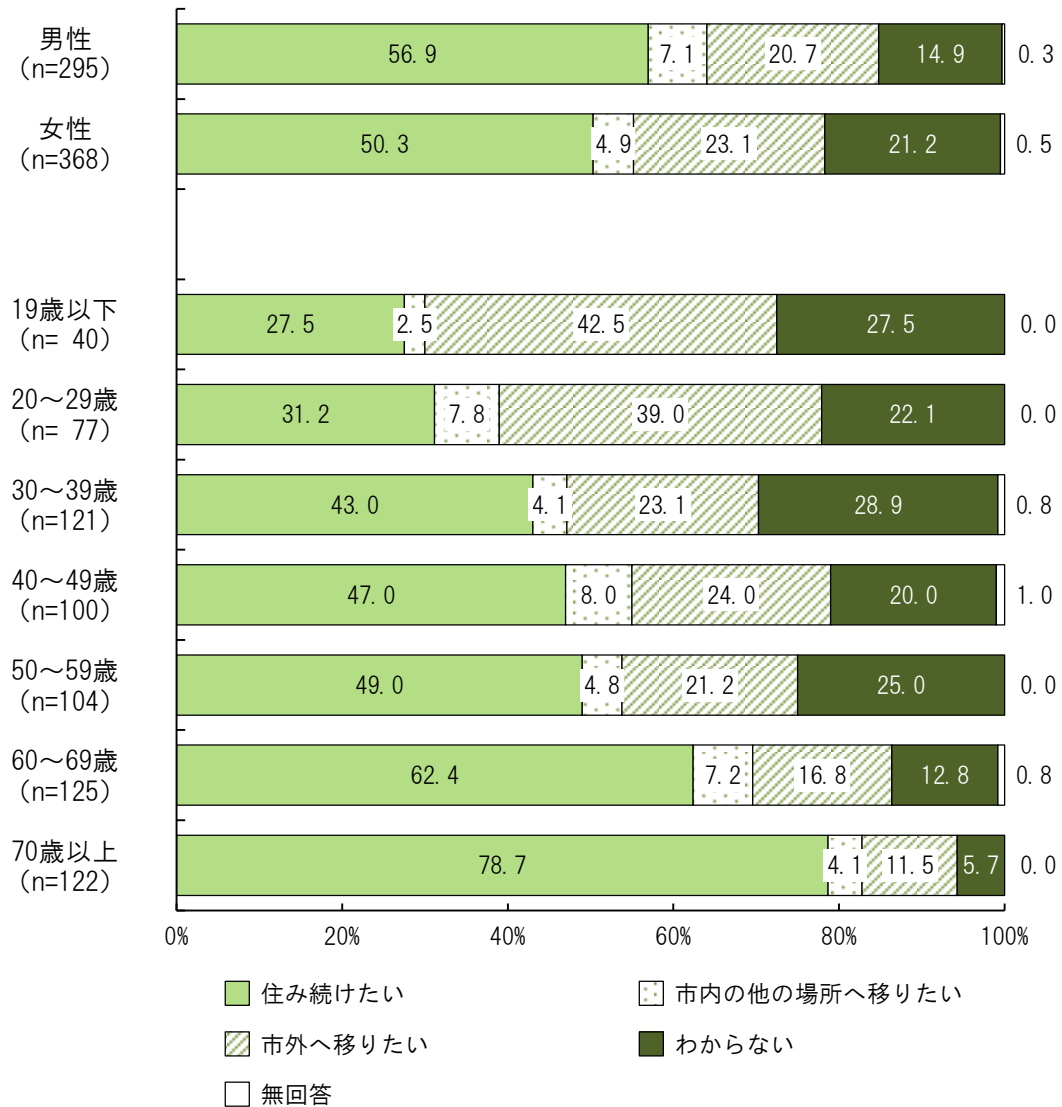
(1) 今後の居住継続意向

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？（○は1つ）



今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が52.2%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が22.5%、「わからない」が19.3%などとなっています。
 昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



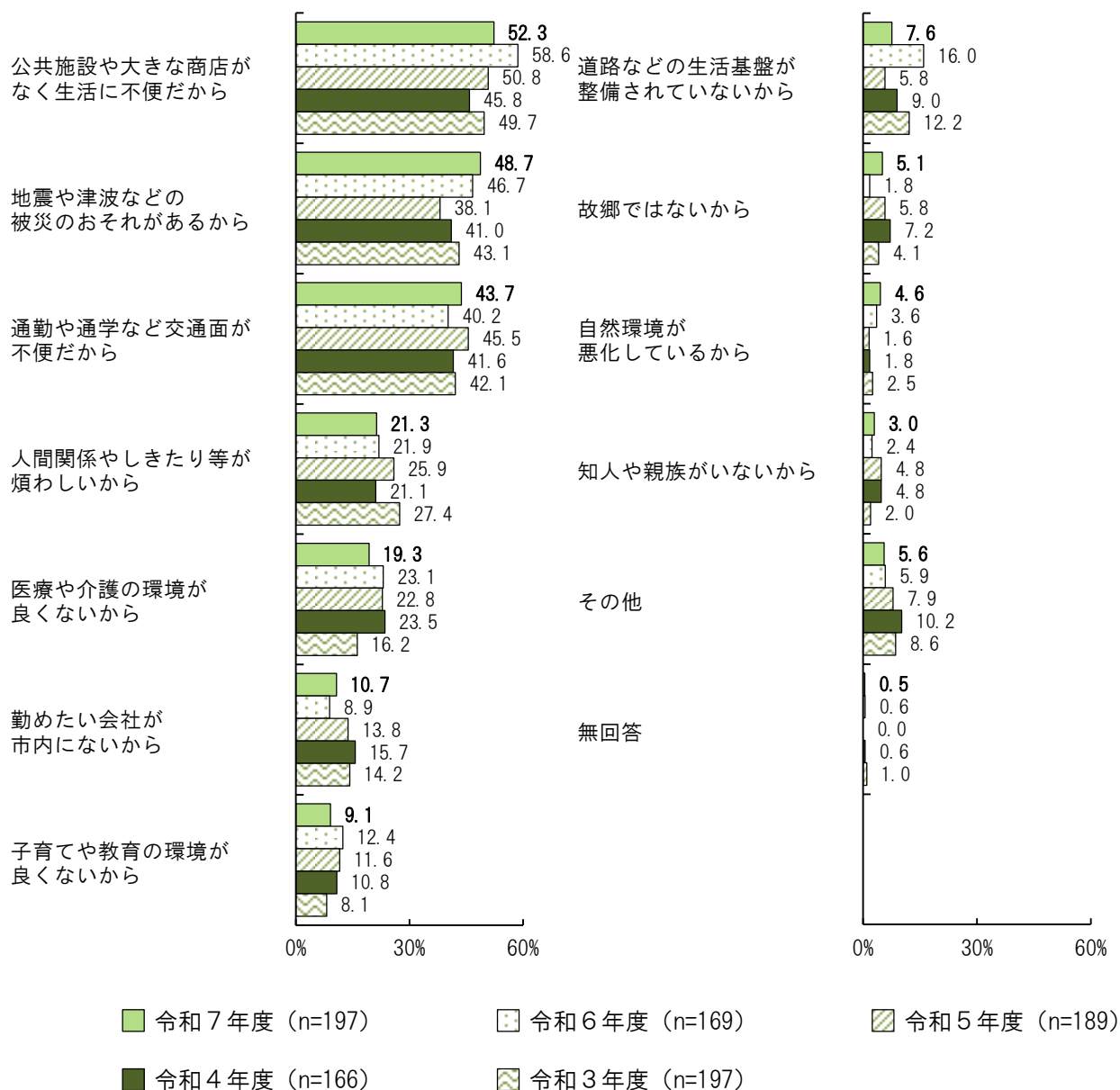
【性 別】：男性は「住み続けたい」が 56.9%と女性より多くなっています。

【年齢別】：70 歳以上は「住み続けたい」が 78.7%と他の年代に比べて多く、「市外へ移りたい」「わからない」が少なくなっています。

(2) 他の場所へ移りたい理由

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と答えた方のみ

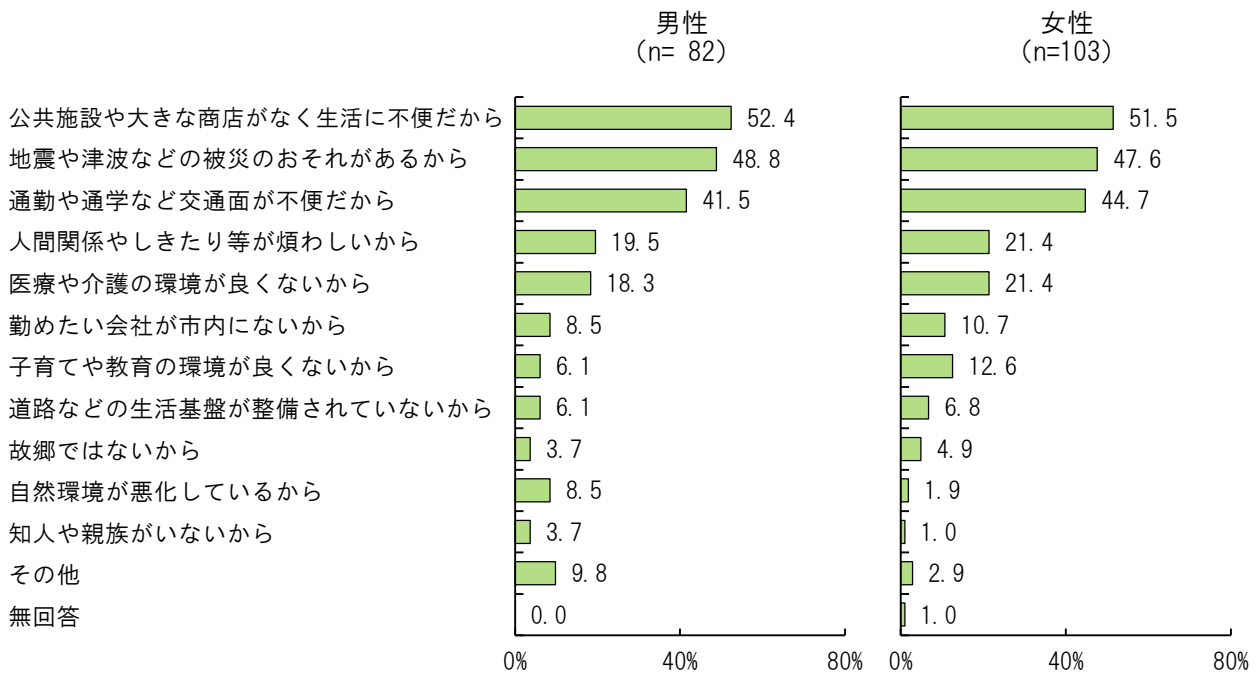
問2 他の場所へ移りたい理由は何ですか？（○は3つ以内）



他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が52.3%と最も多く、次いで「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が48.7%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が43.7%などとなっています。

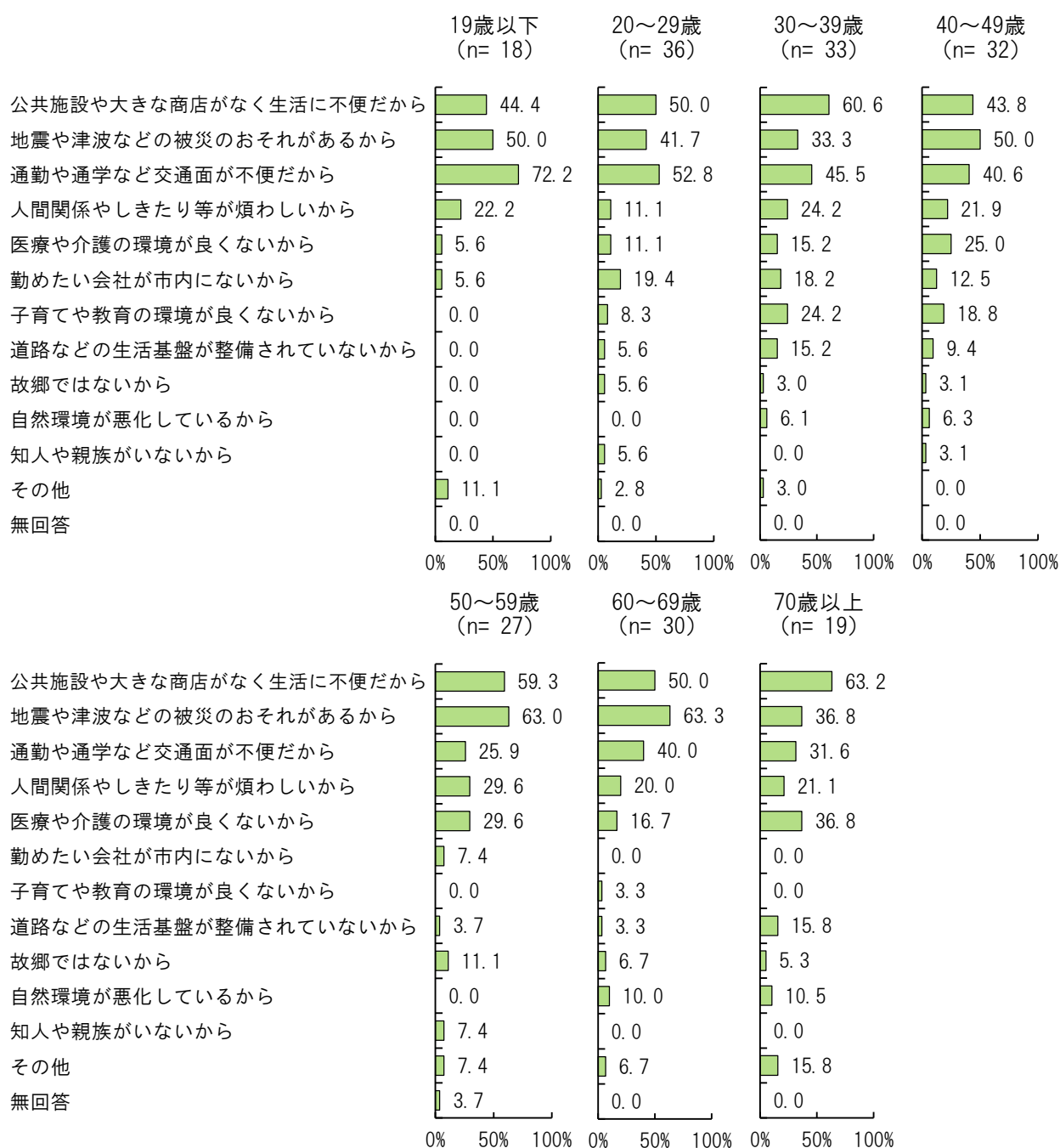
昨年度と比較すると、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」「道路などの生活基盤が整備されていないから」が6.0ポイント以上減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】: 男性は「自然環境が悪化しているから」が8.5%と女性より多くなっています。女性は「子育てや教育の環境が良くないから」が12.6%と男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

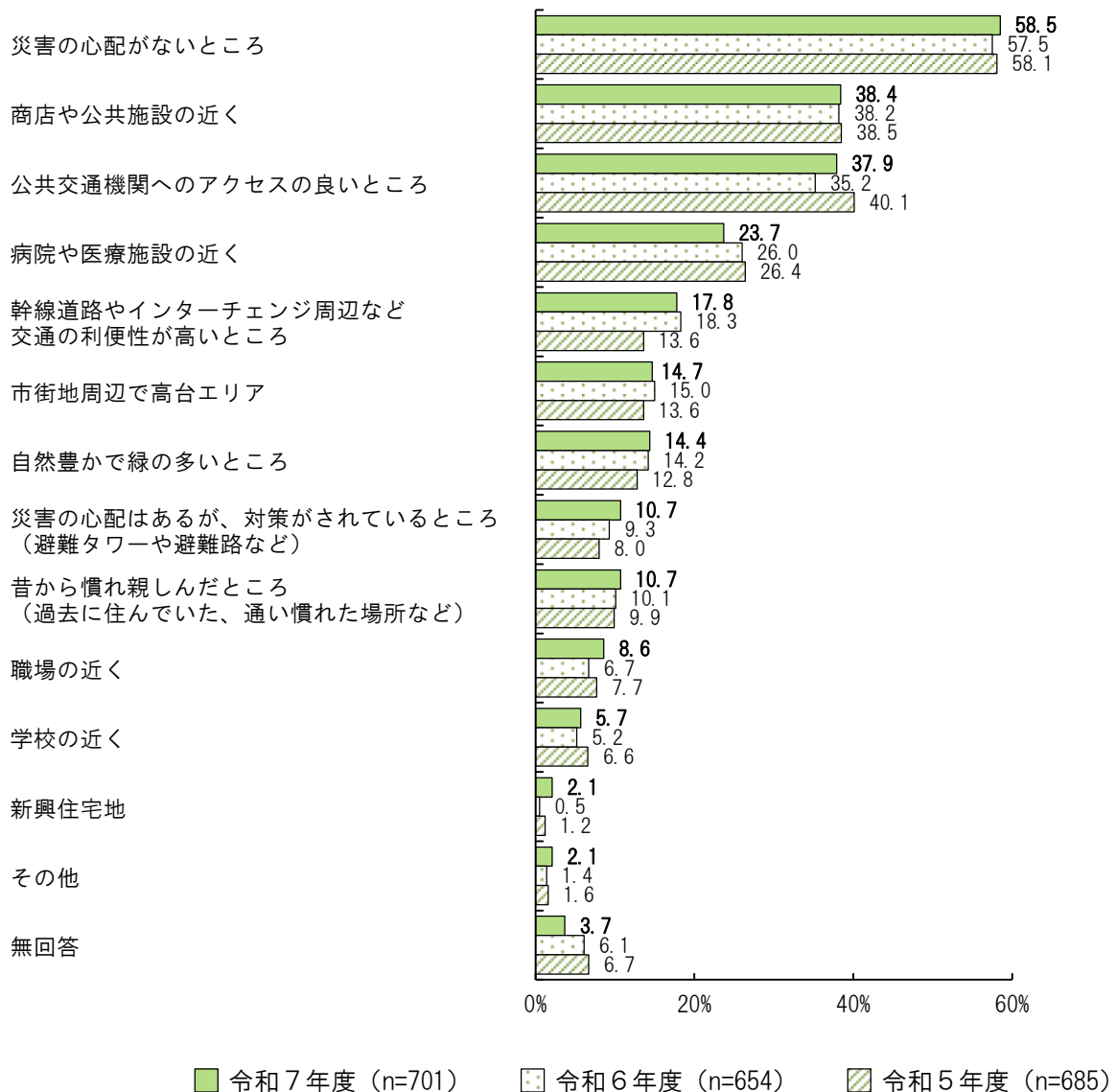


【年齢別】：20~29歳は「通勤や通学など交通面が不便だから」が52.8%と他の年代に比べて多く、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が11.1%と少なくなっています。30~39歳は「子育てや教育の環境が良くないから」「道路などの生活基盤が整備されていないから」が多く、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が33.3%と少なくなっています。また、40~49歳は「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が43.8%と少なくなっています。さらに、50~59歳は「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が29.6%と多く、「通勤や通学など交通面が不便だから」が25.9%と少なくなっています。

(3) 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか

問3 市内で転居するとしたら、どんな場所に住みたいですか？（○は3つ以内）

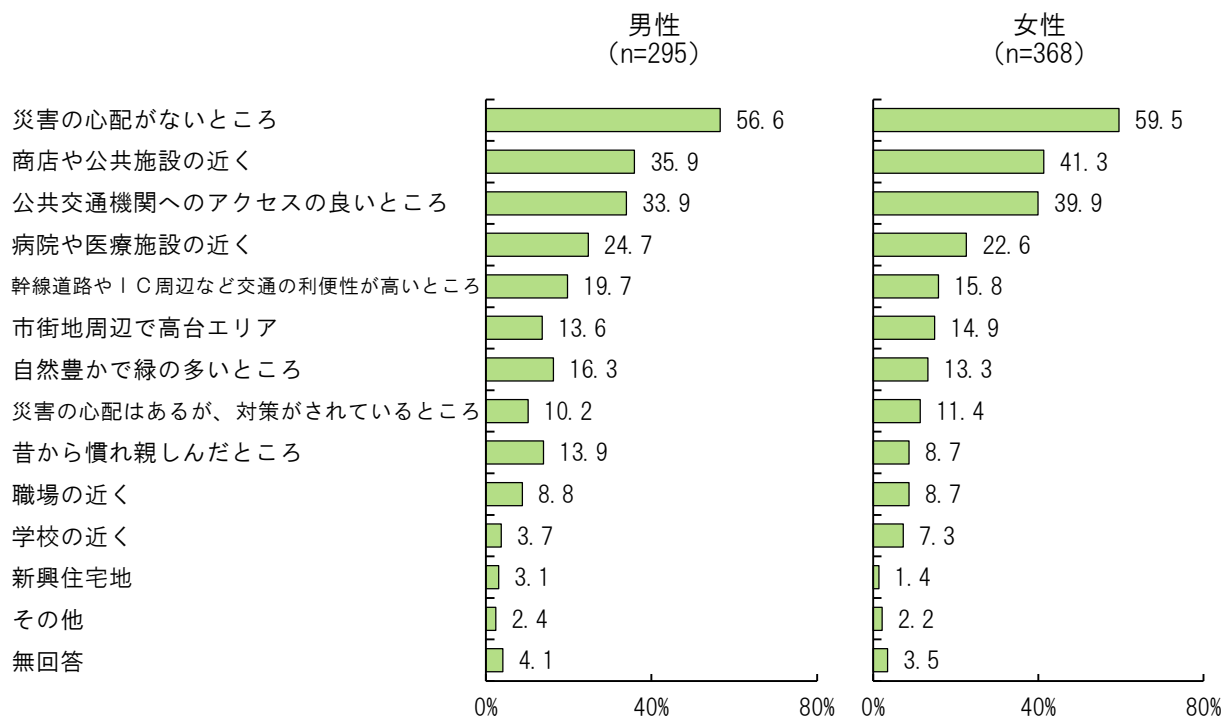
※転居する予定がない方もお答えください。



市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するかについては、「災害の心配がないところ」が58.5%と最も多く、次いで「商店や公共施設の近く」が38.4%、「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が37.9%などとなっています。

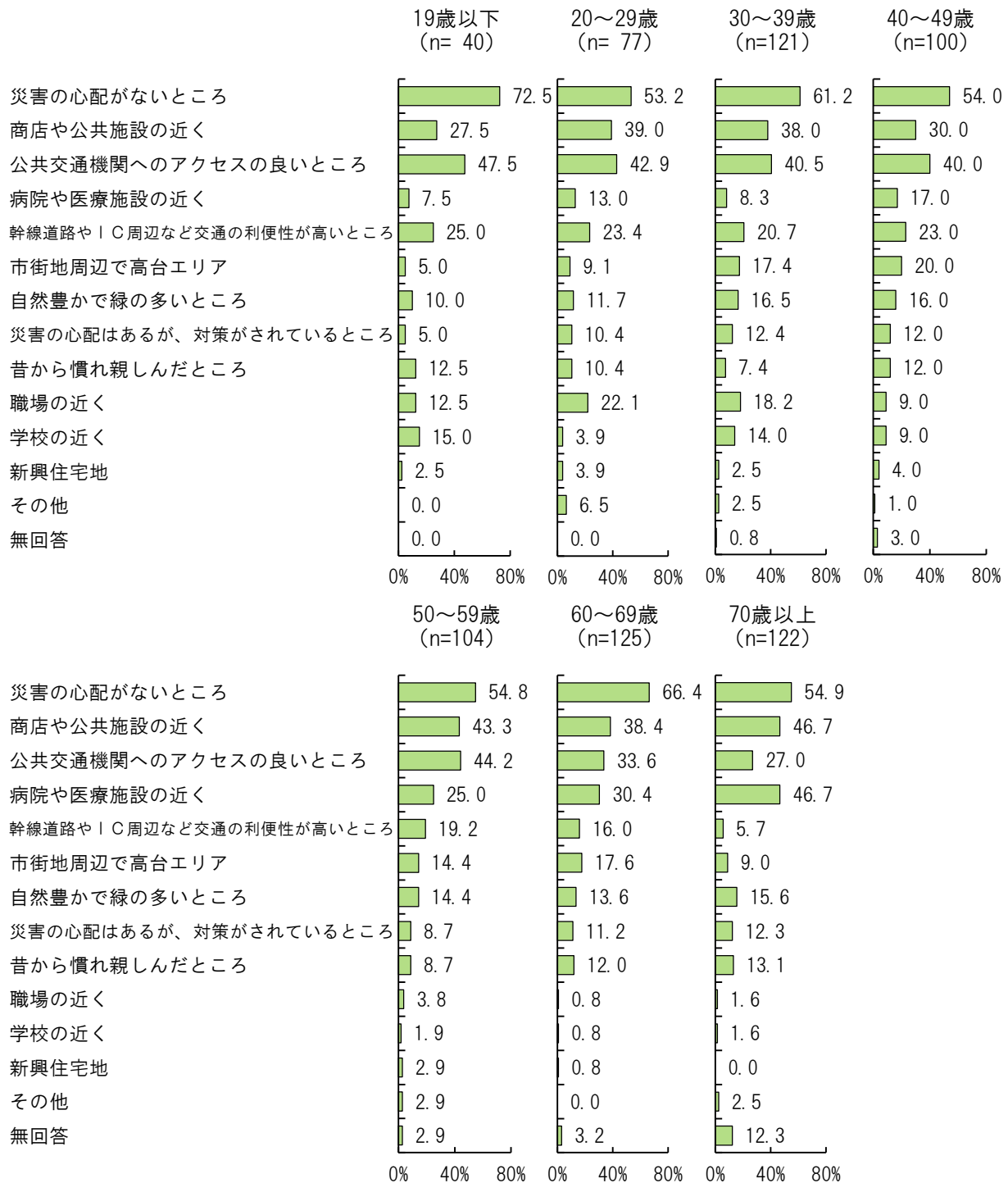
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】:男性は「昔から慣れ親しんだところ（過去に住んでいた、通い慣れた場所など）」が13.9%と女性より多くなっています。女性は「商店や公共施設の近く」「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が男性より多くなっています。

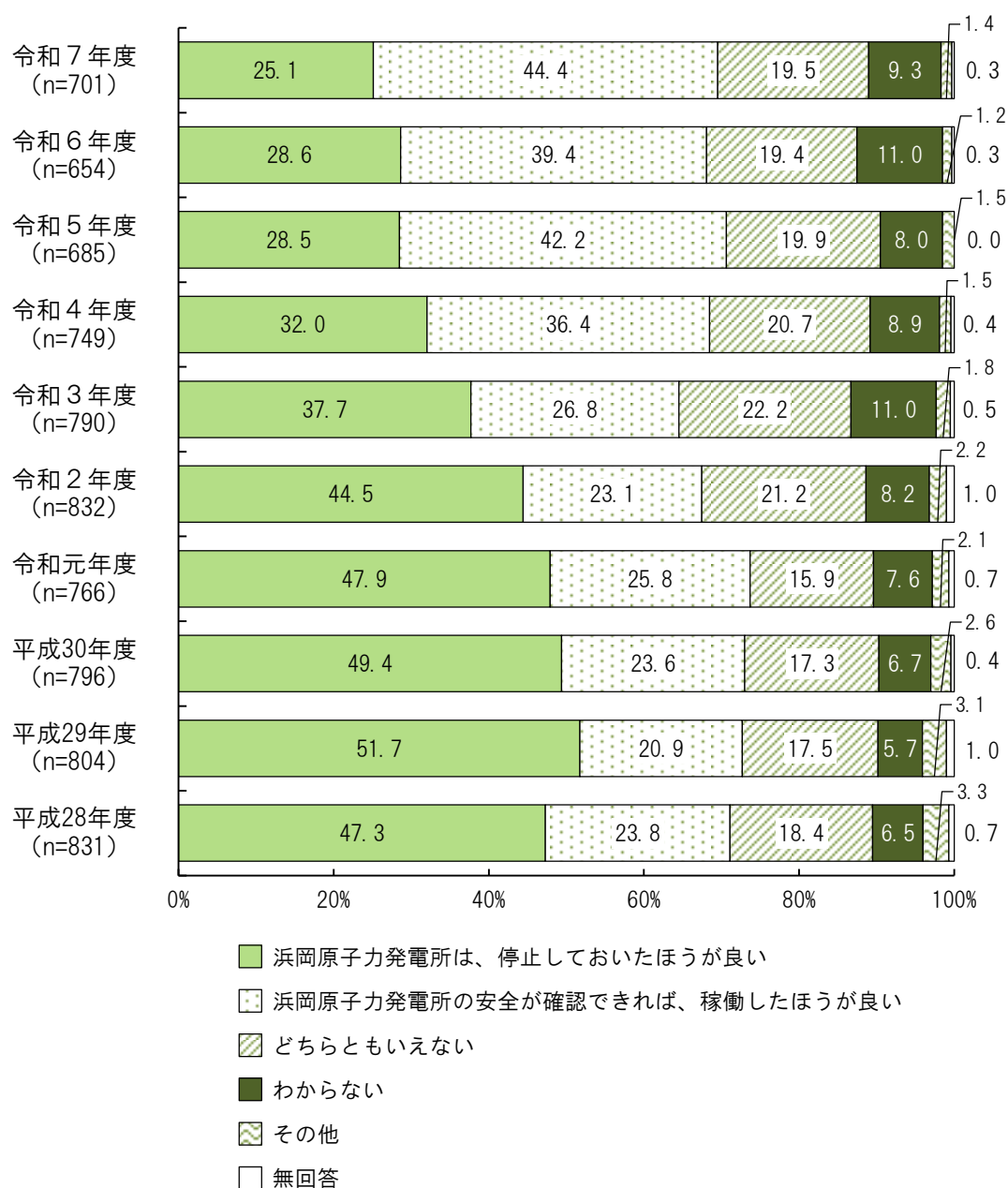
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19 歳以下は「災害の心配がないところ」が 72.5% と他の年代に比べて多くなっています。70 歳以上は「病院や医療施設の近く」が 46.7% と多く、「公共交通機関へのアクセスの良いところ」「幹線道路や I C 周辺など交通の利便性が高いところ」が少なくなっています。

(4) 浜岡原子力発電所の今後についての考え

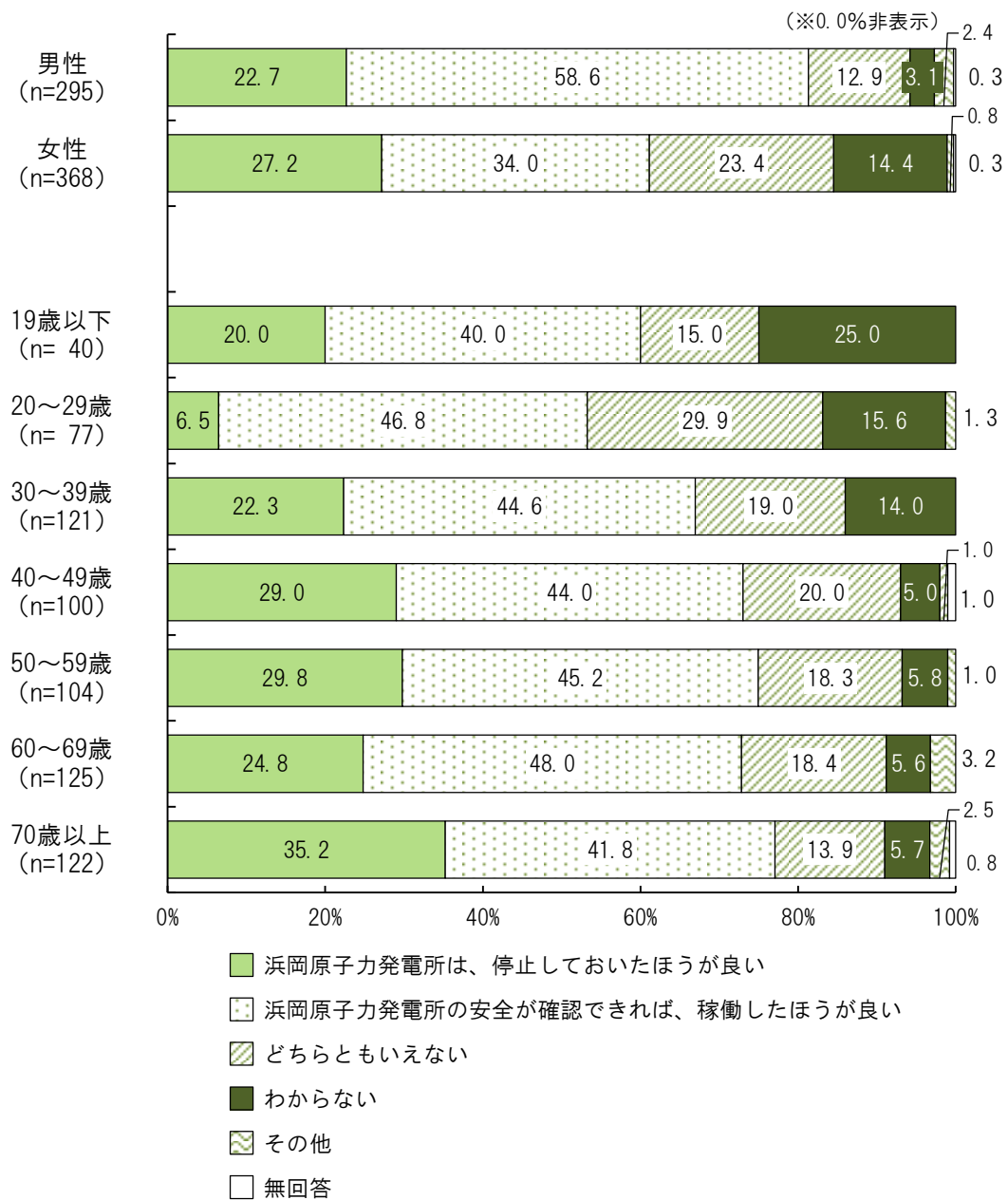
問4 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？（○は1つ）



浜岡原子力発電所の今後についての考えは、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が44.4%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い」が25.1%、「どちらともいえない」が19.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が5.0ポイント増加しています。

クロス集計（性別・年齢別）



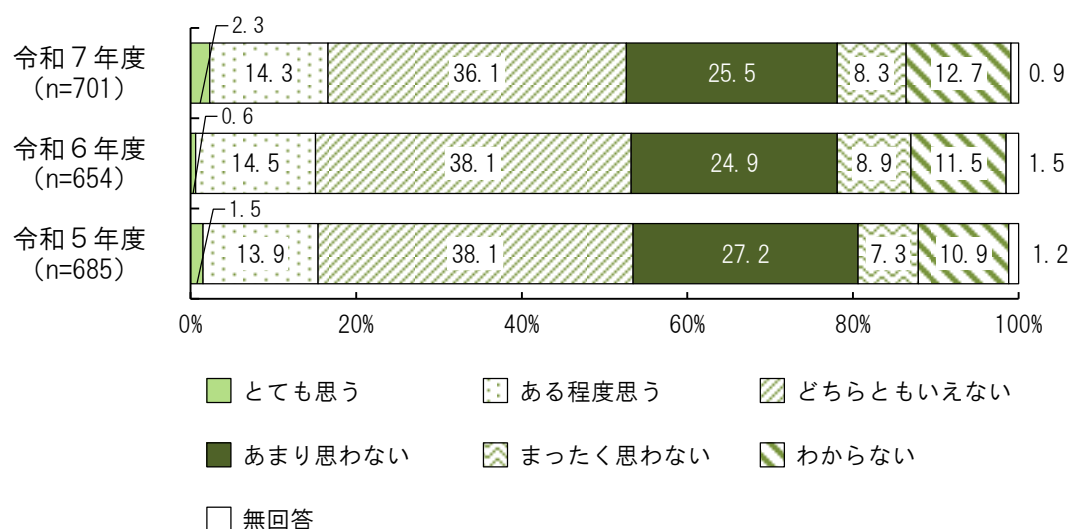
【性別】：男性は「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が58.6%と女性より多くなっています。女性は「どちらともいえない」「わからない」が男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「わからない」が25.0%と他の年代に比べて多くなっています。20～29歳は「どちらともいえない」が29.9%と多く、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い」が6.5%と少なくなっています。また、70歳以上は「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い」が35.2%と多くなっています。

②女性にやさしいまちについて

(5) 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか

問5 あなたは、牧之原市は女性が暮らしやすいまちだと思いますか？（○は1つ）

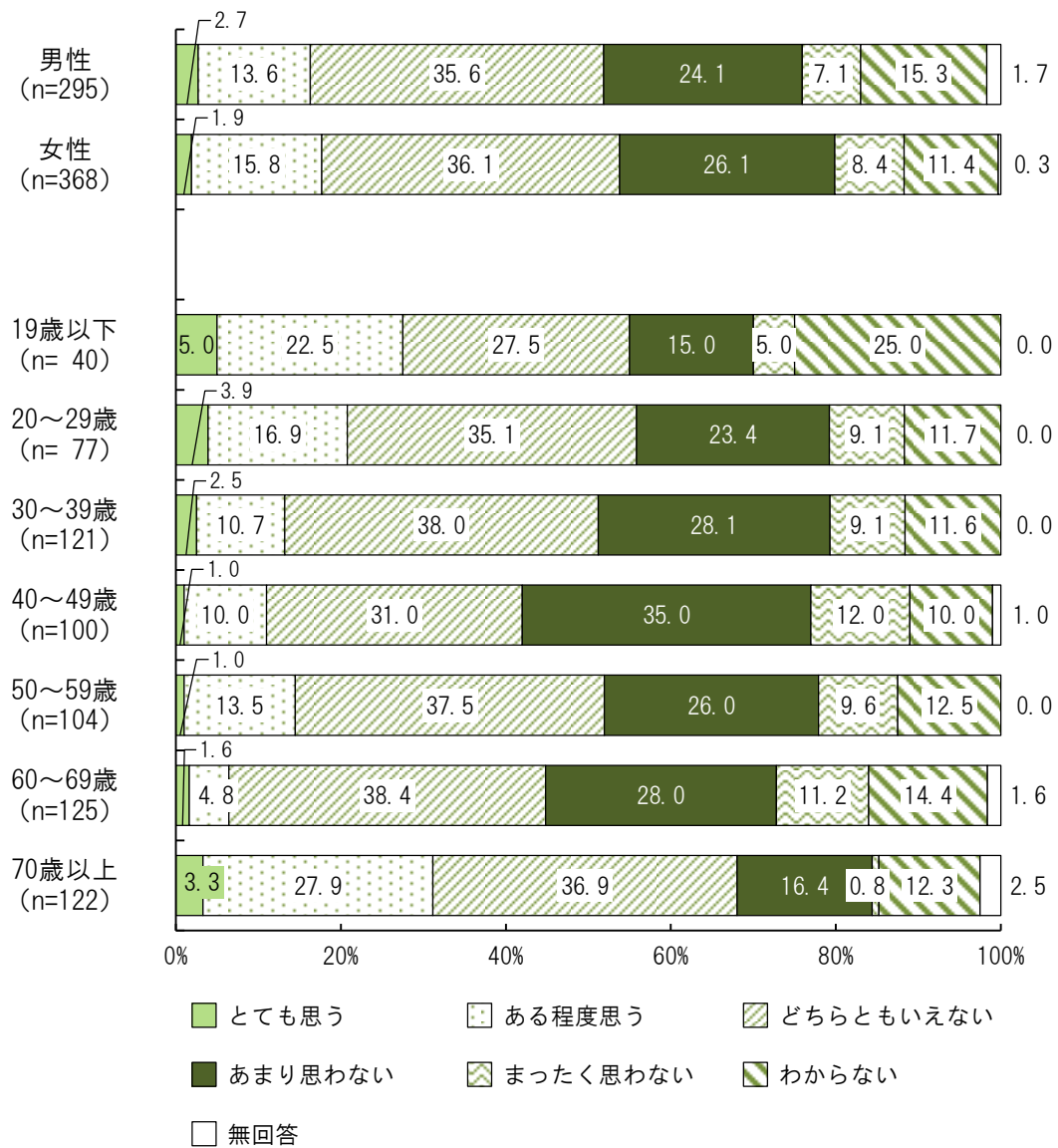


※「とても思う」は、令和5年度以前は「大いに思う」という選択肢でした。

牧之原市は女性が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が36.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」が25.5%、「ある程度思う」が14.3%などとなっています。また、『思う』（「とても思う」＋「ある程度思う」）は16.5%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は33.8%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

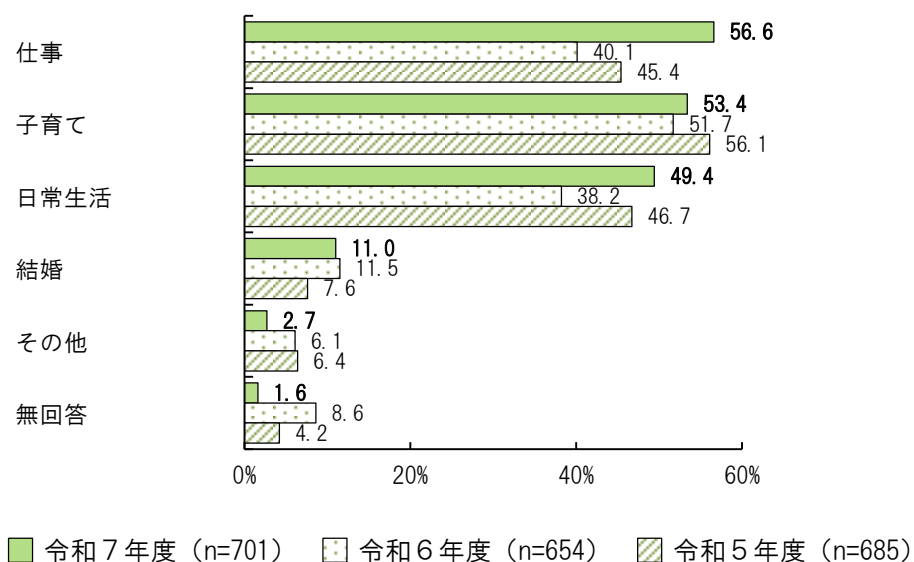


【性 別】：大きな差異はみられません。

【年齢別】：19歳以下は「わからない」が25.0%と他の年代に比べて少なくなっています。40～49歳は「あまり思わない」が35.0%と多くなっています。60～69歳は「ある程度思う」が4.8%と少なくなっています。70歳以上は「ある程度思う」が27.9%と多くなっています。また、『思わない』は40～49歳が47.0%と多くなっています。

(6) 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

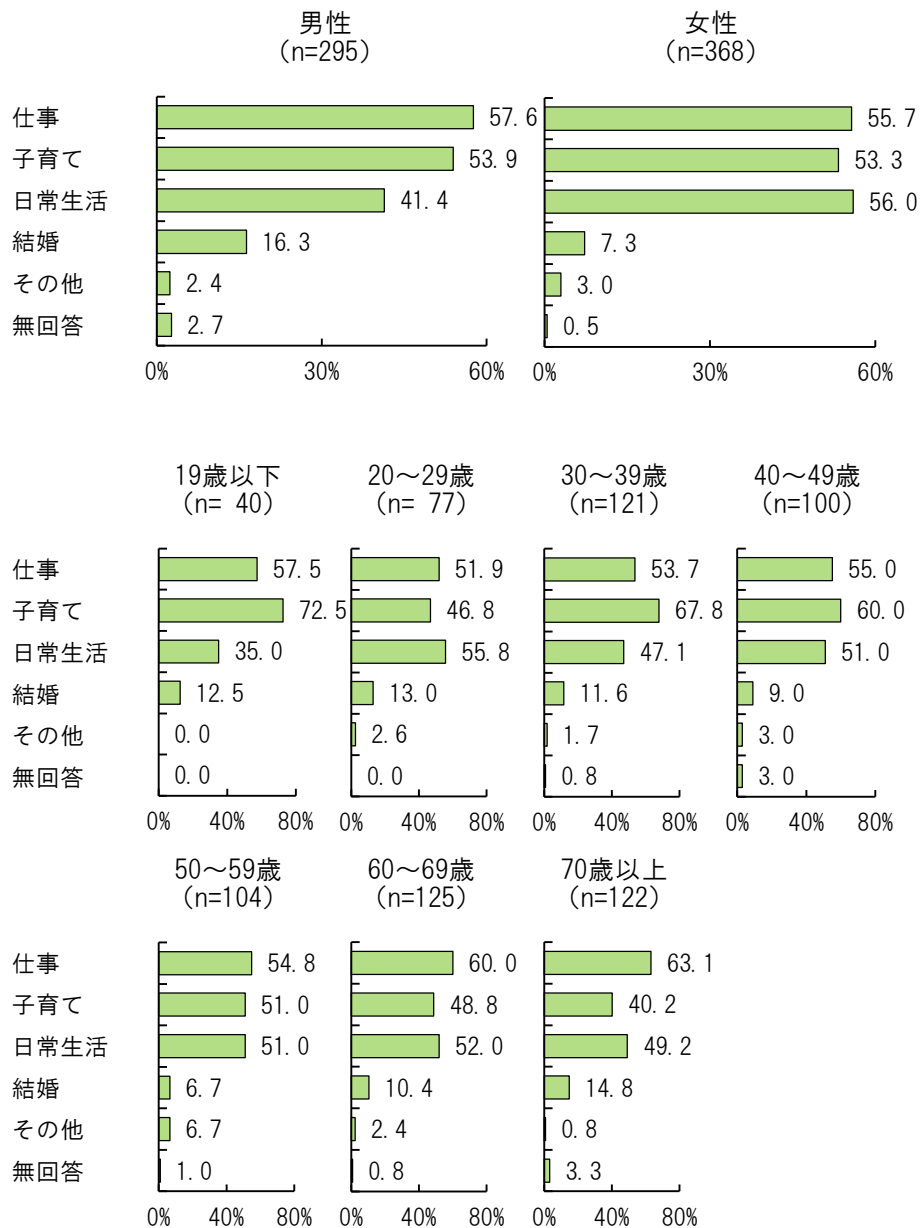
問6 あなたは、女性にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？（○は2つ以内）



女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「仕事」が 56.6%と最も多く、次いで「子育て」が 53.4%、「日常生活」が 49.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、「仕事」「日常生活」が 11.0 ポイント以上増加しています。

クロス集計（性別・年齢別）



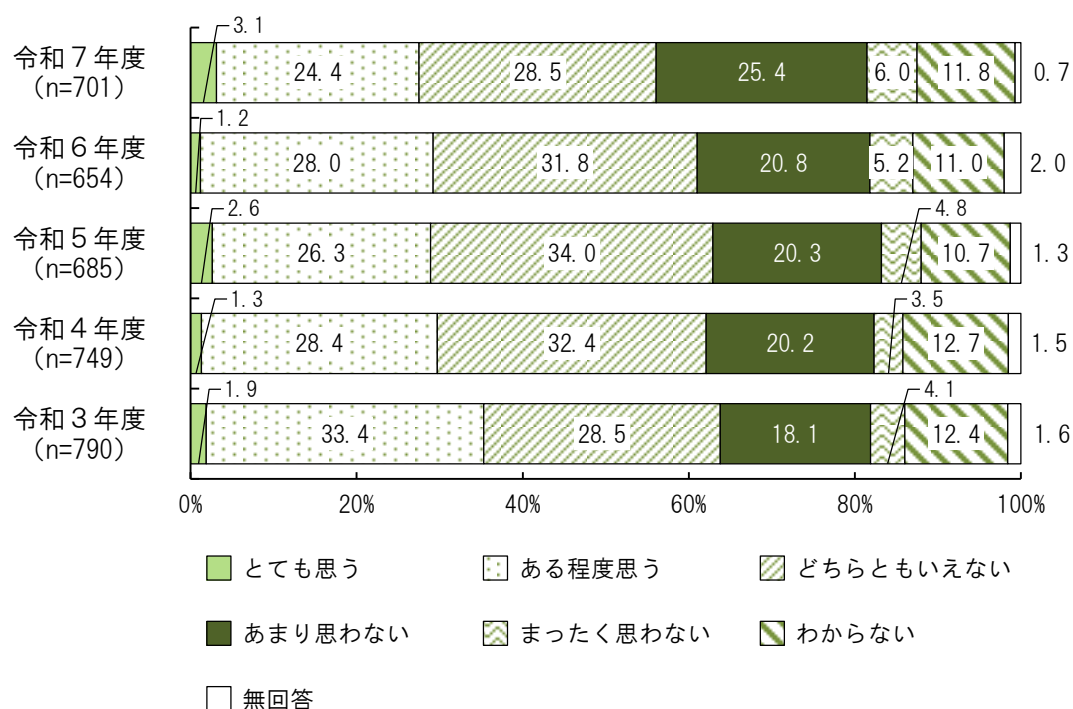
【性別】：男性は「結婚」が16.3%と女性より多くなっています。女性は「日常生活」が56.0%と男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「日常生活」が35.0%と他の年代に比べて少なくなっています。70歳以上は「子育て」が40.2%と少なくなっています。

③子育てについて

(7) 牧之原市は子どもを育てやすい環境か

問7 あなたは、牧之原市が子どもを育てやすい環境だと思いますか？（○は1つ）



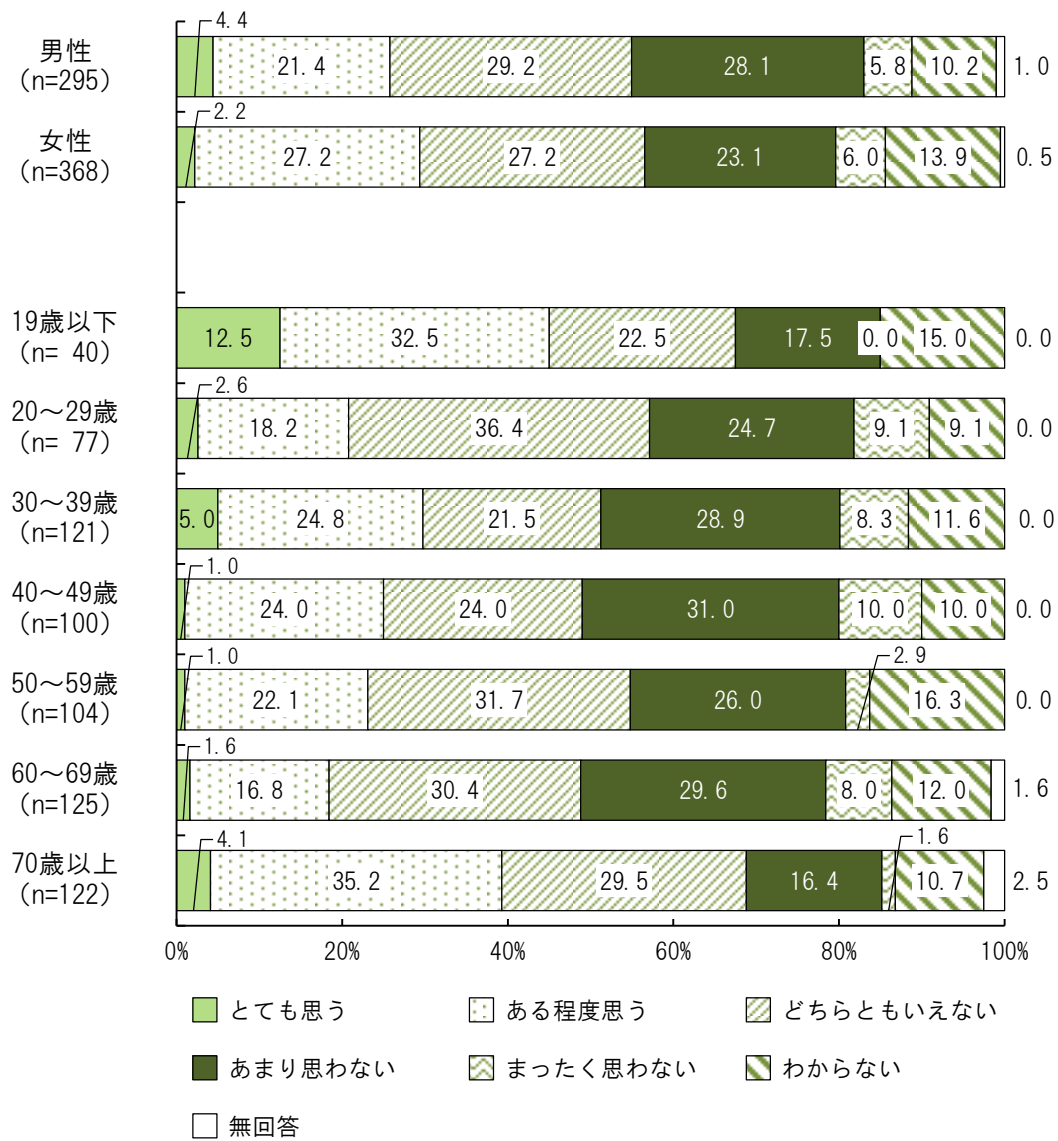
※「とても思う」は、令和5年度以前は「大いに思う」という選択肢でした。

令和3年度以前は「あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？」という設問文でした。

牧之原市は子どもを育てやすい環境かについては、「どちらともいえない」が28.5%と最も多く、次いで「あまり思わない」が25.4%、「ある程度思う」が24.4%などとなっています。また、『思う』（「とても思う」＋「ある程度思う」）は27.5%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は31.4%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

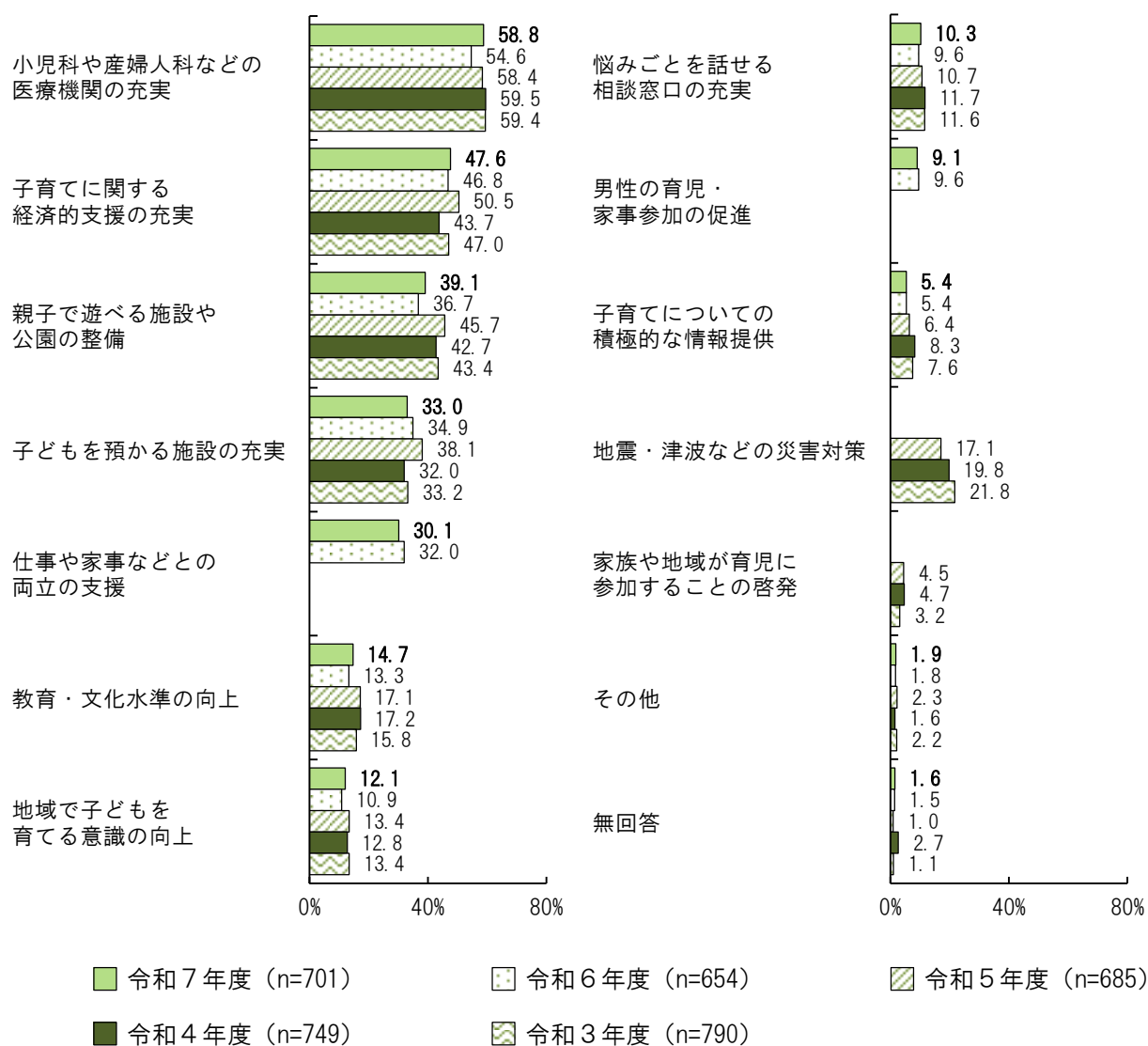


【性別】：男性は「あまり思わない」が 28.1%と女性より多くなっています。女性は「ある程度思う」が 27.2%と男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は『思う』が 45.0%と他の年代に比べて多くなっています。

(8) 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組

問8 あなたは、子どもを育てやすい環境にするためには、市はどんなことに力を入れるべきだと思いますか？（〇は3つ以内）



※「仕事や家事などとの両立の支援」「男性の育児・家事参加の促進」は、令和6年度に追加された選択肢です。

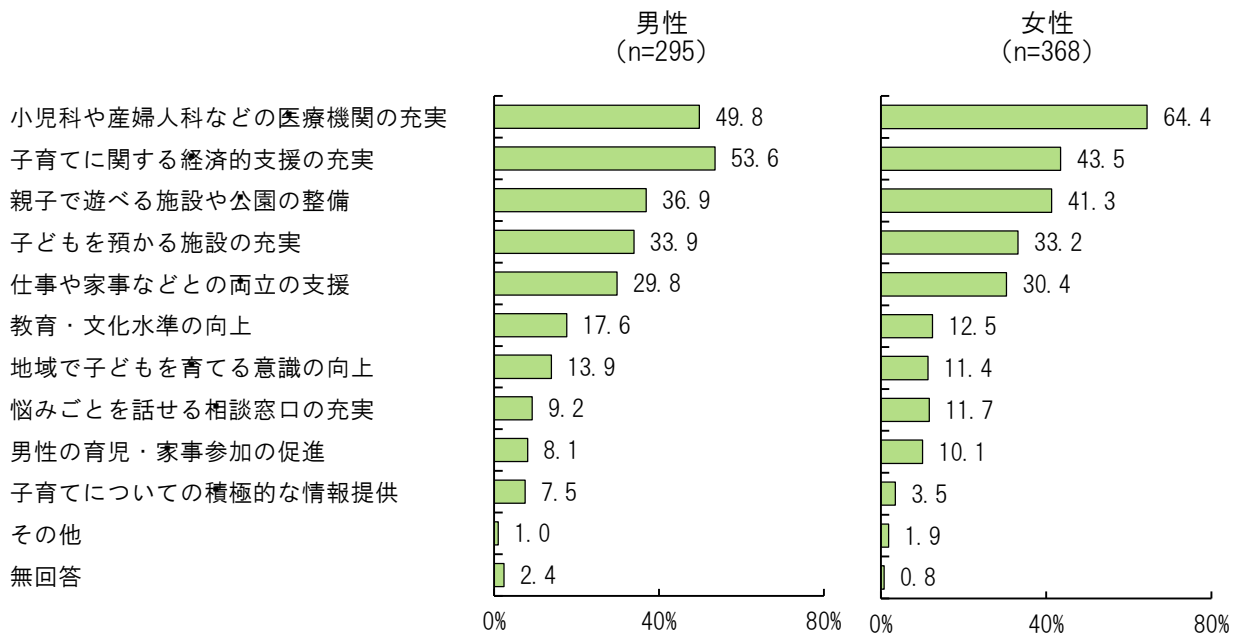
「地震・津波などの災害対策」は、令和5年度以前の選択肢です。

「家族や地域が育児に参加することの啓発」は、令和3年度～令和5年度の選択肢です。

子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が58.8%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が47.6%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が39.1%などとなっています。

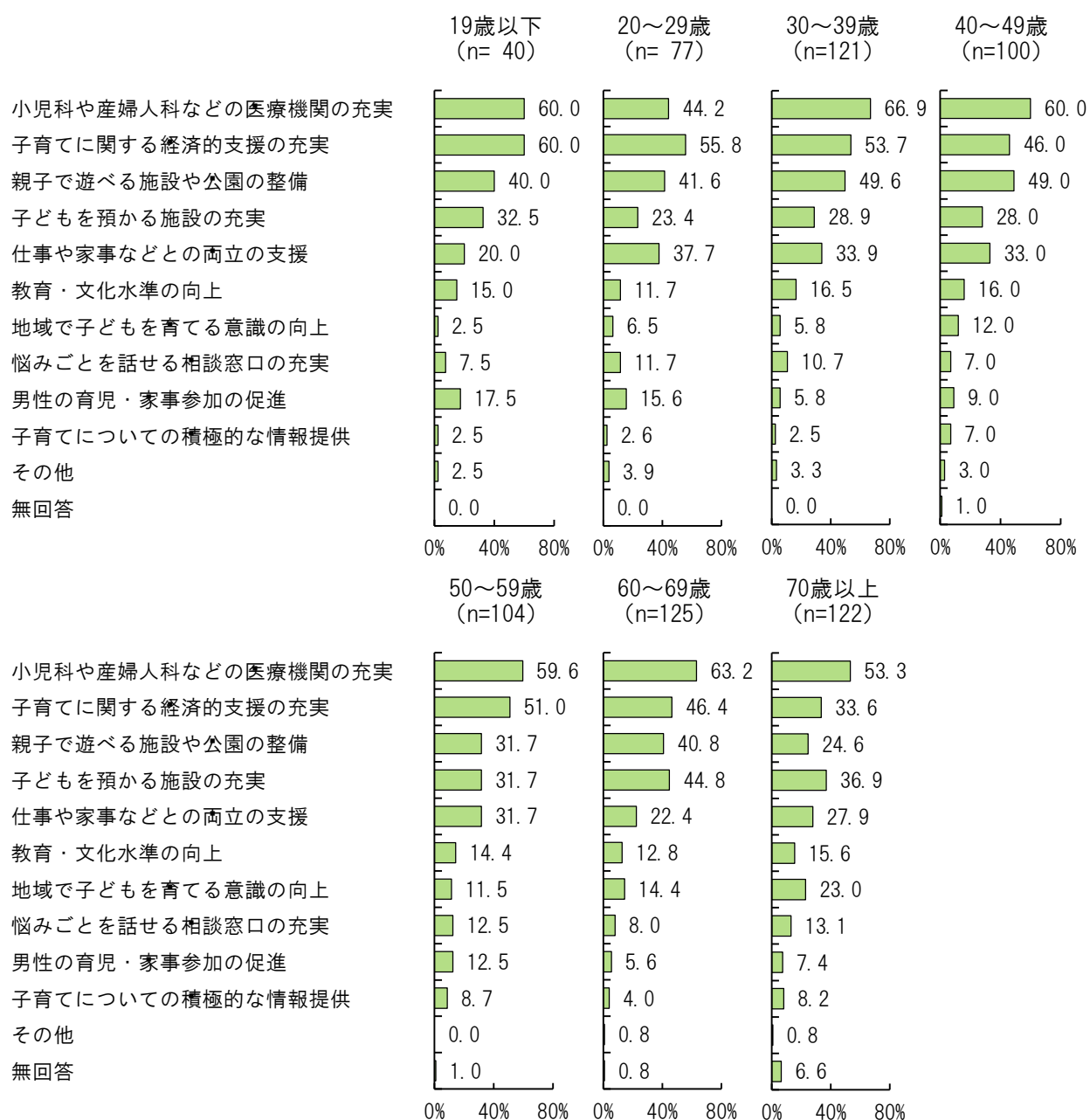
昨年度と比較すると、大きな変化はありません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「子育てに関する経済的支援の充実」「教育・文化水準の向上」が女性より多くなっています。女性は「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が64.4%と男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

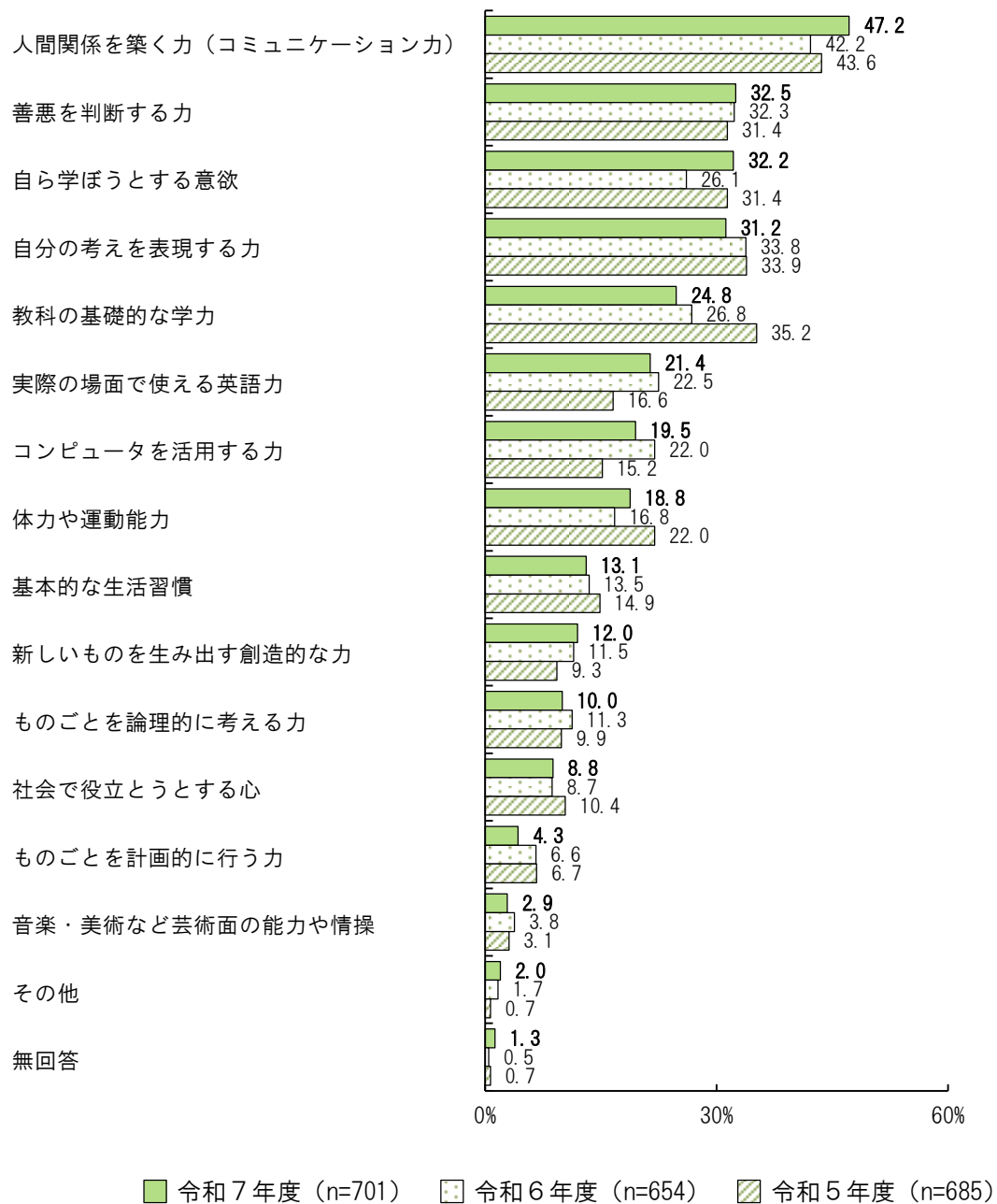


【年齢別】：20～29歳は「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が44.2%と他の年代に比べて少なくなっています。60～69歳は「子どもを預かる施設の充実」が44.8%と多くなっています。また、70歳以上は「地域で子どもを育てる意識の向上」が23.0%と多く、「子育てに関する経済的支援の充実」「親子で遊べる施設や公園の整備」が少なくなっています。

④教育について

(9) 義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力

問9 あなたは、義務教育学校の整備を踏まえ、今後、子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？（○は3つ以内）

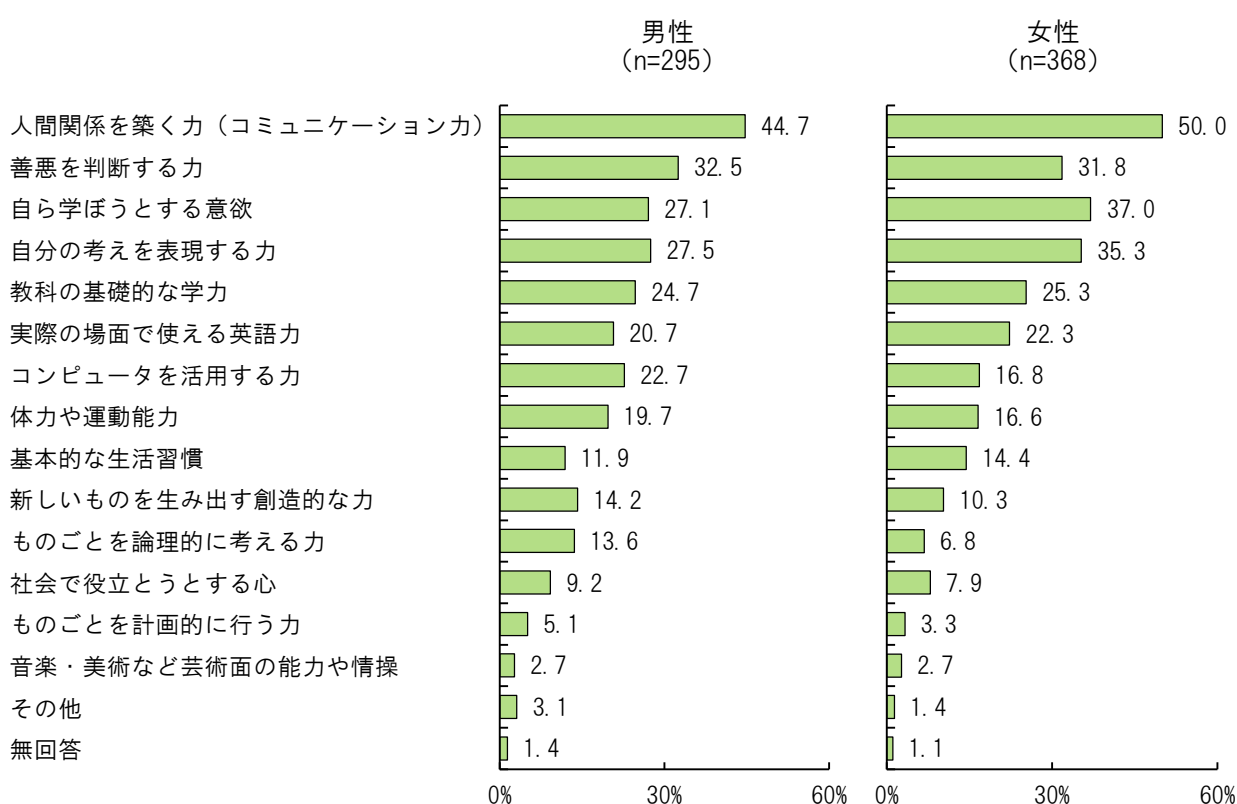


※令和5年度以前は「あなたは、学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？」という設問文でした。

義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力は、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が47.2%と最も多く、次いで「善悪を判断する力」が32.5%、「自ら学ぼうとする意欲」が32.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」「自ら学ぼうとする意欲」が5.0ポイント以上増加しています。

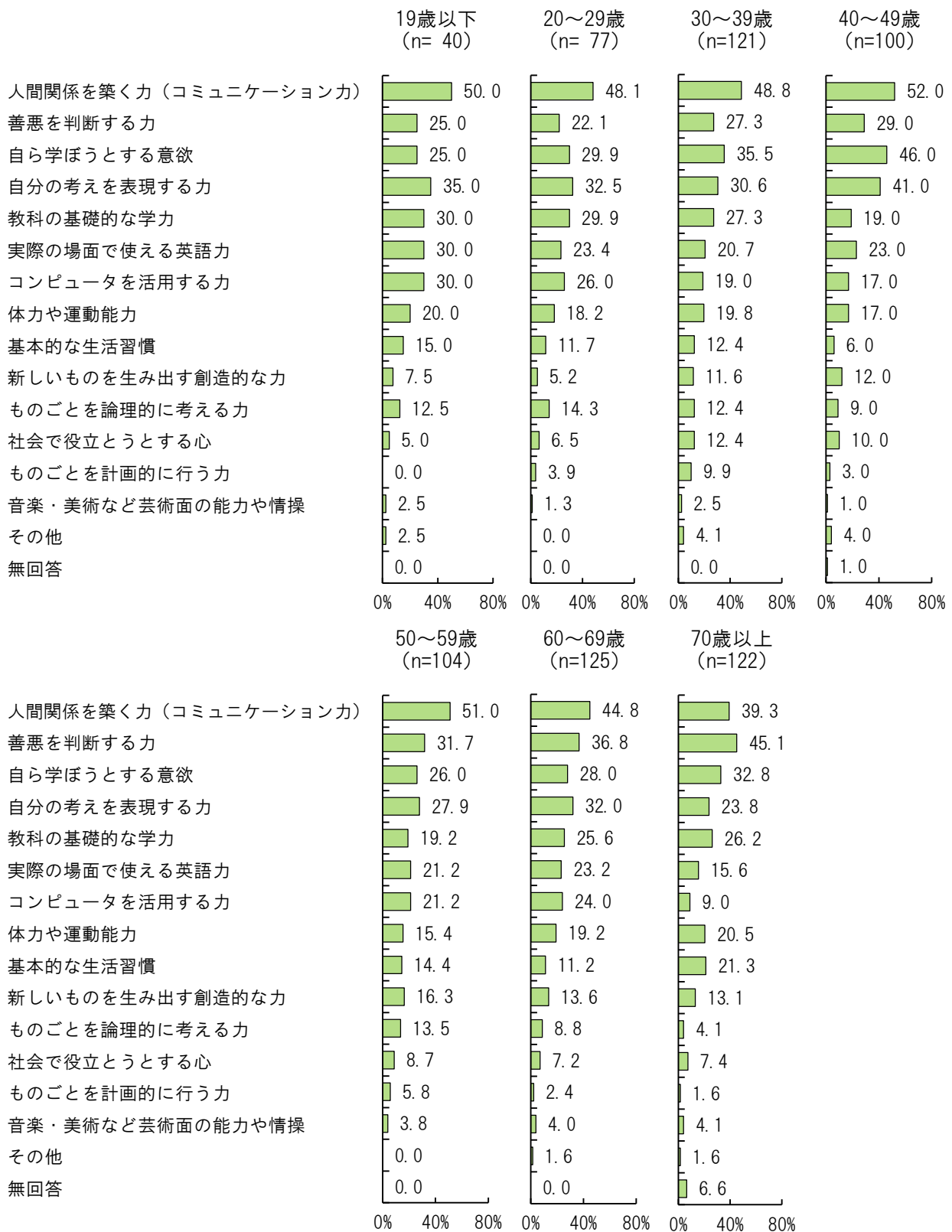
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「コンピュータを活用する力」「ものごとを論理的に考える力」が女性より多くなっています。女性は「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」「自ら学ぼうとする意欲」「自分の考えを表現する力」が男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「実際の場面で使える英語力」が30.0%と他の年代に比べて多くなっています。40～49歳は「自ら学ぼうとする意欲」「自分の考えを表現する力」が多く、「基本的な生活習慣」が6.0%と少なくなっています。また、70歳以上は「善悪を判断する力」「基本的な生活習慣」が多く、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」「実際の場面で使える英語力」「コンピュータを活用する力」が少なくなっています。

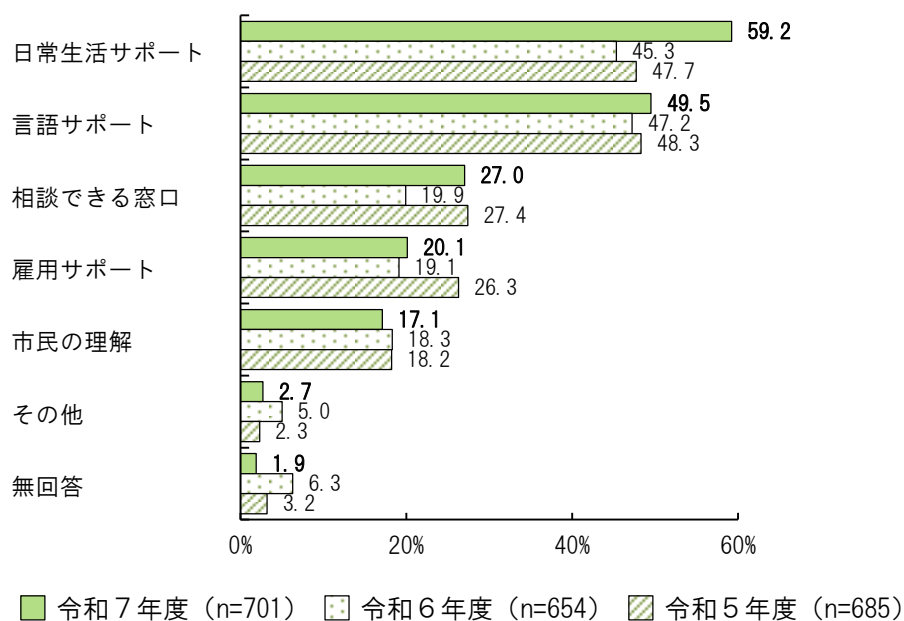
クロス集計（年齢別）



⑤多文化共生について

(10) 外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

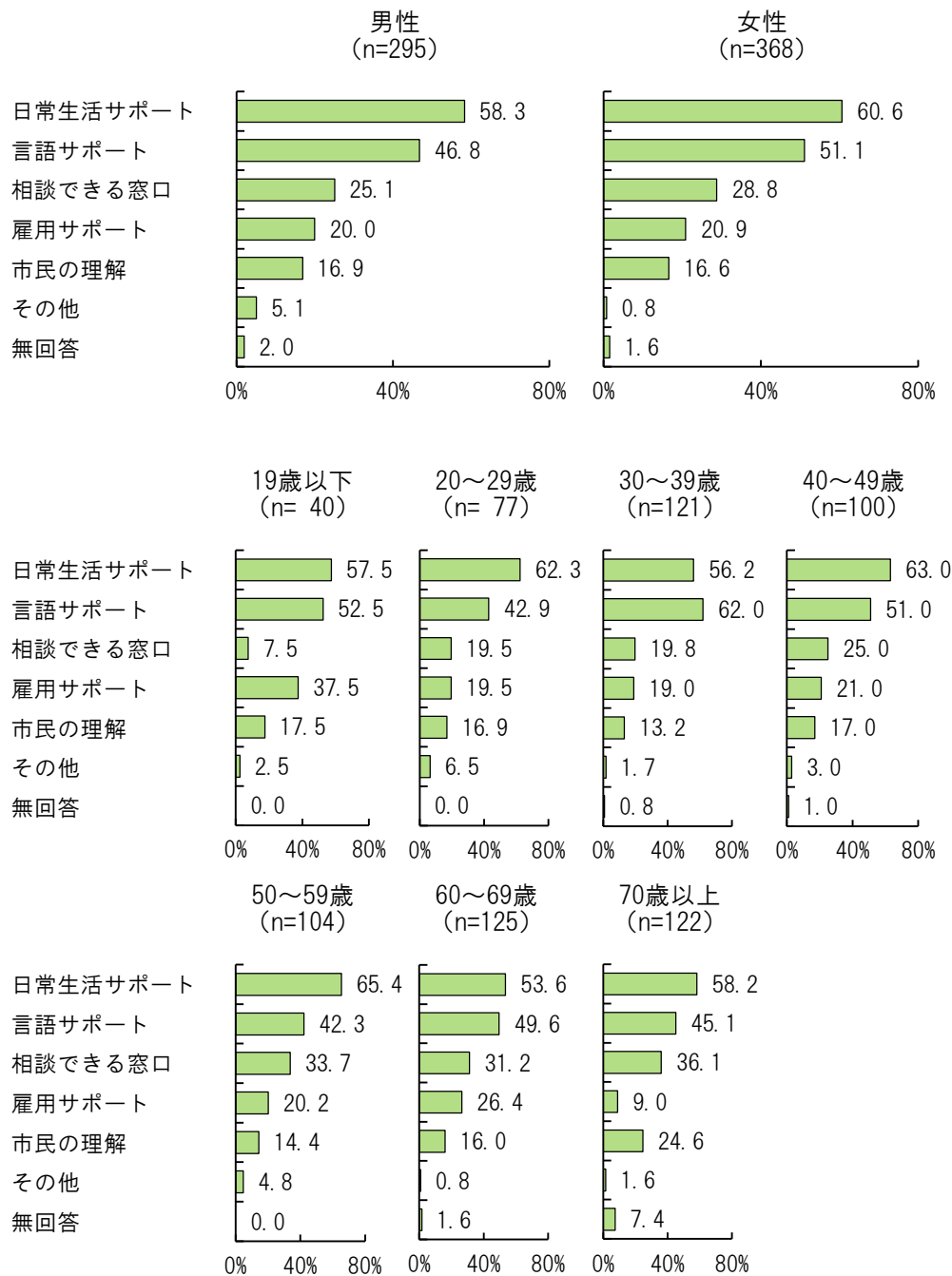
問10 あなたは、外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？（○は2つ以内）



外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「日常生活サポート」が59.2%と最も多く、次いで「言語サポート」が49.5%、「相談できる窓口」が27.0%などとなっています。

昨年度と比較すると、「日常生活サポート」「相談できる窓口」が7.0ポイント以上増加しています。

クロス集計（性別・年齢別）



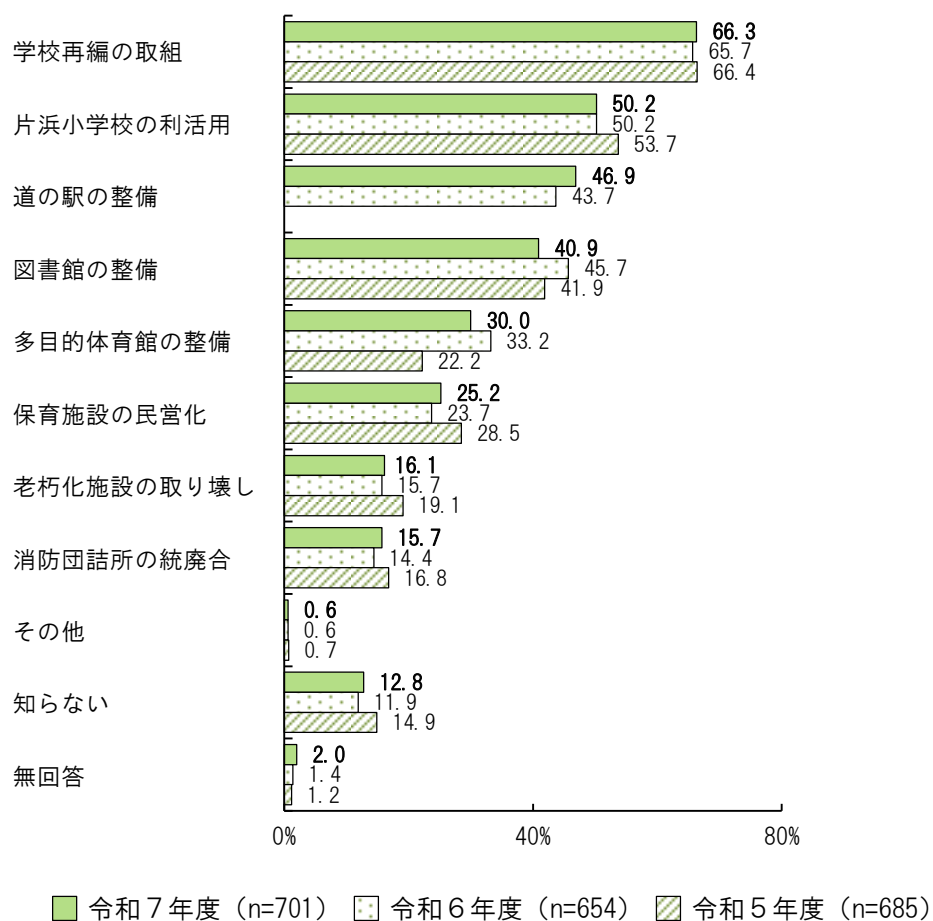
【性別】：大きな差異はみられません。

【年齢別】：19歳以下は「雇用サポート」が37.5%と他の年代と比べて多く、「相談できる窓口」が7.5%と少なくなっています。30～39歳は「言語サポート」が62.0%と多くなっています。また、70歳以上は「市民の理解」が24.6%と多く、「雇用サポート」が9.0%と少なくなっています。

⑥公共施設の最適化について

(11) 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの

問11 牧之原市では、「公共施設の最適化」に対応するための取組を行っています。あなたは、市のどのような取組を知っていますか？（○はいくつでも）



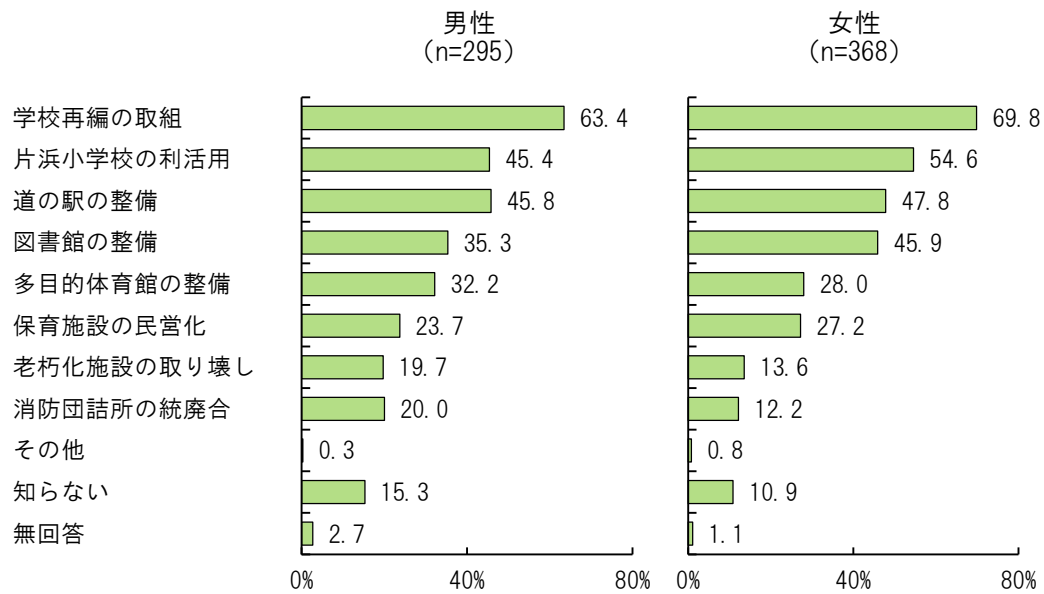
※「道の駅の整備」は、令和6年度に追加された選択肢です。

「図書館の整備」「多目的体育館の整備」は、令和5年度に追加された選択肢です。

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているものは、「学校再編の取組」が66.3%と最も多く、次いで「片浜小学校の利活用」が50.2%、「道の駅の整備」が46.9%などとなっています。

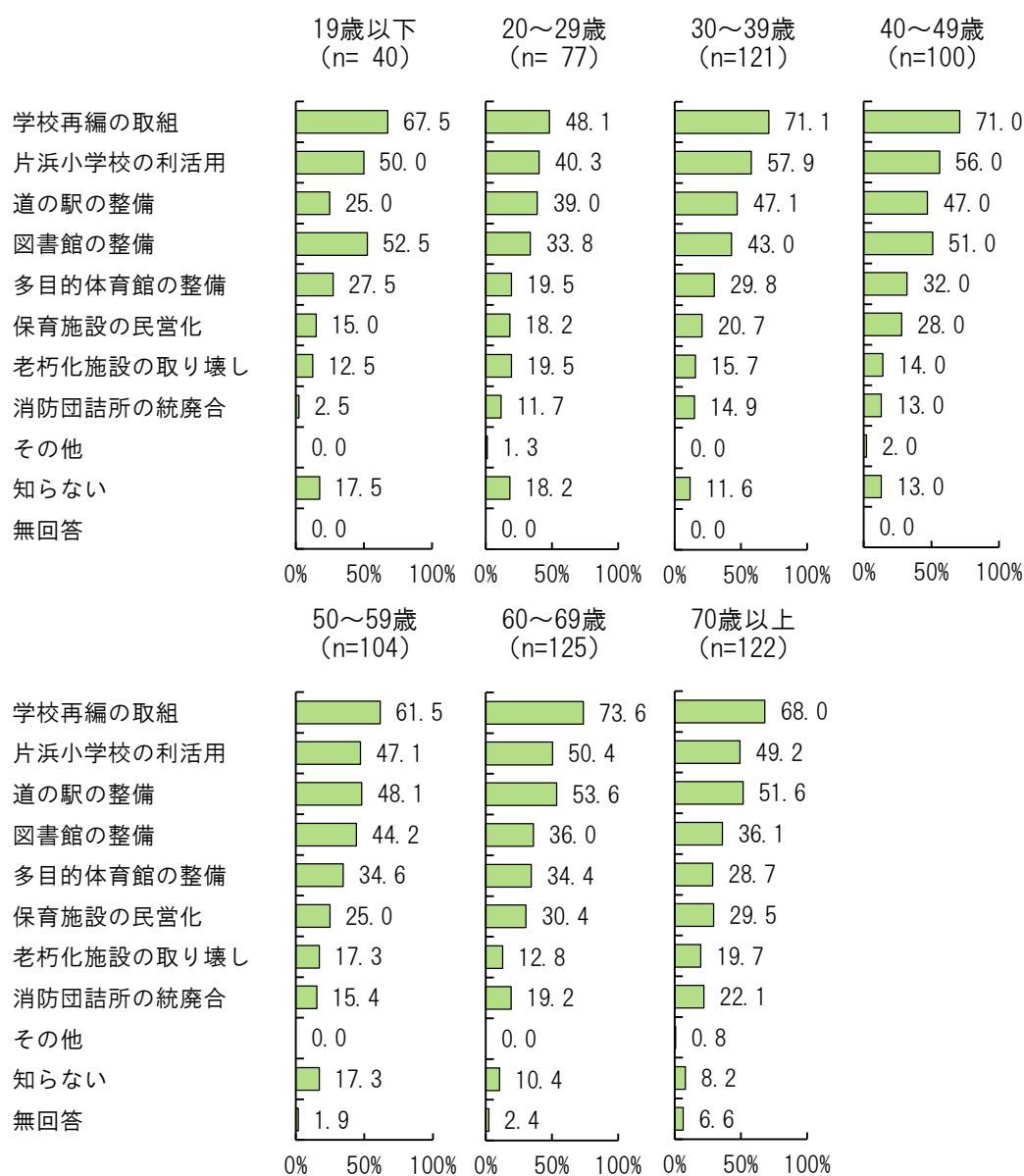
昨年度と比較すると、大きな変化はありません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「老朽化施設の取り壊し」「消防団詰所の統廃合」が女性より多くなっています。女性「学校再編の取組」「片浜小学校の利活用」「図書館の整備」が男性より多くなっています。

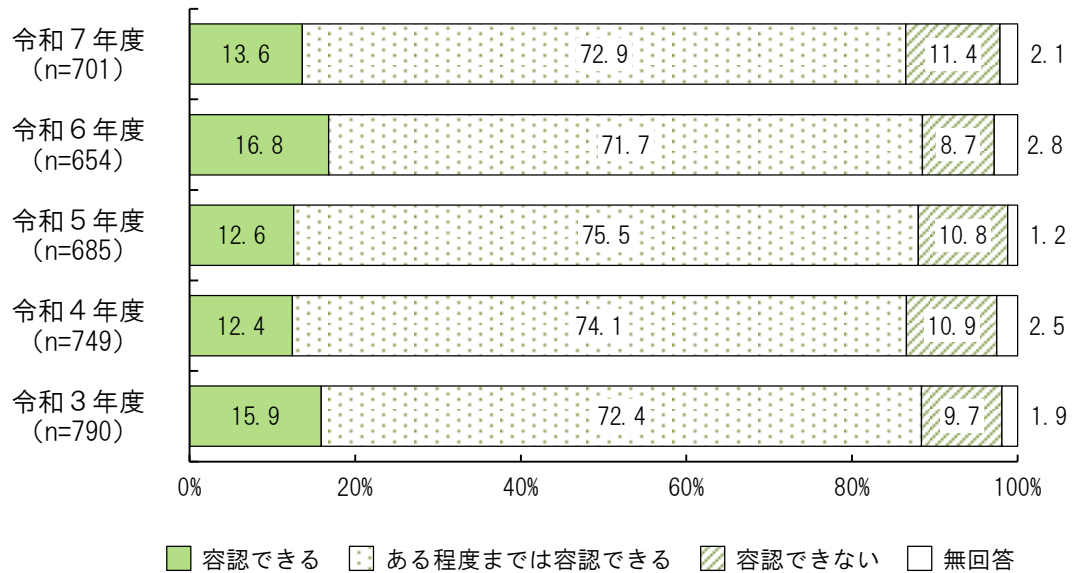
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「道の駅の整備」「消防団詰所の統廃合」が他の年代に比べて少なくなっています。20～29歳は「学校再編の取組」「片浜小学校の利活用」「多目的体育館の整備」が少なくなっています。

(12) 「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

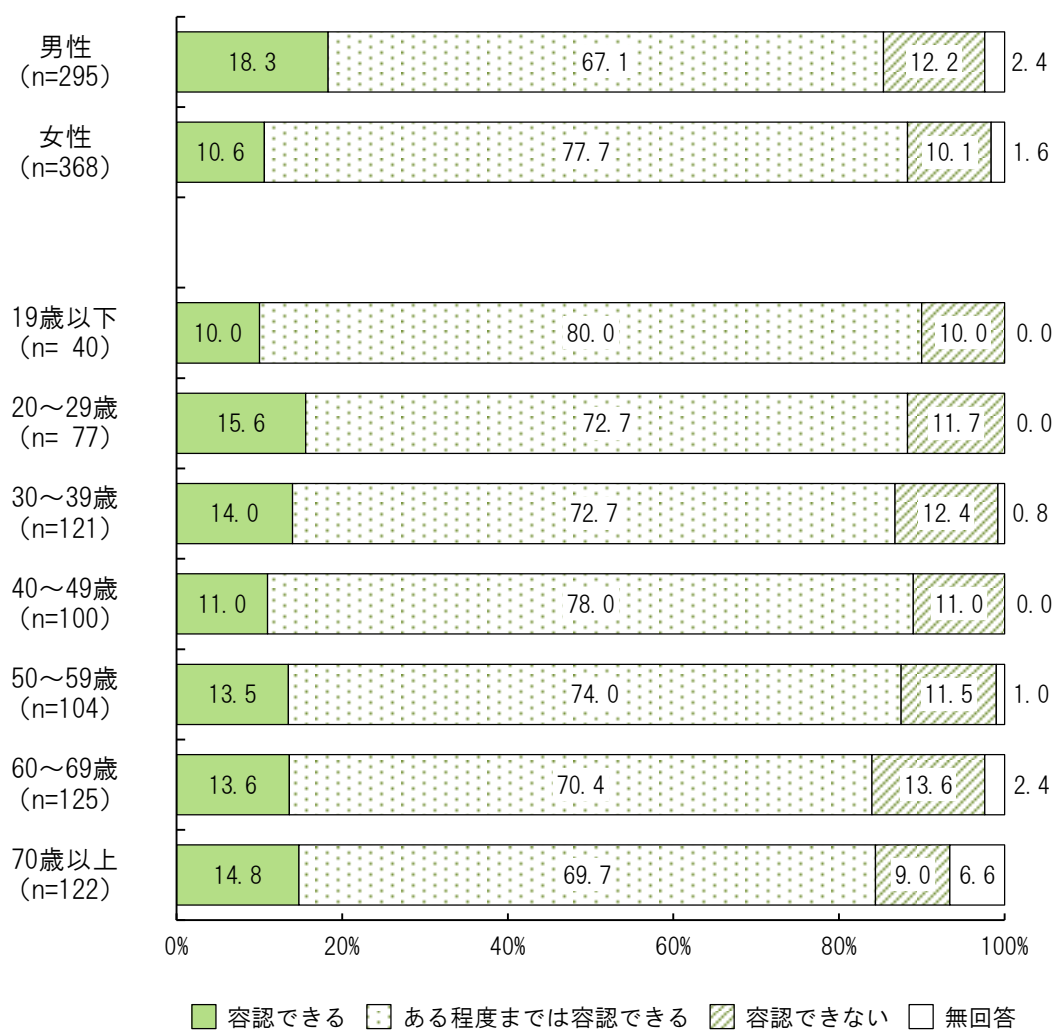
問12 「公共施設の最適化」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？（○は1つ）



「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が72.9%と最も多く、次いで「容認できる」が13.6%、「容認できない」が11.4%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



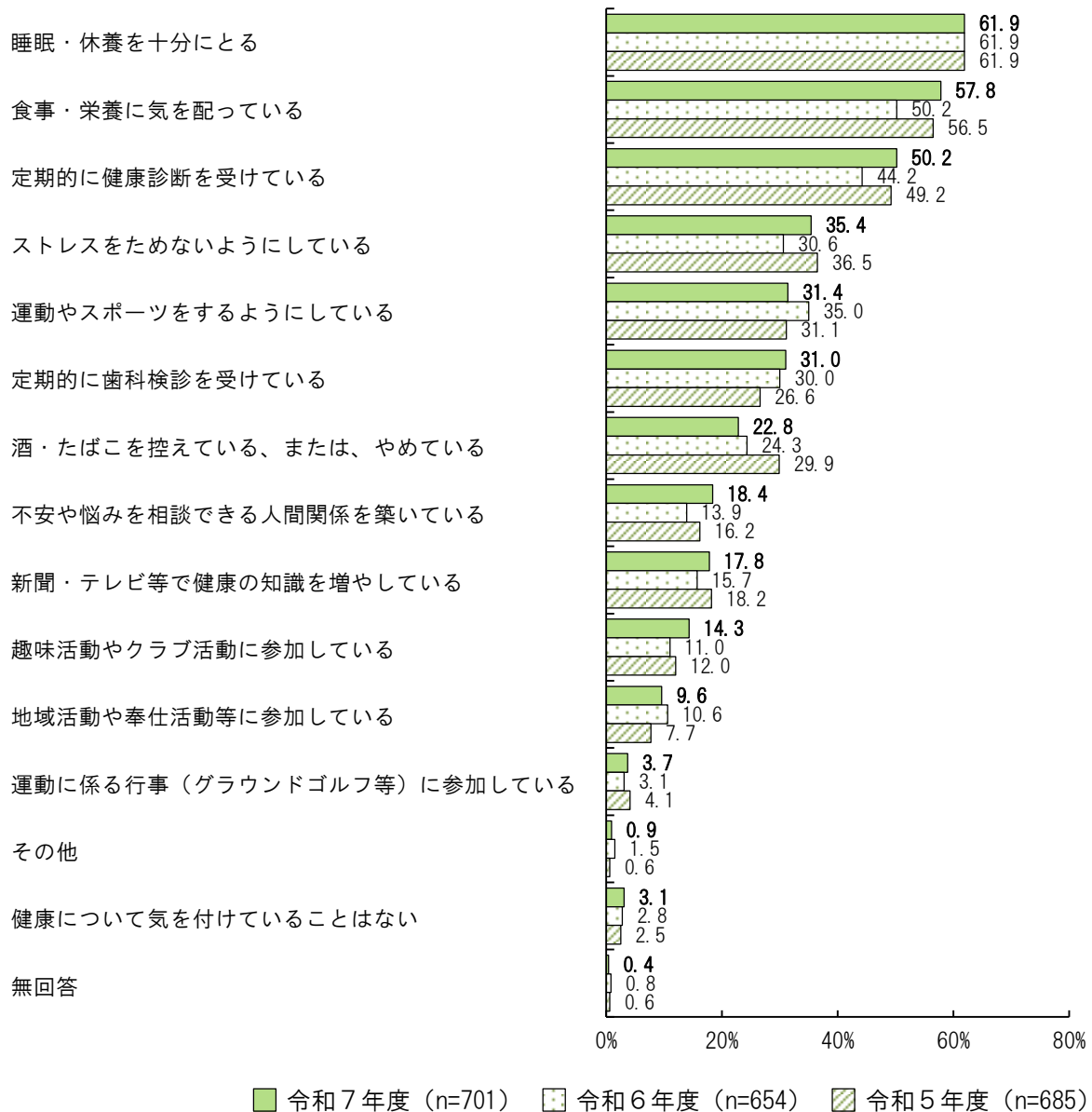
【性別】：男性は「容認できる」が 18.3%と女性より多くなっています。女性は「ある程度までは容認できる」が 77.7%と男性より多くなっています。

【年齢別】：大きな差異はみられません。

⑦健康寿命について

(13) 健康について気を付けていること

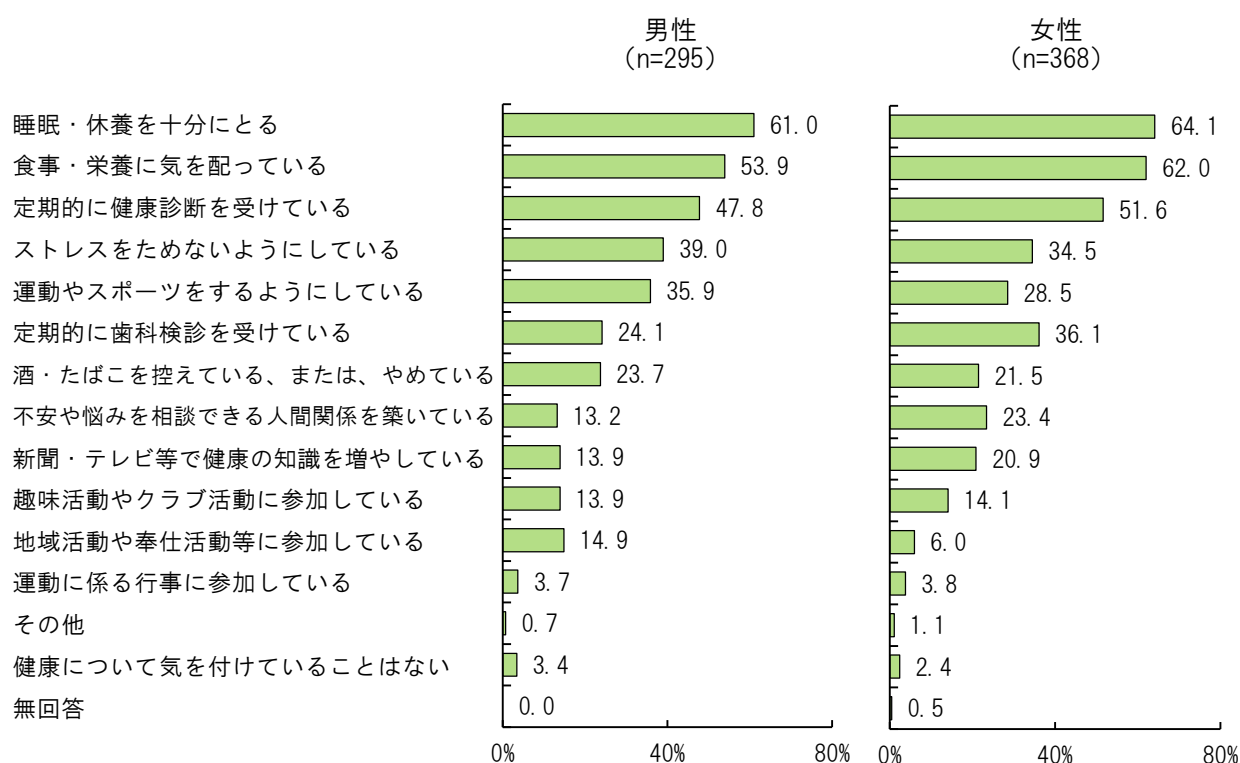
問13 あなたが健康について気を付けていることは何ですか？（○はいくつでも）



健康について気を付けていることは、「睡眠・休養を十分にとる」が61.9%と最も多く、次いで「食事・栄養に気を配っている」が57.8%、「定期的に健康診断を受けている」が50.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「食事・栄養に気を配っている」「定期的に健康診断を受けている」が6.0ポイント以上増加しています。

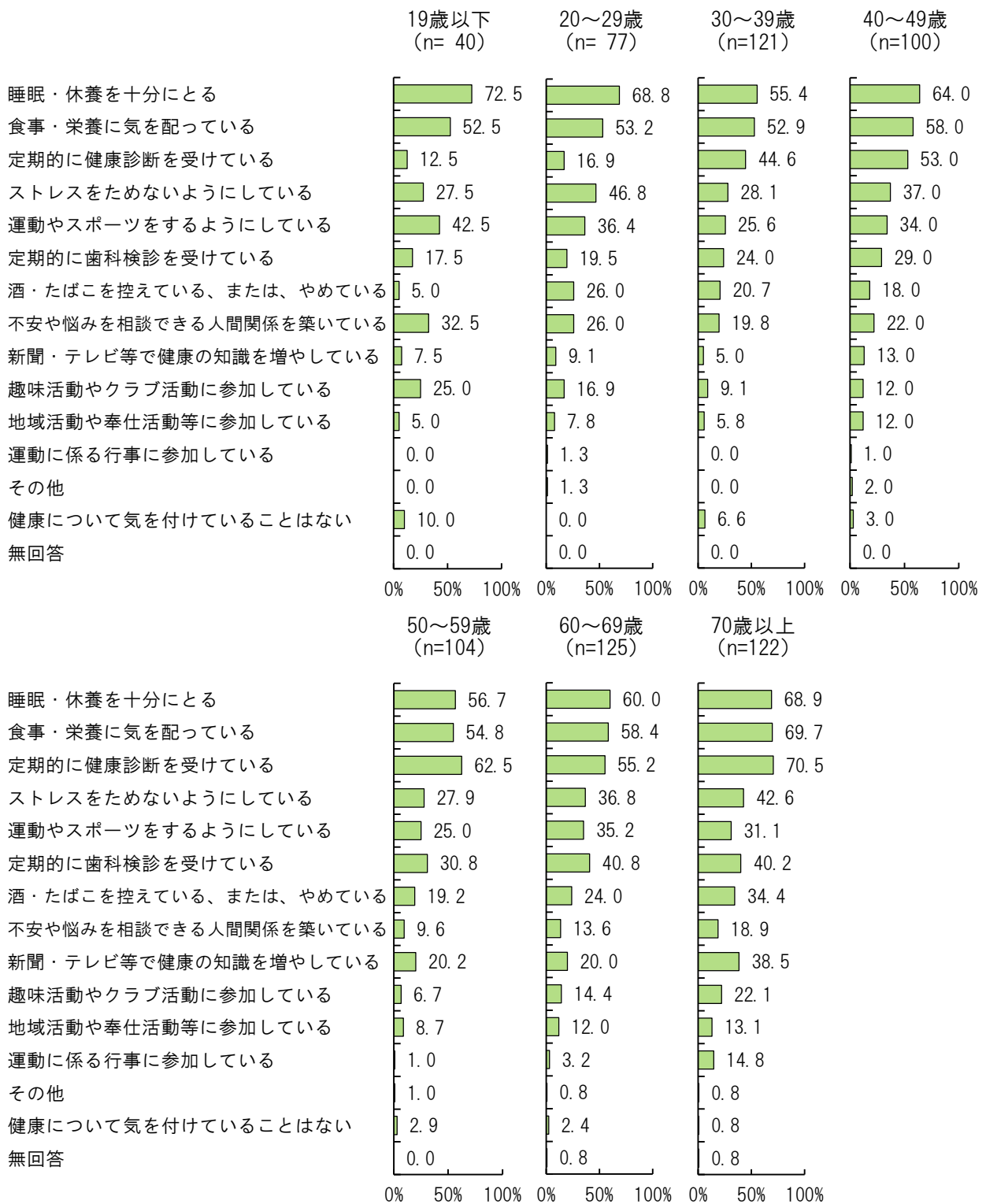
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「運動やスポーツをするようにしている」「地域活動や奉仕活動等に参加している」が女性より多くなっています。女性は「食事・栄養に気を配っている」「定期的に歯科検診を受けている」「不安や悩みを相談できる人間関係を築いている」「新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている」が男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「運動やスポーツをするようにしている」「不安や悩みを相談できる人間関係を築いている」が他の年代に比べて多く、「酒・たばこを控えている、または、やめている」が5.0%と少なくなっています。70歳以上は「食事・栄養に気を配っている」「定期的に健康診断を受けている」「酒・たばこを控えている、または、やめている」などが多くなっています。

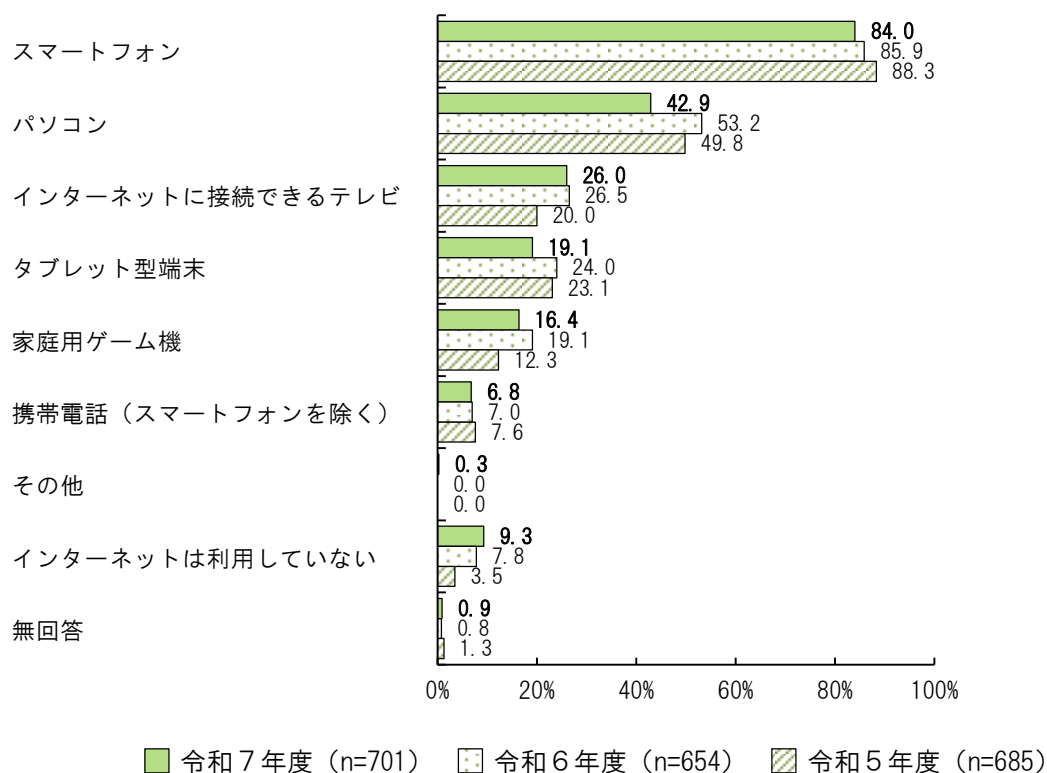
クロス集計（年齢別）



⑧行政サービスのデジタル化について

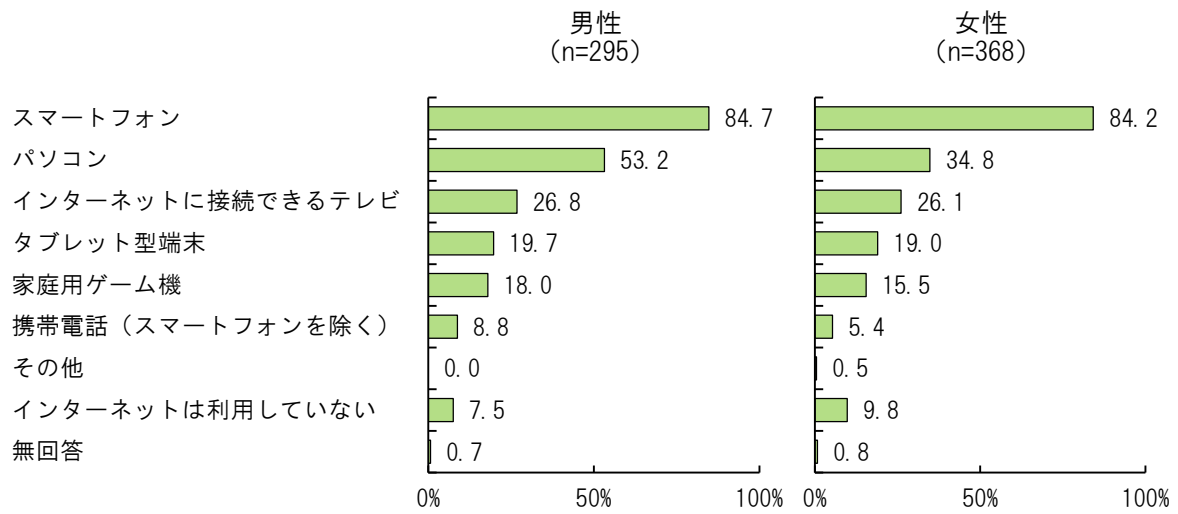
(14) 個人でインターネットを利用している端末

問14 あなたは現在、個人でインターネットを利用していますか？利用している場合は、ご利用端末にすべて○をつけてください。（○はいくつでも）



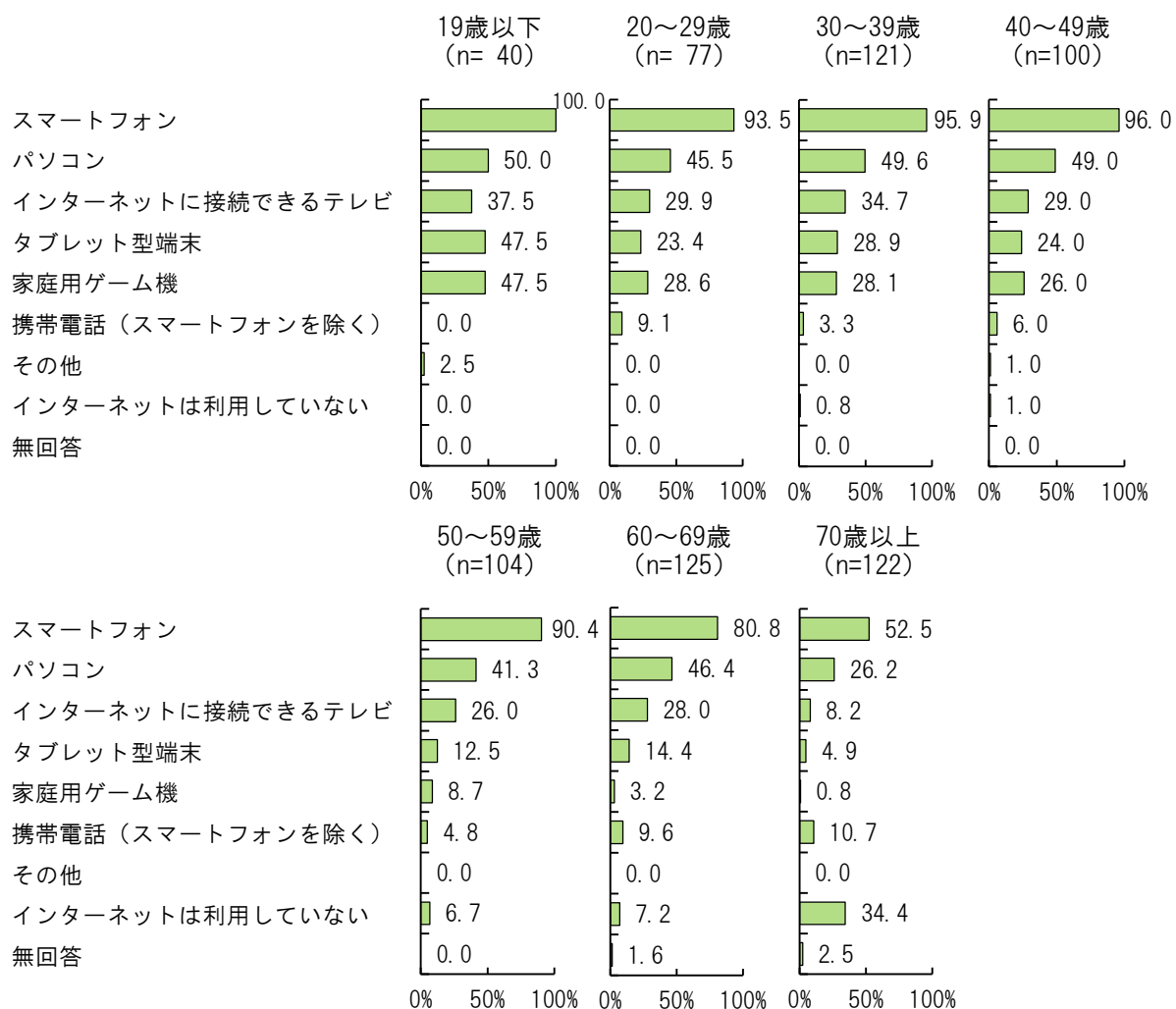
個人でインターネットを利用している端末は、「スマートフォン」が84.0%と最も多く、次いで「パソコン」が42.9%、「インターネットに接続できるテレビ」が26.0%などとなっています。
昨年度と比較すると、「パソコン」が10.3ポイント減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「パソコン」が53.2%と女性より多くなっています。

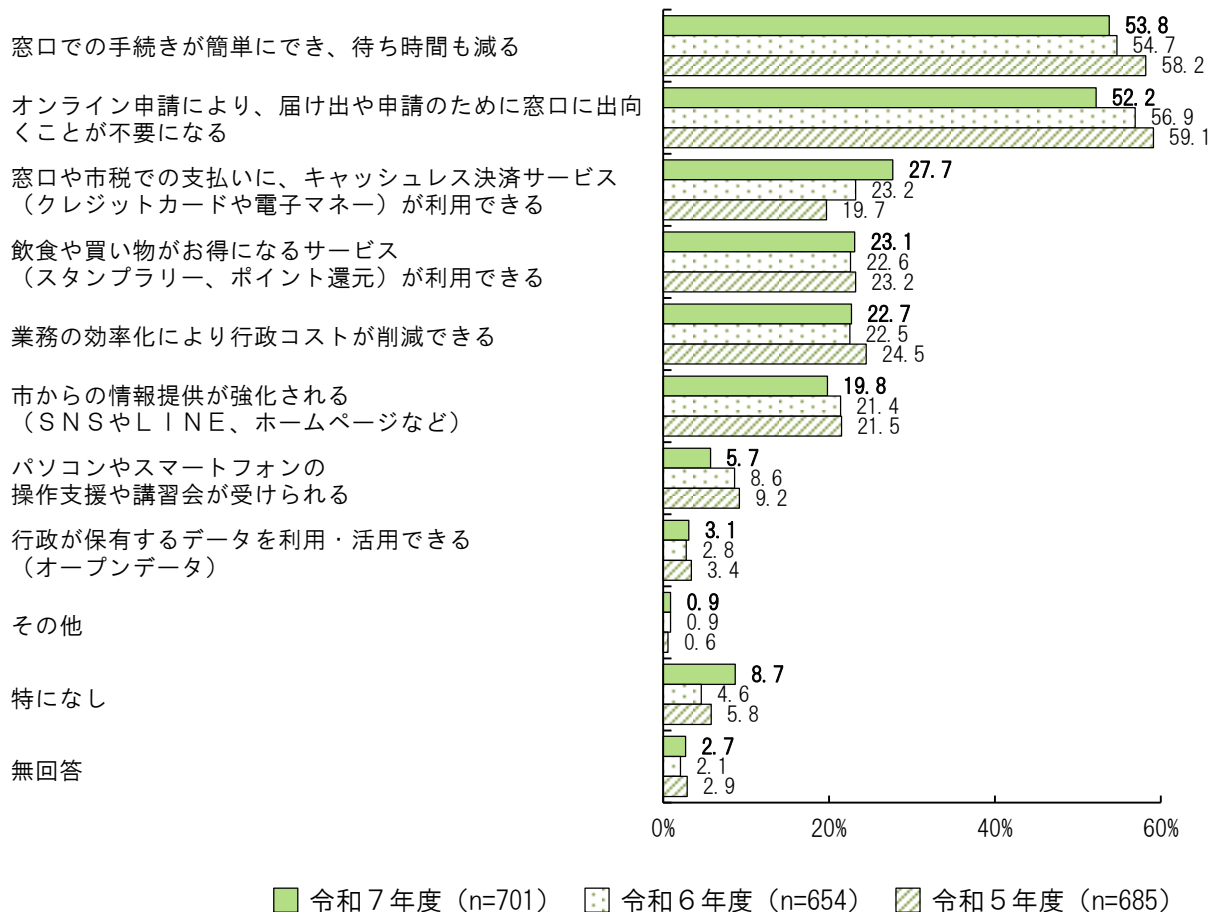
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「タブレット型端末」「家庭用ゲーム機」が他の年代に比べて多くなっています。70歳以上は「インターネットは利用していない」が34.4%と多く、「スマートフォン」「パソコン」「インターネットに接続できるテレビ」などが少なくなっています。

(15) デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること

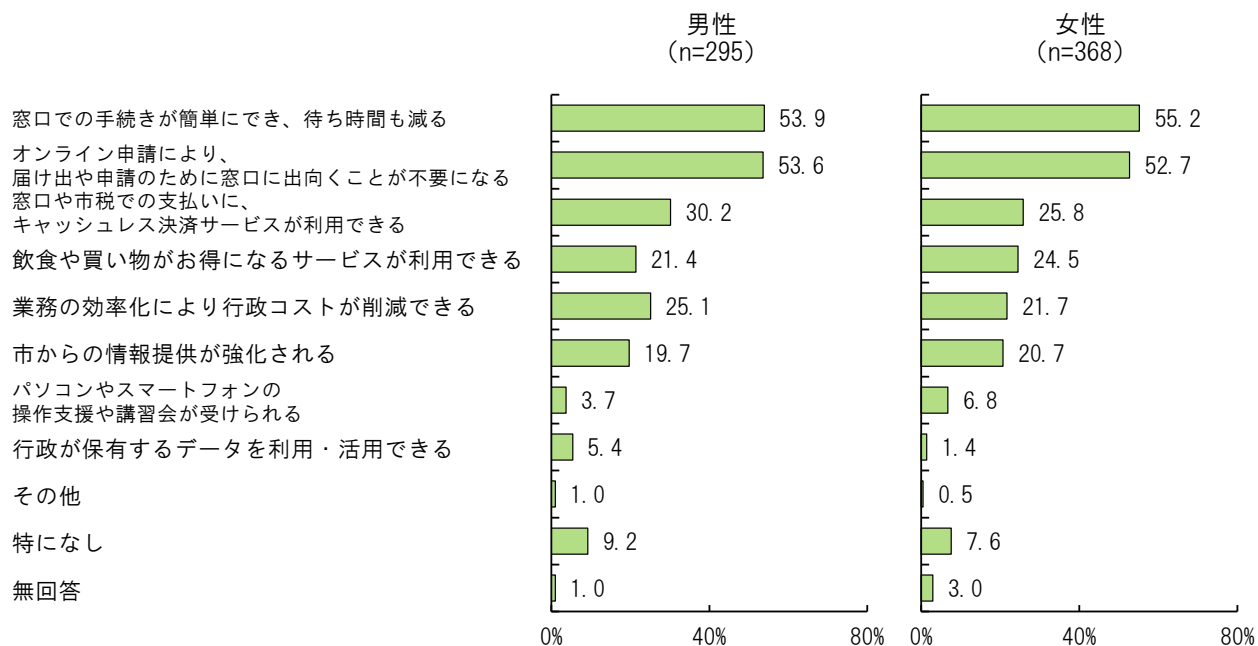
問15 デジタル技術の導入によって、どのような行政サービスの利便性向上に期待しますか？
(〇は3つ以内)



デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待することは、「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が53.8%と最も多く、次いで「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が52.2%、「窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー）が利用できる」が27.7%などとなっています。

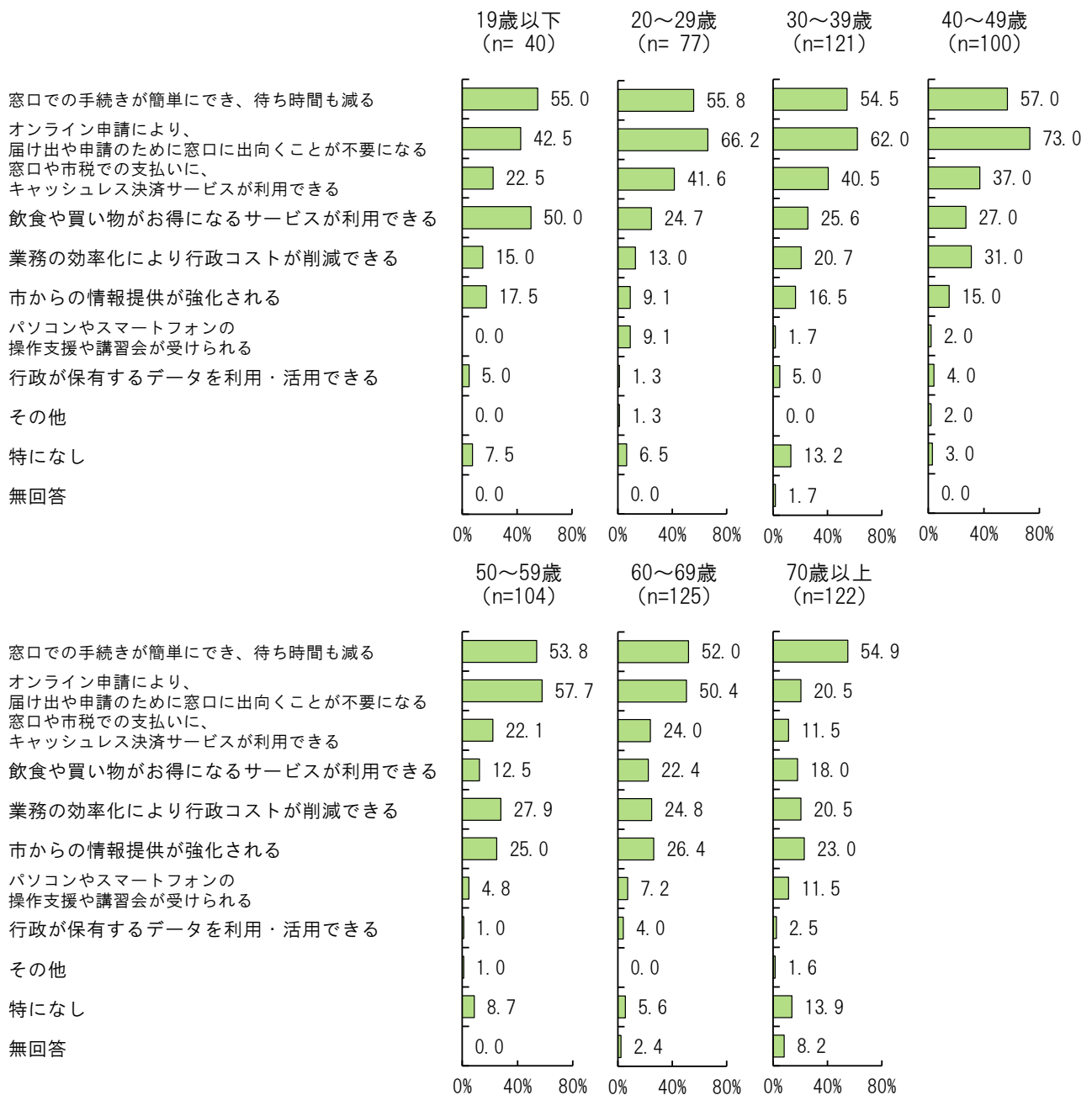
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：大きな差異はみられません。

クロス集計（年齢別）

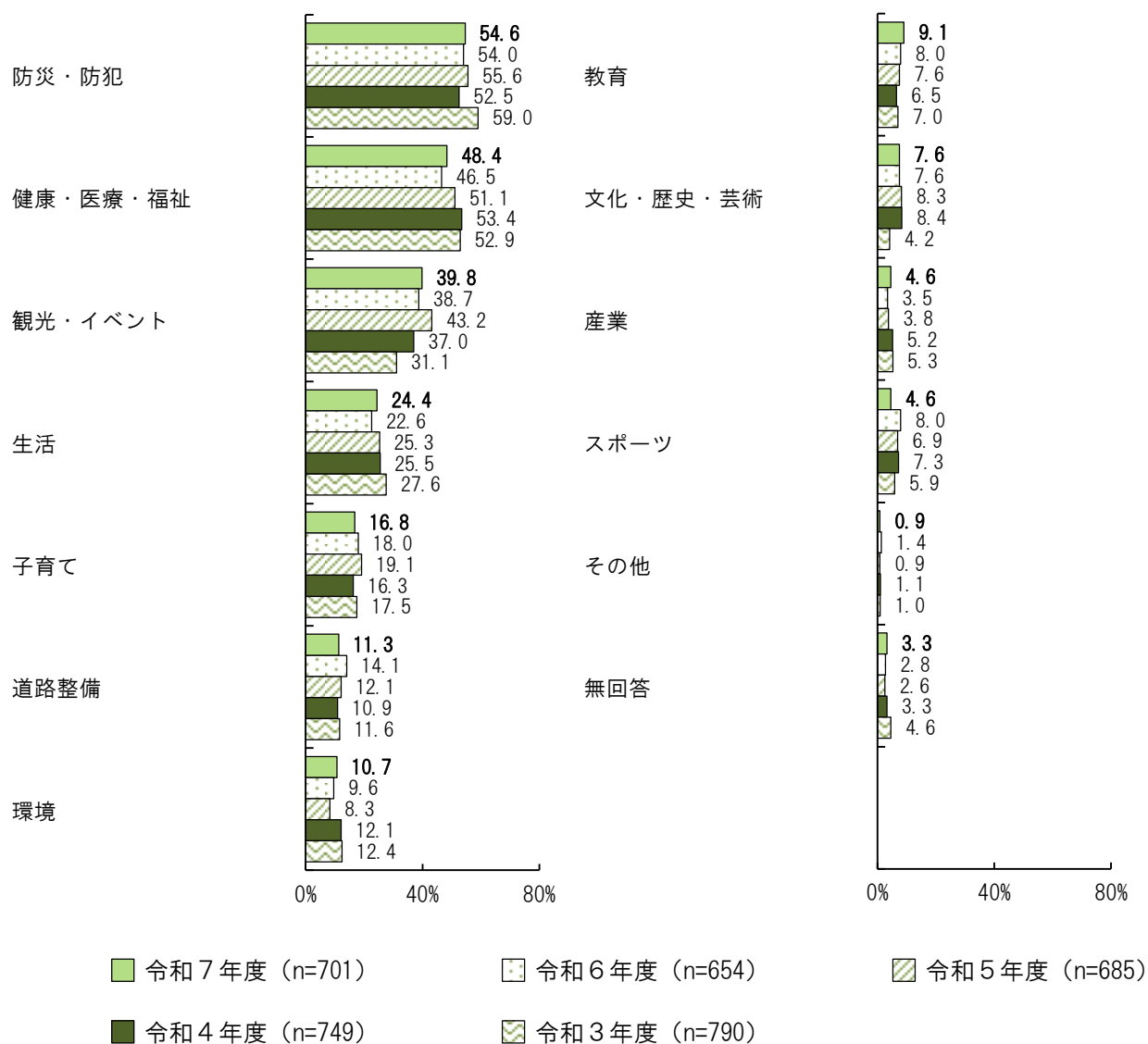


【年齢別】：19歳以下は「飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる」が50.0%と他の年代に比べて多くなっています。20~29歳は「市からの情報提供が強化される」が9.1%と少なくなっています。40~49歳は「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が73.0%と多くなっています。また、50~59歳は「飲食や買い物がお得になるサービスが利用できる」が12.5%と少なくなっています。さらに、70歳以上は「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」「窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービスが利用できる」が少なくなっています。

⑨市からの情報発信について

(16) 市から得たい情報

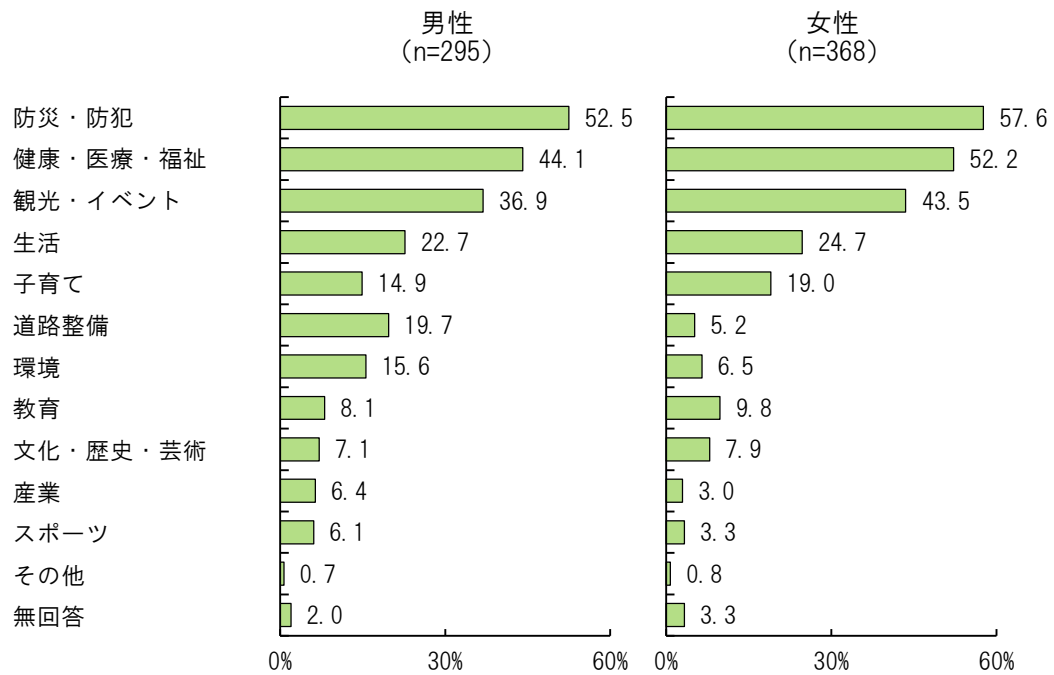
問16 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？（○は3つ以内）



※「スポーツ」「文化・歴史・芸術」は、令和3年度は「スポーツ」「文化・歴史」という選択肢でした。

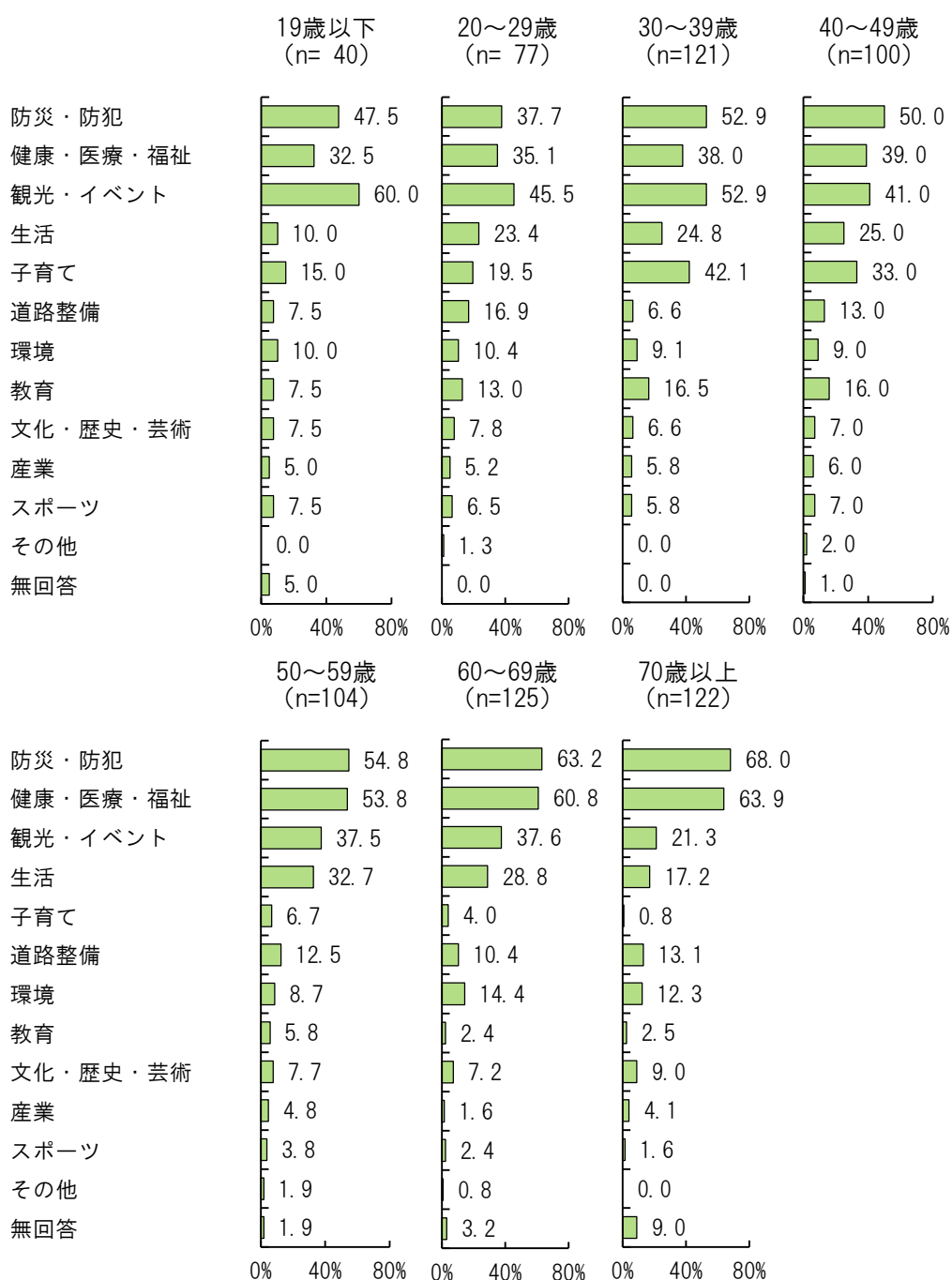
市から得たい情報は、「防災・防犯」が54.6%と最も多く、次いで「健康・医療・福祉」が48.4%、「観光・イベント」が39.8%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「道路整備」「環境」が女性より多くなっています。女性は「防災・防犯」「健康・医療・福祉」「観光・イベント」が男性より多くなっています。

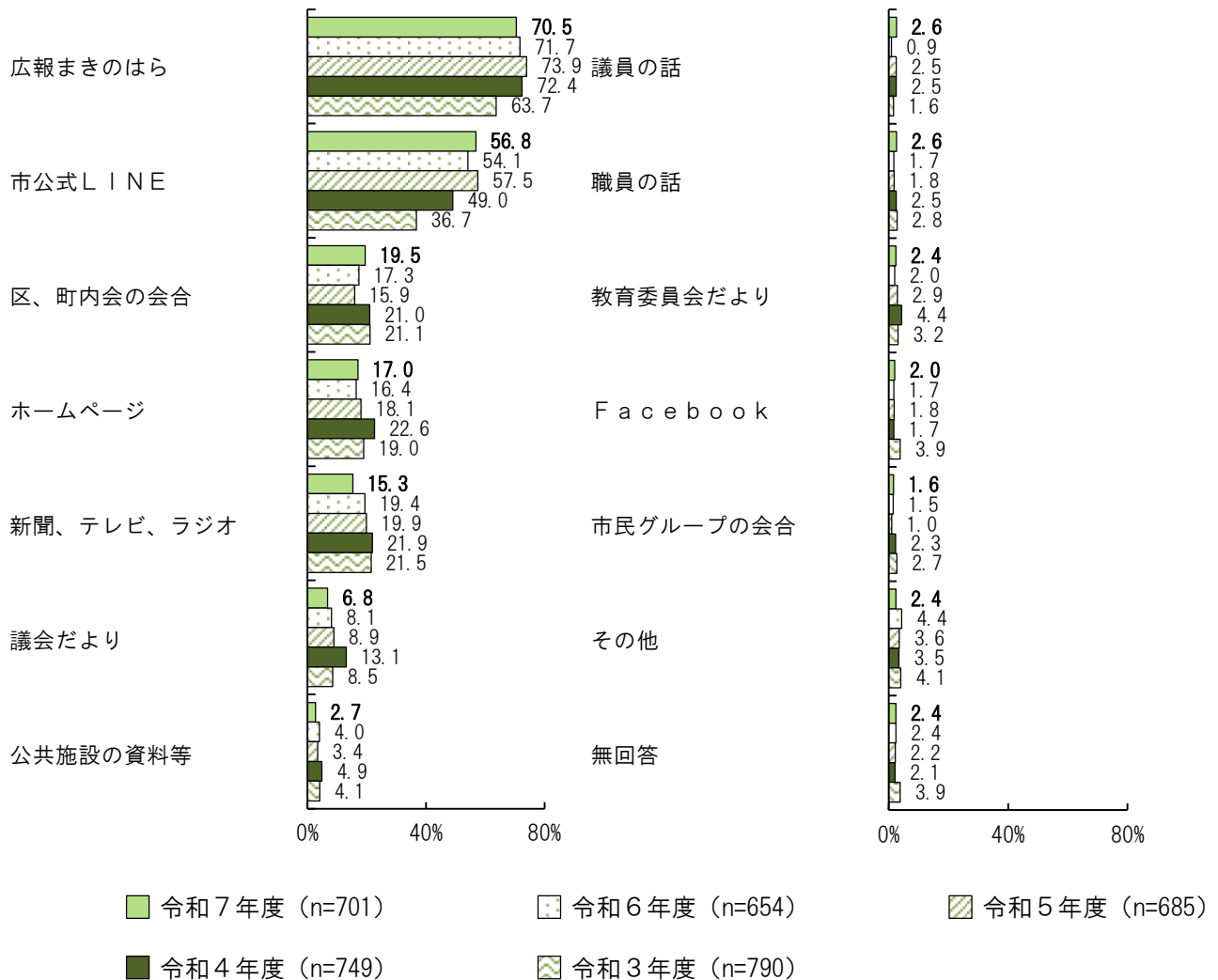
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「観光・イベント」が60.0%と他の年代に比べて多く、「生活」が10.0%と少なくなっています。20～29歳は「防災・防犯」が37.7%と少なくなっています。30～39歳は「子育て」が42.1%と多くなっています。また、70歳以上は「観光・イベント」が21.3%と少なくなっています。

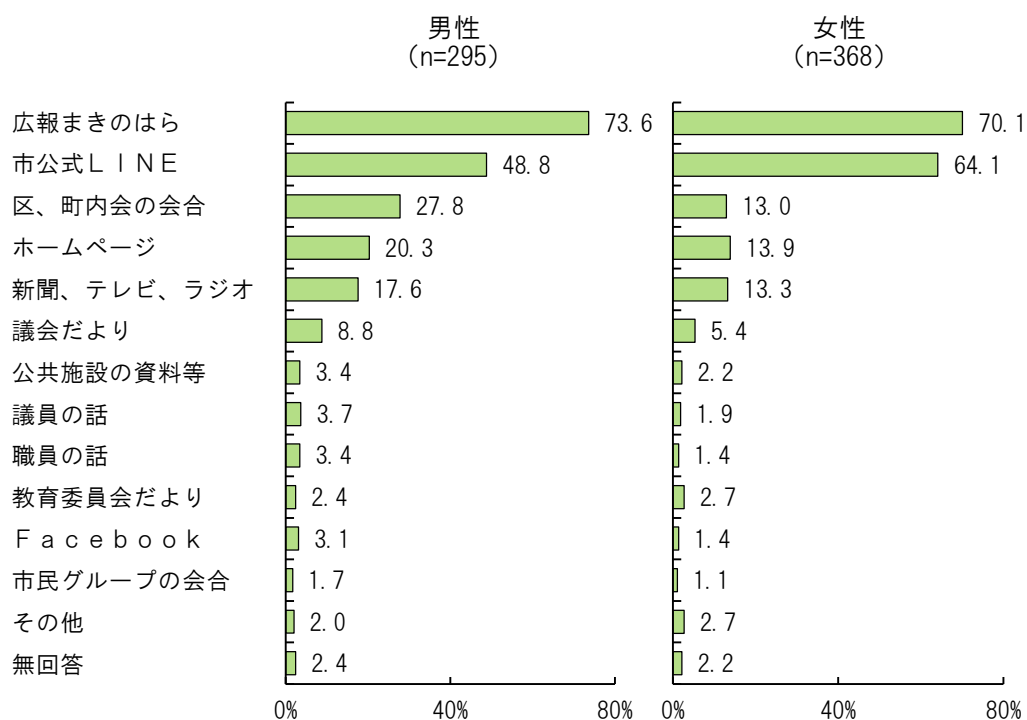
(17) 市からの情報を得る媒体

問17 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？（○はいくつでも）



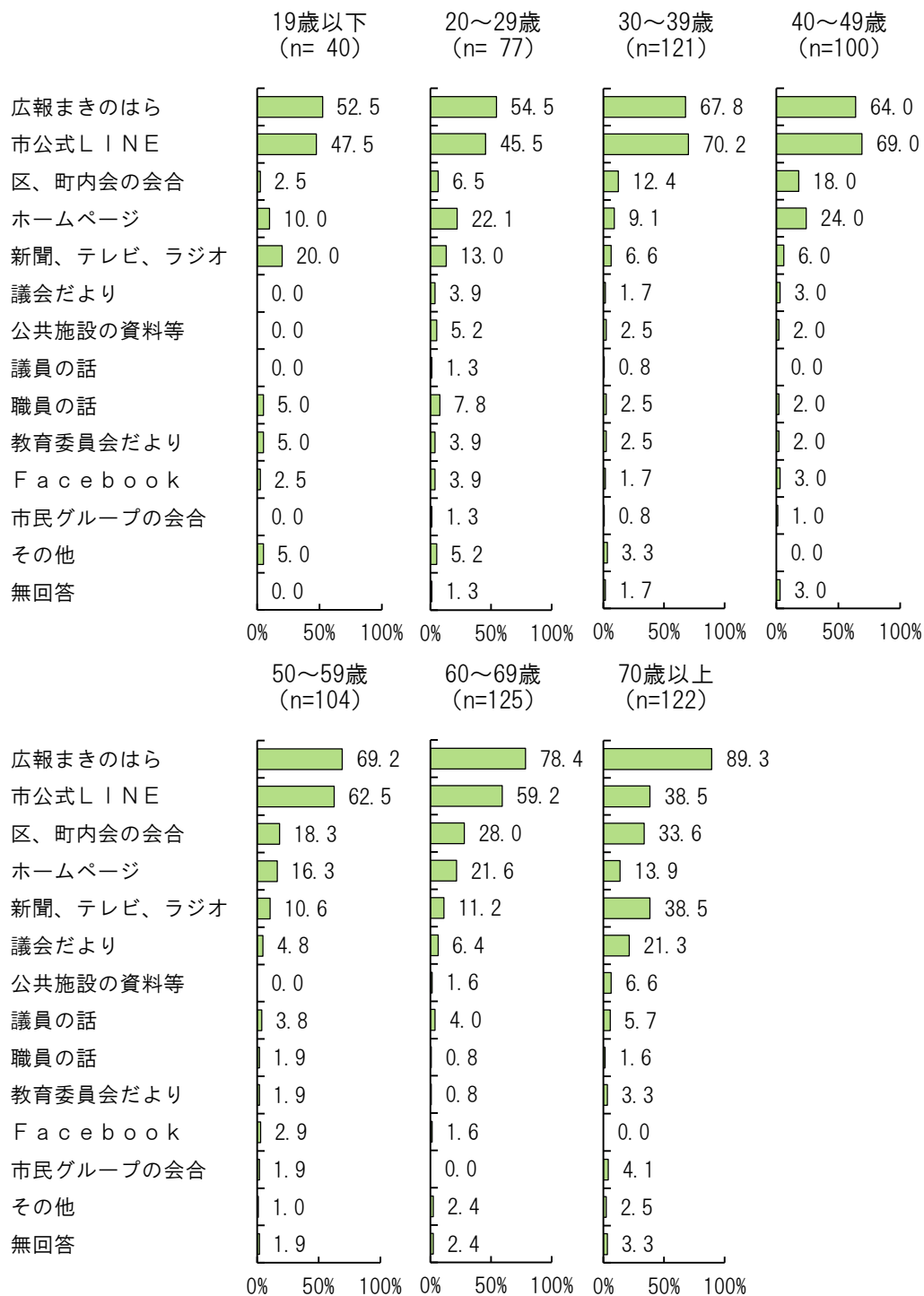
市からの情報を得る媒体は、「広報まきのほら」が70.5%と最も多く、次いで「市公式LINE」が56.8%、「区、町内会の会合」が19.5%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「区、町内会の会合」「ホームページ」が女性より多くなっています。女性は「市公式LINE」が64.1%と男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）



【年齢別】：70歳以上は「広報まきのはら」「区、町内会の会合」「新聞、テレビ、ラジオ」などが多く、「市公式LINE」が38.5%と少なくなっています。

⑩牧之原市の行政サービスについて

(18) 満足度について

問18 あなたは、市の取組について満足していますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

※取組によっては、あなたに直接関係のない取組も含まれるかもしれませんが、ご家族・知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○をつけてください。

《評価点の算出方法》

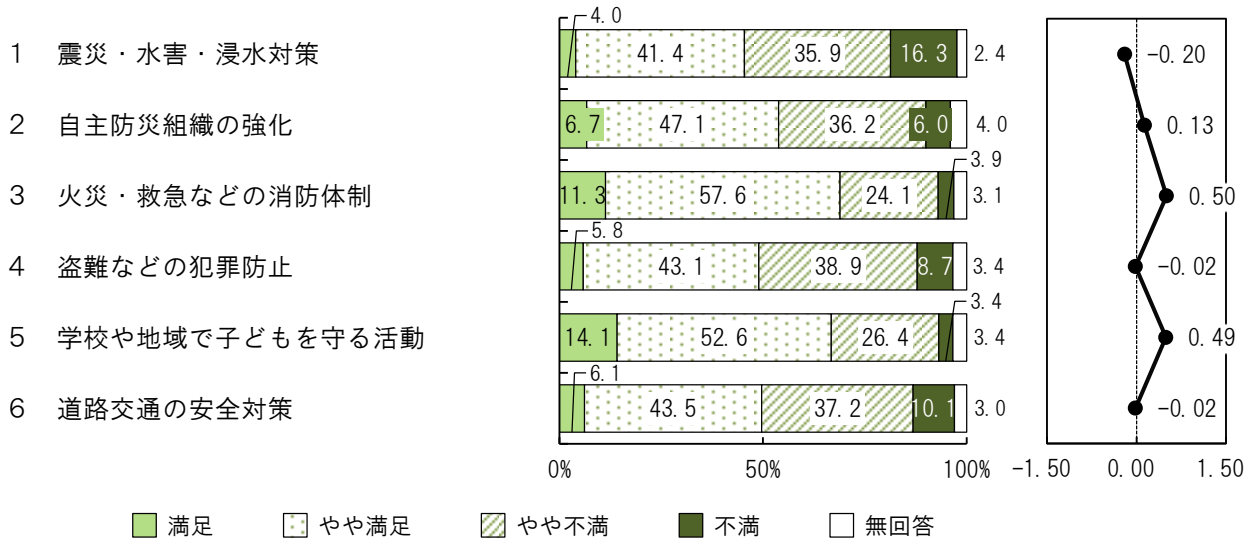
「満足」と回答した人を＋２点、「やや満足」と回答した人を＋１点、「やや不満」と回答した人を－１点、「不満」と回答した人を－２点として算出した値を、回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割って算出しています。評価点は、プラスの大きい項目は評価が高く、マイナスの大きいものは評価が低いことを表しています。

満足度	点数
「満足」	＋２点
「やや満足」	＋１点
「やや不満」	－１点
「不満」	－２点
「無回答」	点数加算なし・回答者数にも含まない

(19) 満足度【防災】

【防災】

令和7年度 (n=701)



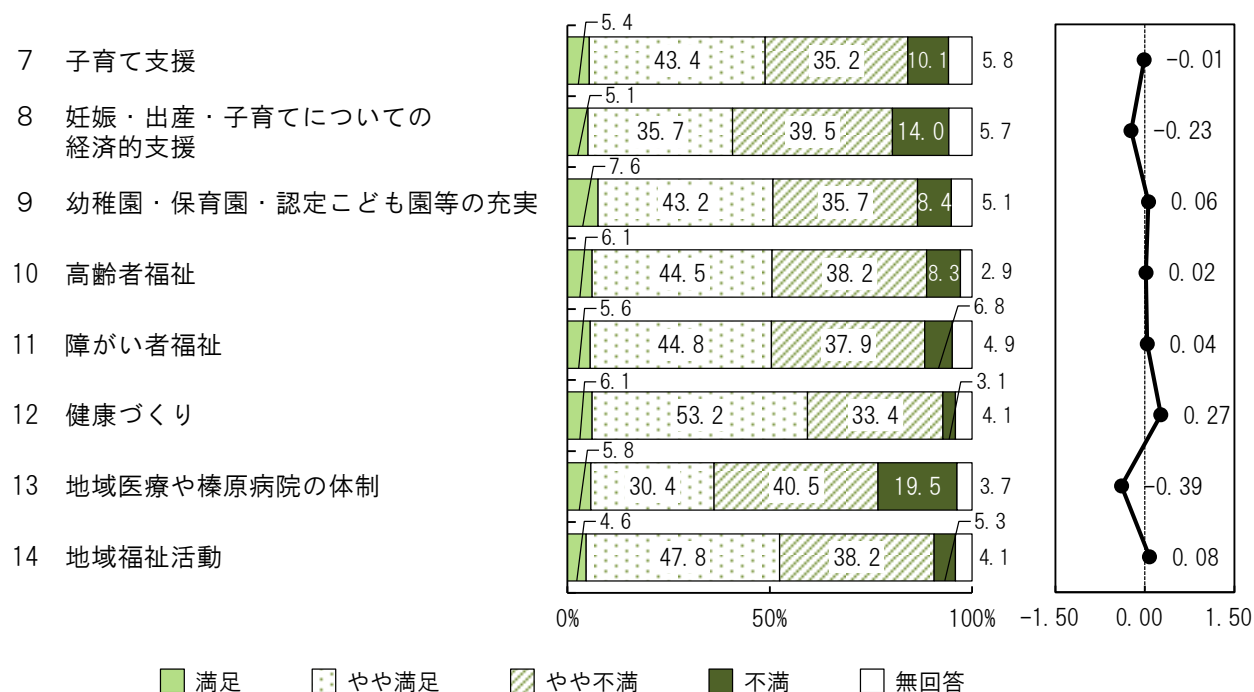
満足度が最も高い項目は、《3 火災・救急などの消防体制》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が68.9%、評価点が0.50点となっています。次に満足度が高い項目は、《5 学校や地域で子どもを守る活動》（0.49点）、《2 自主防災組織の強化》（0.13点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《1 震災・水害・浸水対策》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が52.2%、評価点が-0.20点となっています。次に満足度が低い項目は、《4 盗難などの犯罪防止》《6 道路交通の安全対策》（ともに-0.02点）、《2 自主防災組織の強化》（0.13点）などとなっています。

(20) 満足度【健康福祉】

【健康福祉】

令和7年度 (n=701)



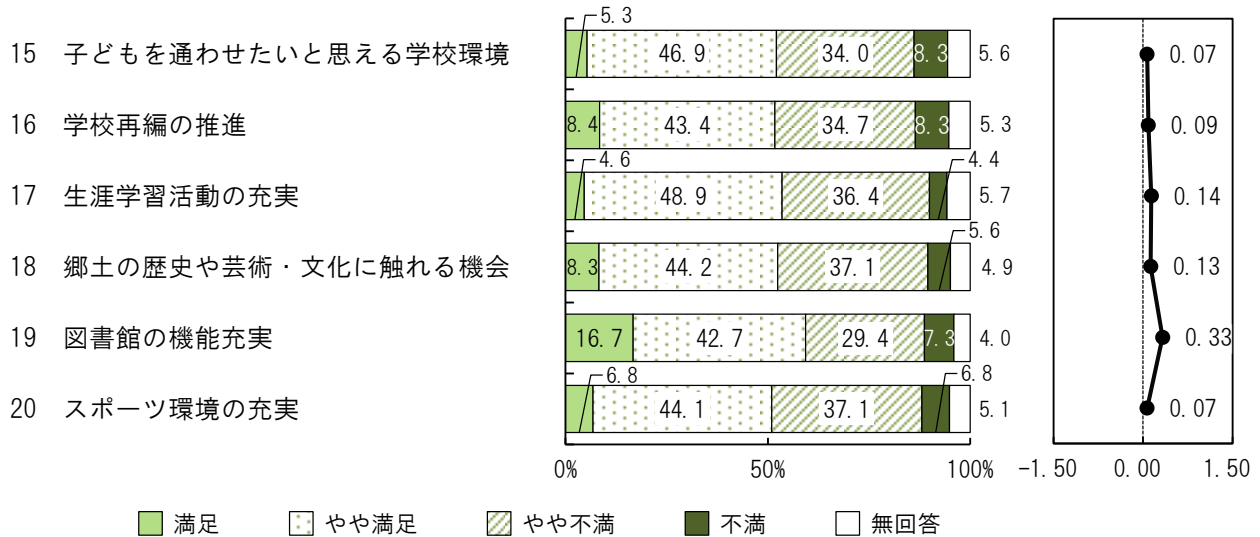
満足度が最も高い項目は、《12 健康づくり》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が59.3%、評価点が0.27点となっています。次に満足度が高い項目は、《14 地域福祉活動》（0.08点）、《9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実》（0.06点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《13 地域医療や榛原病院の体制》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が60.1%、評価点が-0.39点となっています。次に満足度が低い項目は、《8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援》（-0.23点）、《7 子育て支援》（-0.01点）などとなっています。

(21) 満足度【教育文化】

【教育文化】

令和7年度 (n=701)



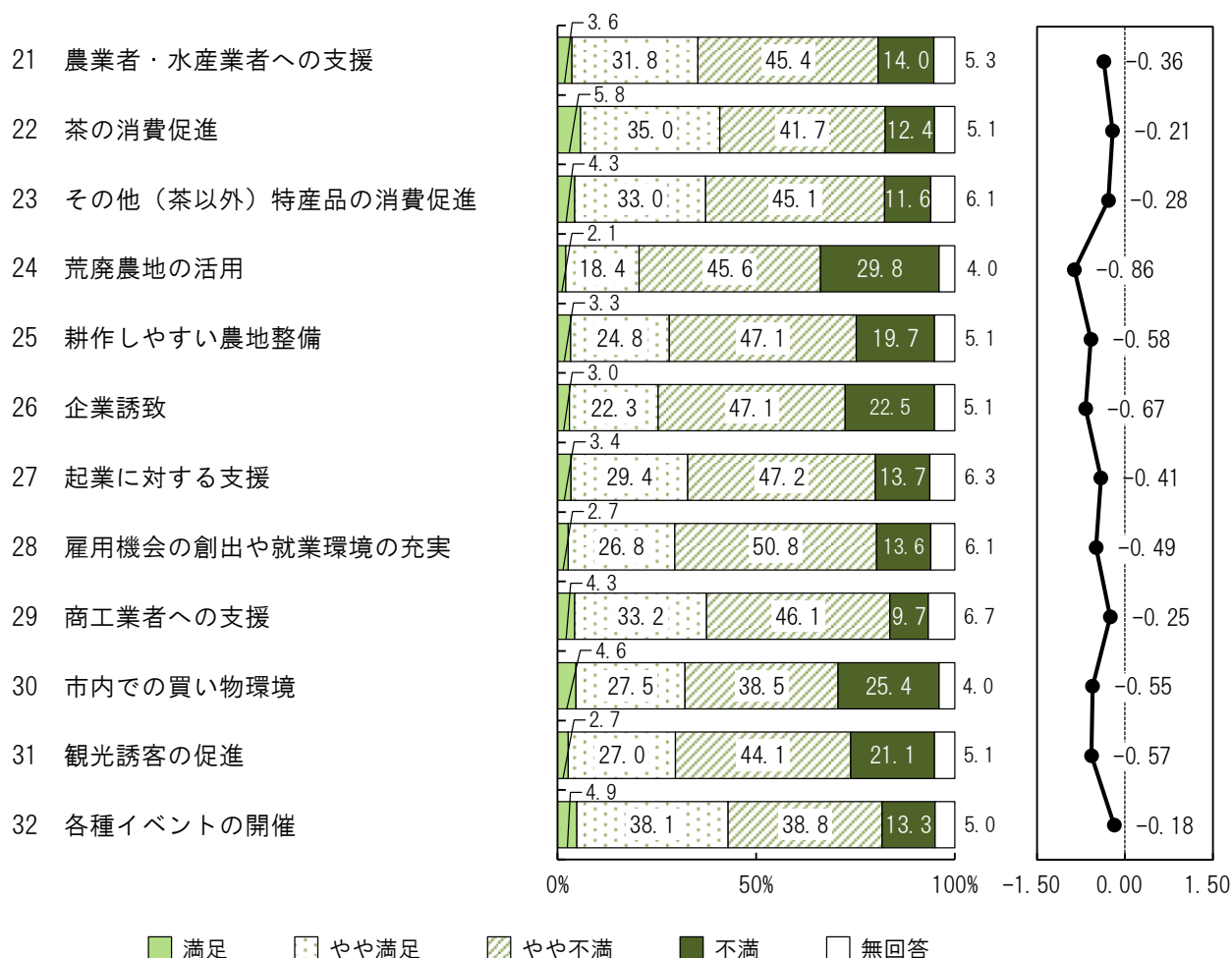
満足度が最も高い項目は、《19 図書館の機能充実》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が59.3%、評価点が0.33点となっています。次に満足度が高い項目は、《17 生涯学習活動の充実》（0.14点）、《18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会》（0.13点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《20 スポーツ環境の充実》《15 子どもを通わせたいと思える学校環境》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）がそれぞれ42.2%、43.9%、評価点がともに0.07点となっています。次に満足度が低い項目は、《16 学校再編の推進》（0.09点）、《18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会》（0.13点）などとなっています。

(22) 満足度【産業経済】

【産業経済】

令和7年度 (n=701)



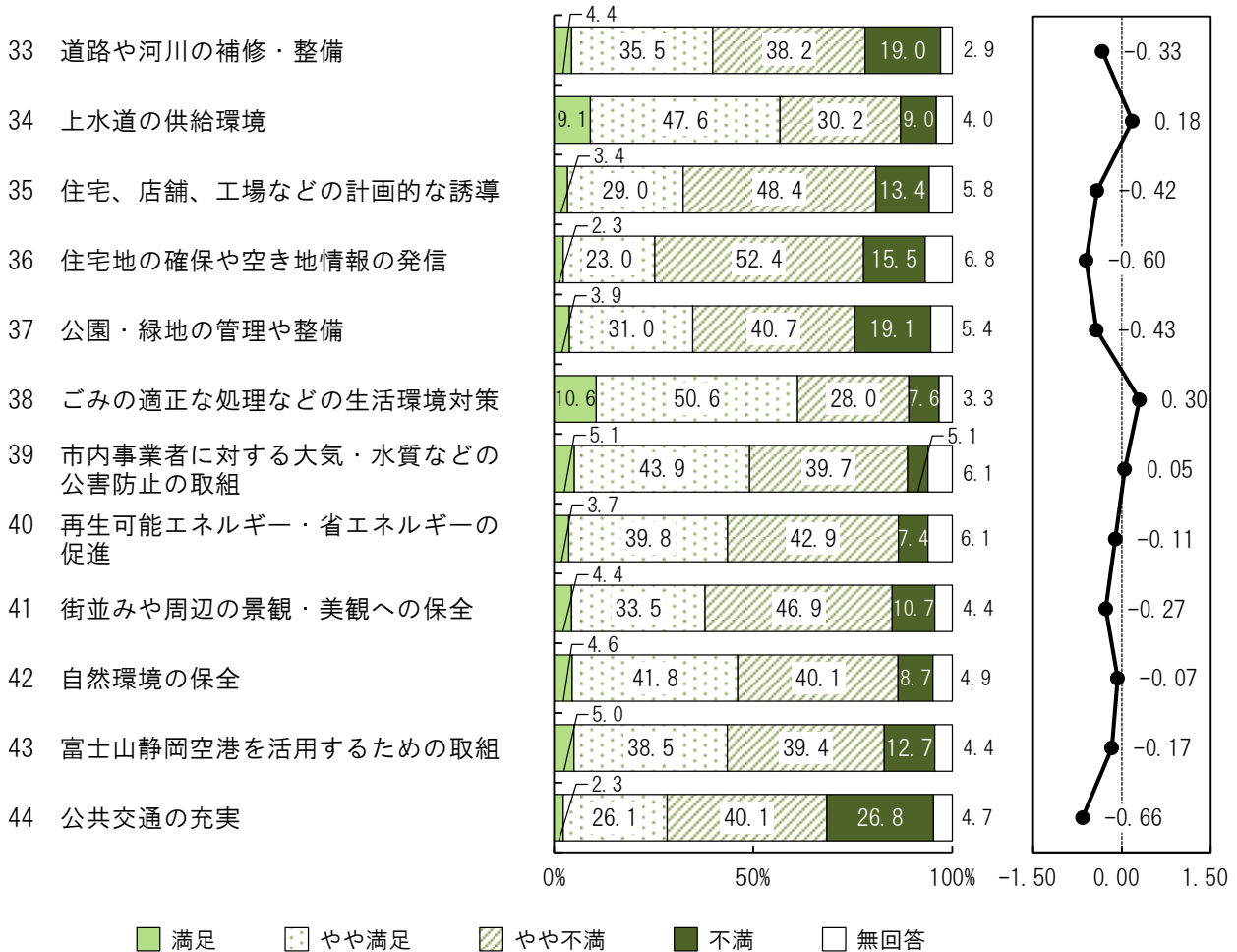
満足度が最も高い項目は、《32 各種イベントの開催》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が42.9%、評価点が-0.18点となっています。次に満足度が高い項目は、《22 茶の消費促進》（-0.21点）、《29 商工業者への支援》（-0.25点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《24 荒廃農地の活用》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が75.5%、評価点が-0.86点となっています。次に満足度が低い項目は、《26 企業誘致》（-0.67点）、《25 耕作しやすい農地整備》（-0.58点）などとなっています。

(23) 満足度【生活基盤】

【生活基盤】

令和7年度 (n=701)



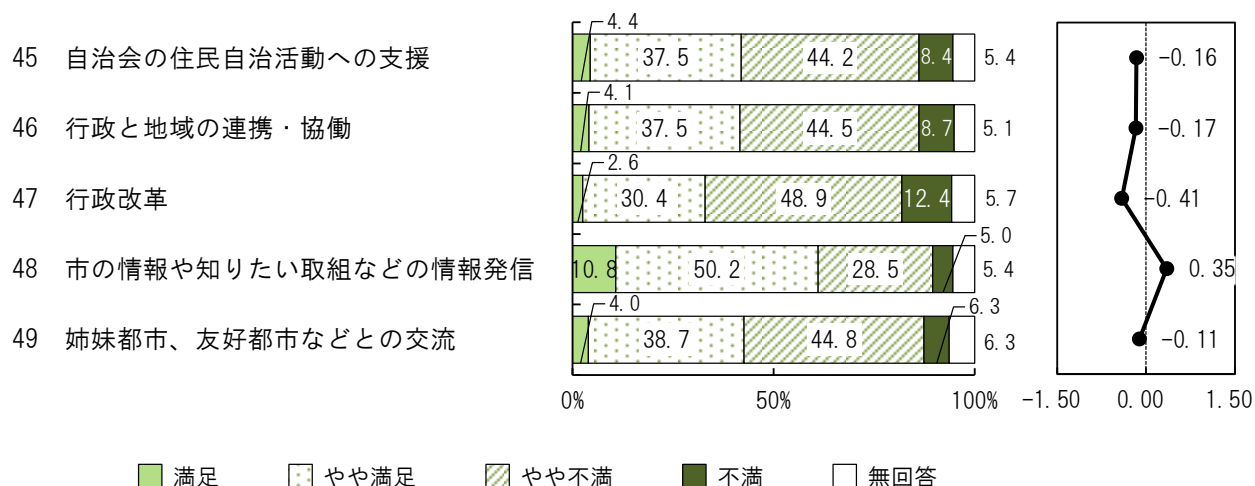
満足度が最も高い項目は、《38 ごみの適正な処理などの生活環境対策》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が61.2%、評価点が0.30点となっています。次に満足度が高い項目は、《34 上水道の供給環境》（0.18点）、《39 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組》（0.05点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《44 公共交通の充実》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が66.9%、評価点が-0.66点となっています。次に満足度が低い項目は、《36 住宅地の確保や空き地情報の発信》（-0.60点）、《37 公園・緑地の管理や整備》（-0.43点）などとなっています。

(24) 満足度【市政経営】

【市政経営】

令和7年度 (n=701)

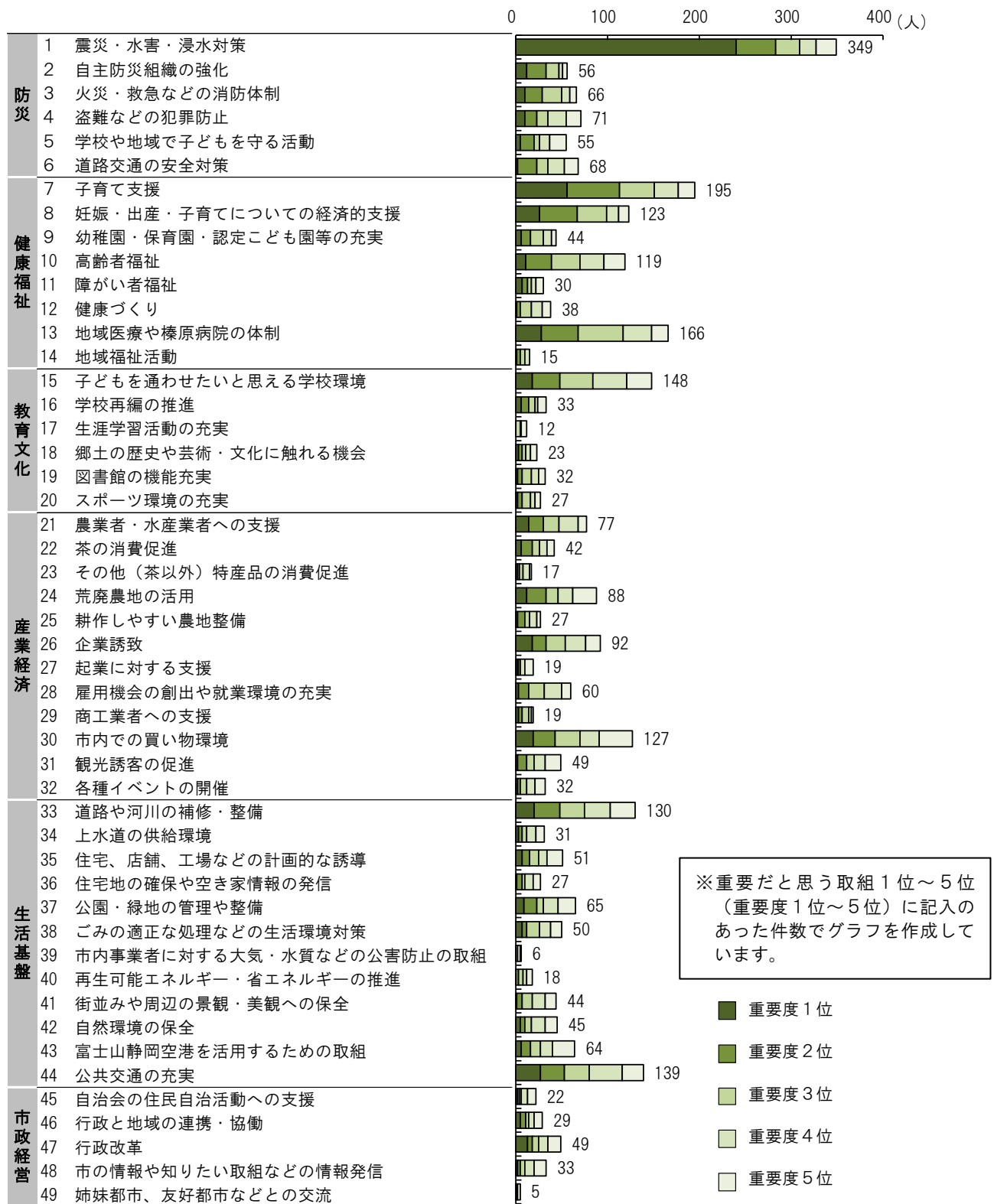


満足度が最も高い項目は、《48 市の情報や知りたい取組などの情報発信》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が61.1%、評価点が0.35点となっています。次に満足度が高い項目は、《49 姉妹都市、友好都市などとの交流》（-0.11点）、《45 自治会の住民自治活動への支援》（-0.16点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《47 行政改革》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が61.3%、評価点が-0.41点となっています。次に満足度が低い項目は、《46 行政と地域の連携・協働》（-0.17点）、《45 自治会の住民自治活動への支援》（-0.16点）などとなっています。

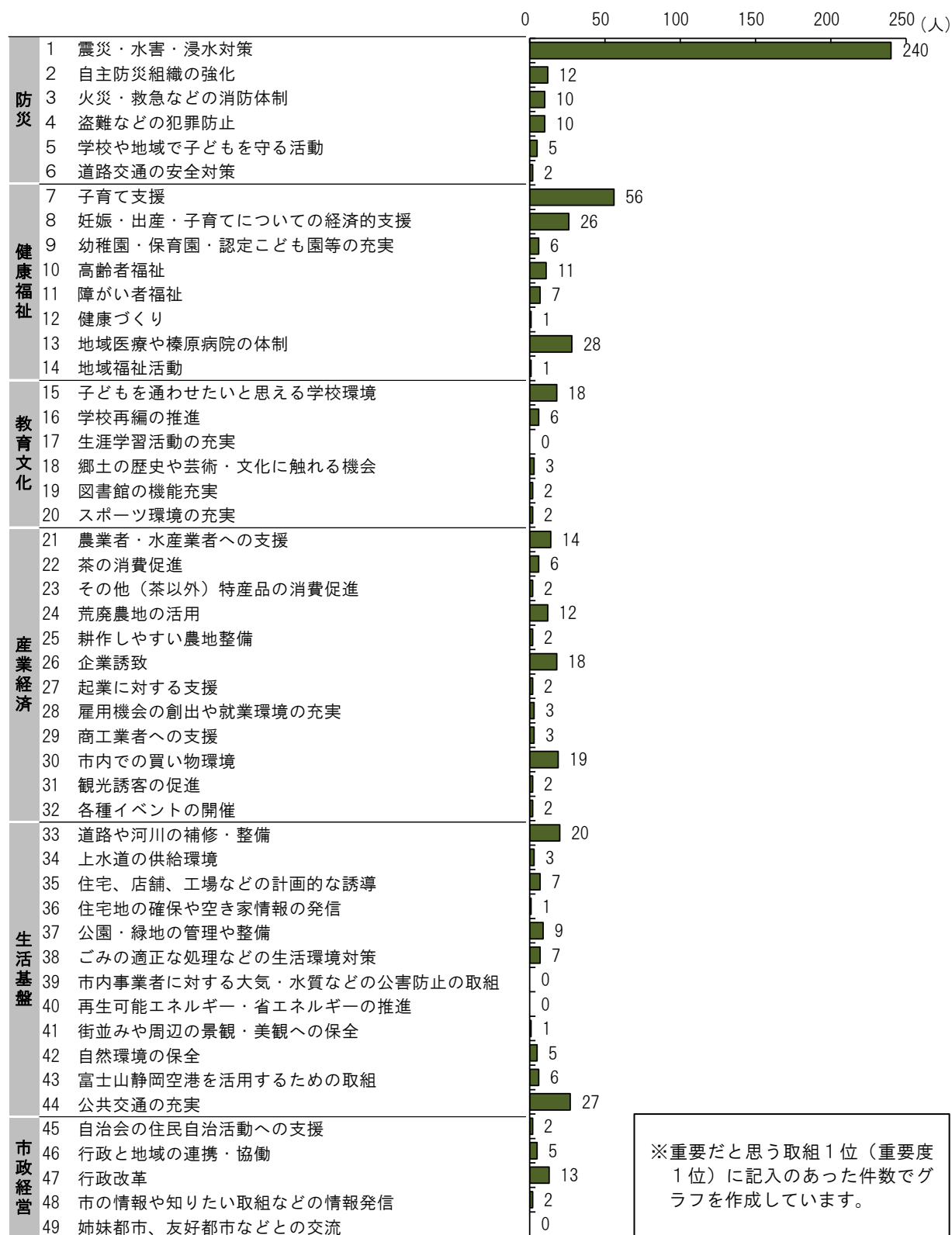
(25) 重要だと思う取組（重要度上位5つの合計件数）

問19 あなたは、市の取組の中でどれが重要だと思いますか？問18（市の取組への満足度）の1～49の項目から上位5つまでを選んで番号を記入してください。（数字で記入）



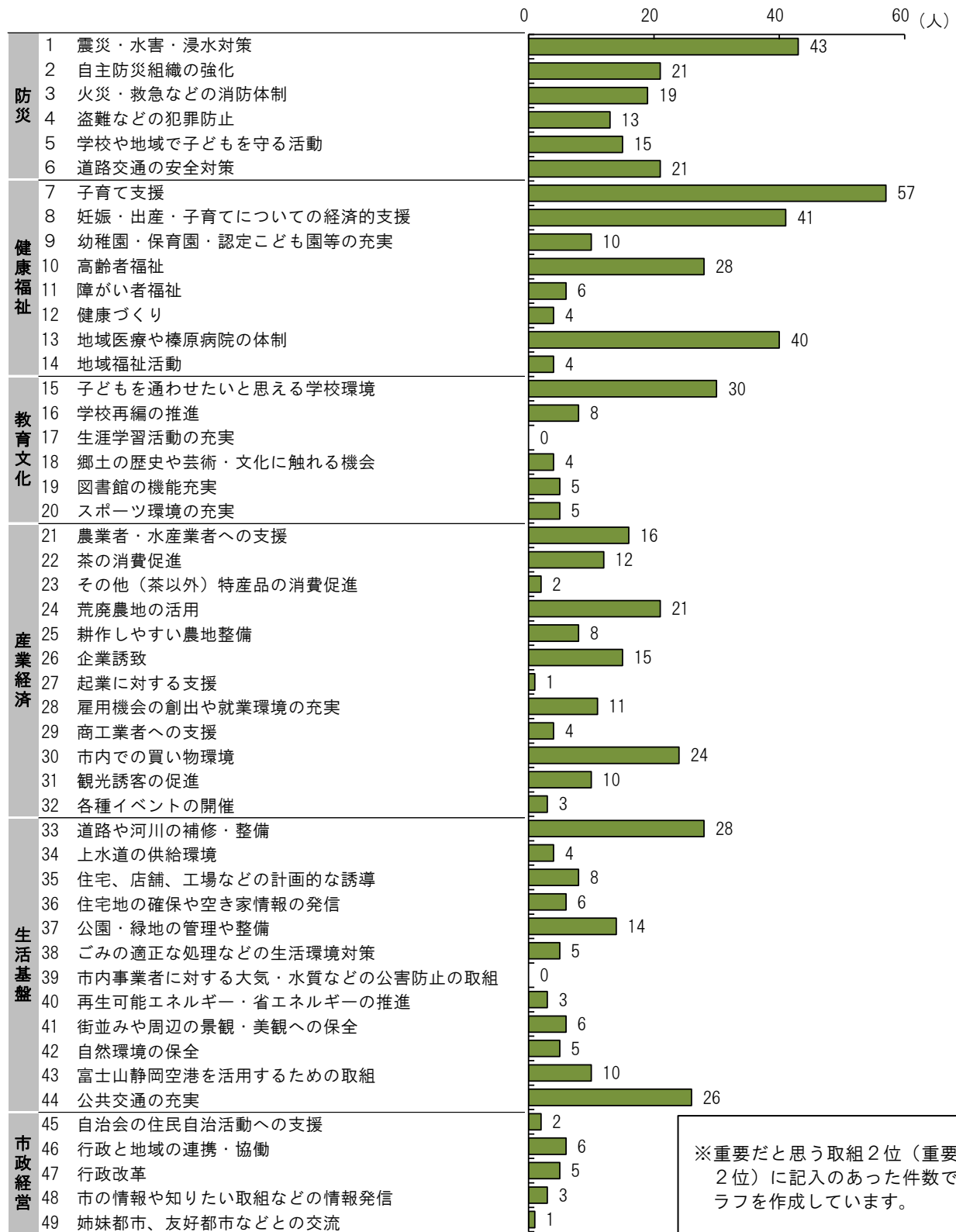
市の取組の中で重要だと思うものの上位5つは、《1 震災・水害・浸水対策》が349人と最も多く、次いで《7 子育て支援》が195人、《13 地域医療や榛原病院の体制》が166人などとなっています。

(26) 重要だと思う取組（1位）



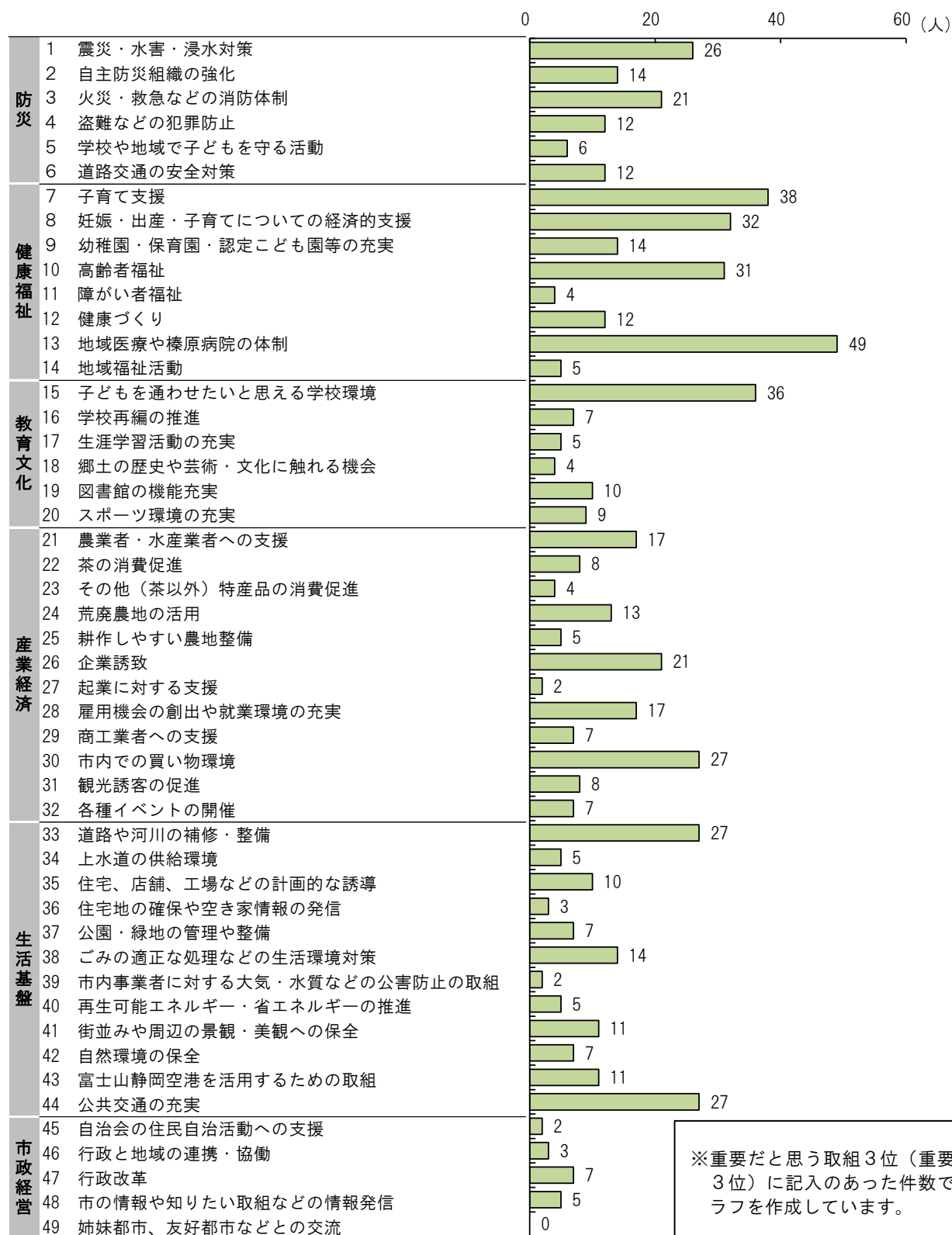
最も重要だと思う施策は、《1 震災・水害・浸水対策》が240人と最も多く、次いで《7 子育て支援》が56人、《13 地域医療や榛原病院の体制》が28人などとなっています。

(27) 重要だと思う取組（2位）



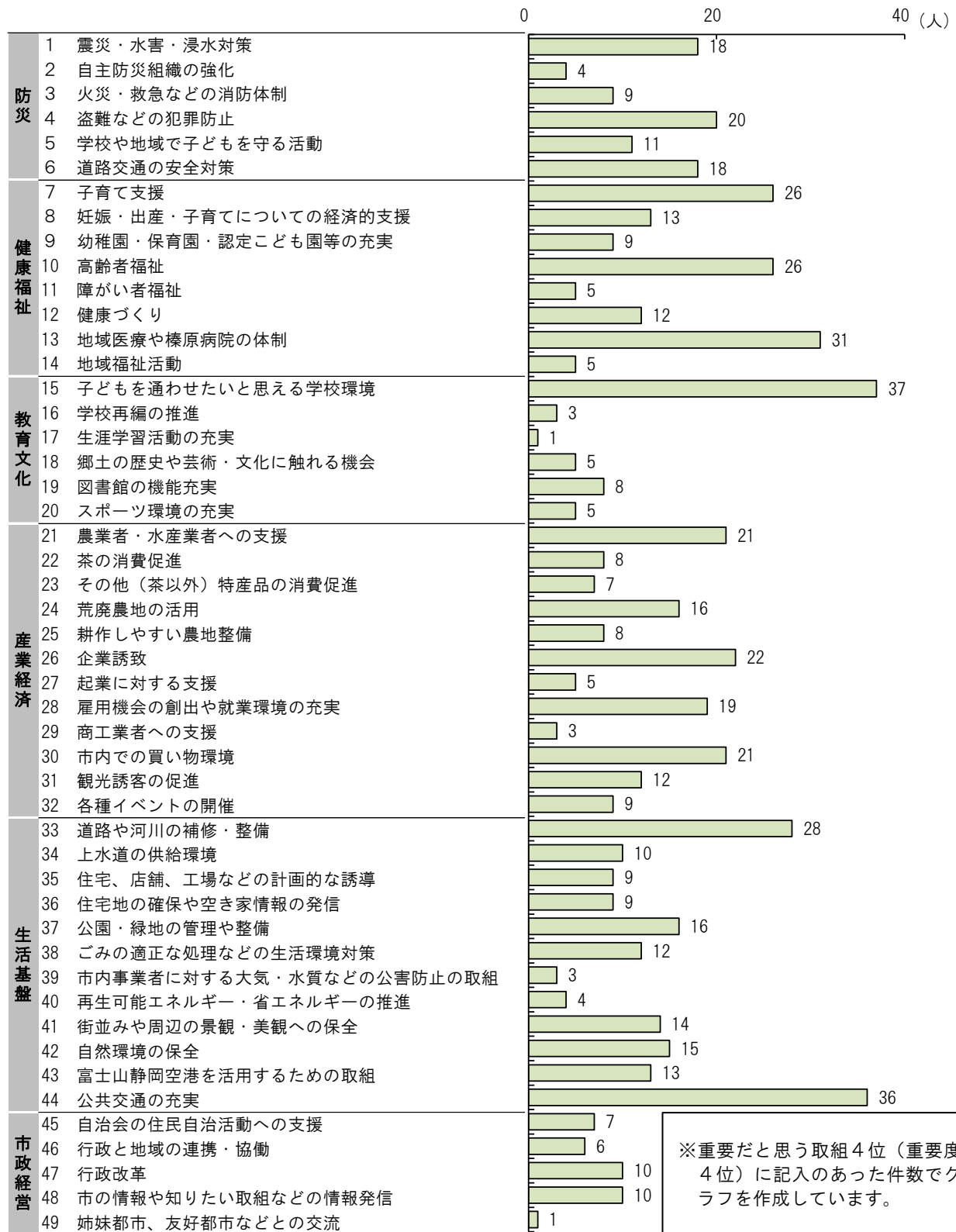
2番目に重要だと思う施策は、《7 子育て支援》が57人と最も多く、次いで《1 震災・水害・浸水対策》が43人、《8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援》が41人などとなっています。

(28) 重要だと思う取組（3位）



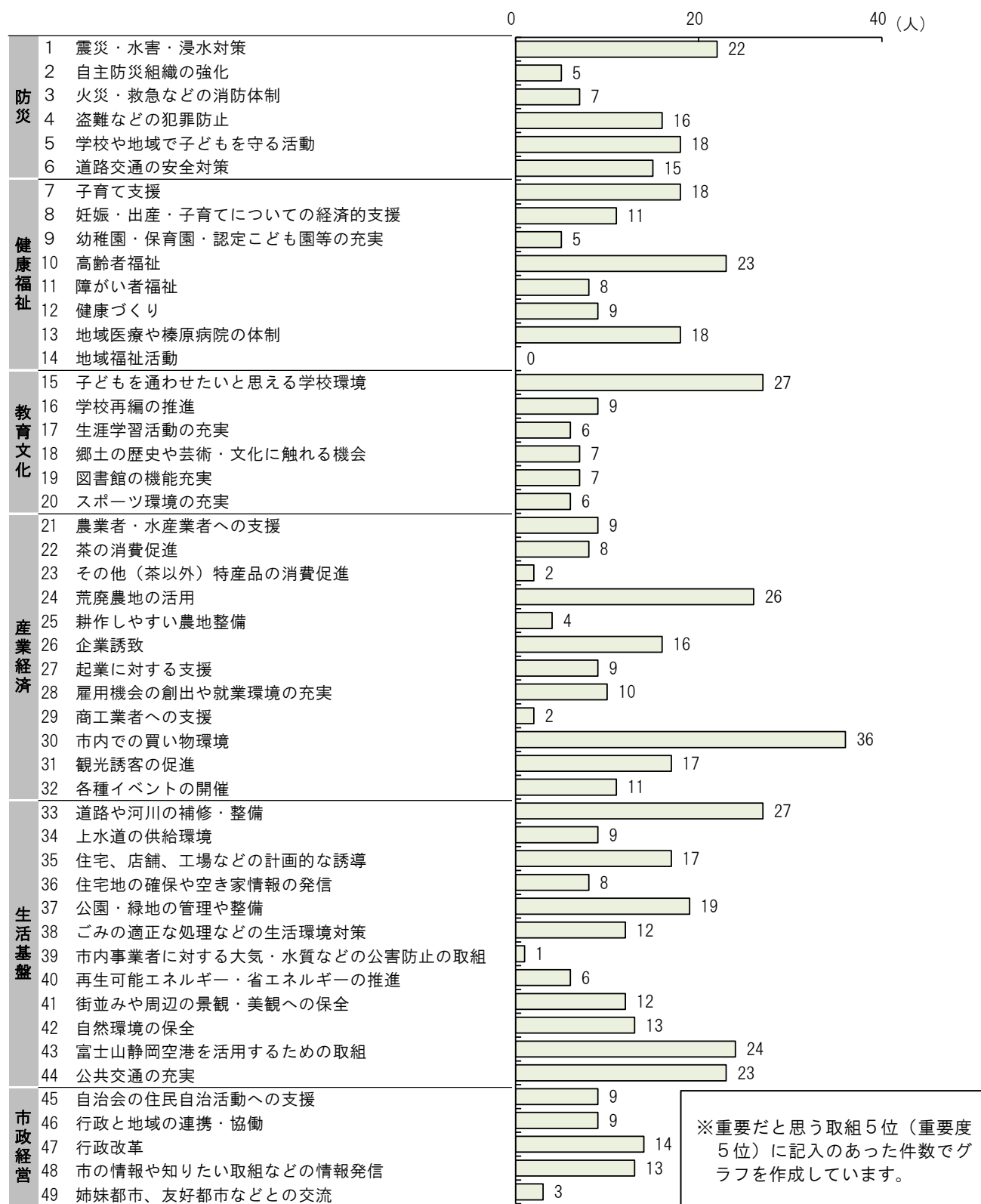
3番目に重要だと思う施策は、《13 地域医療や榛原病院の体制》が49人と最も多く、次いで《7 子育て支援》が38人、《15 子どもを通わせたいと思える学校環境》が36人などとなっています。

(29) 重要だと思う取組（4位）



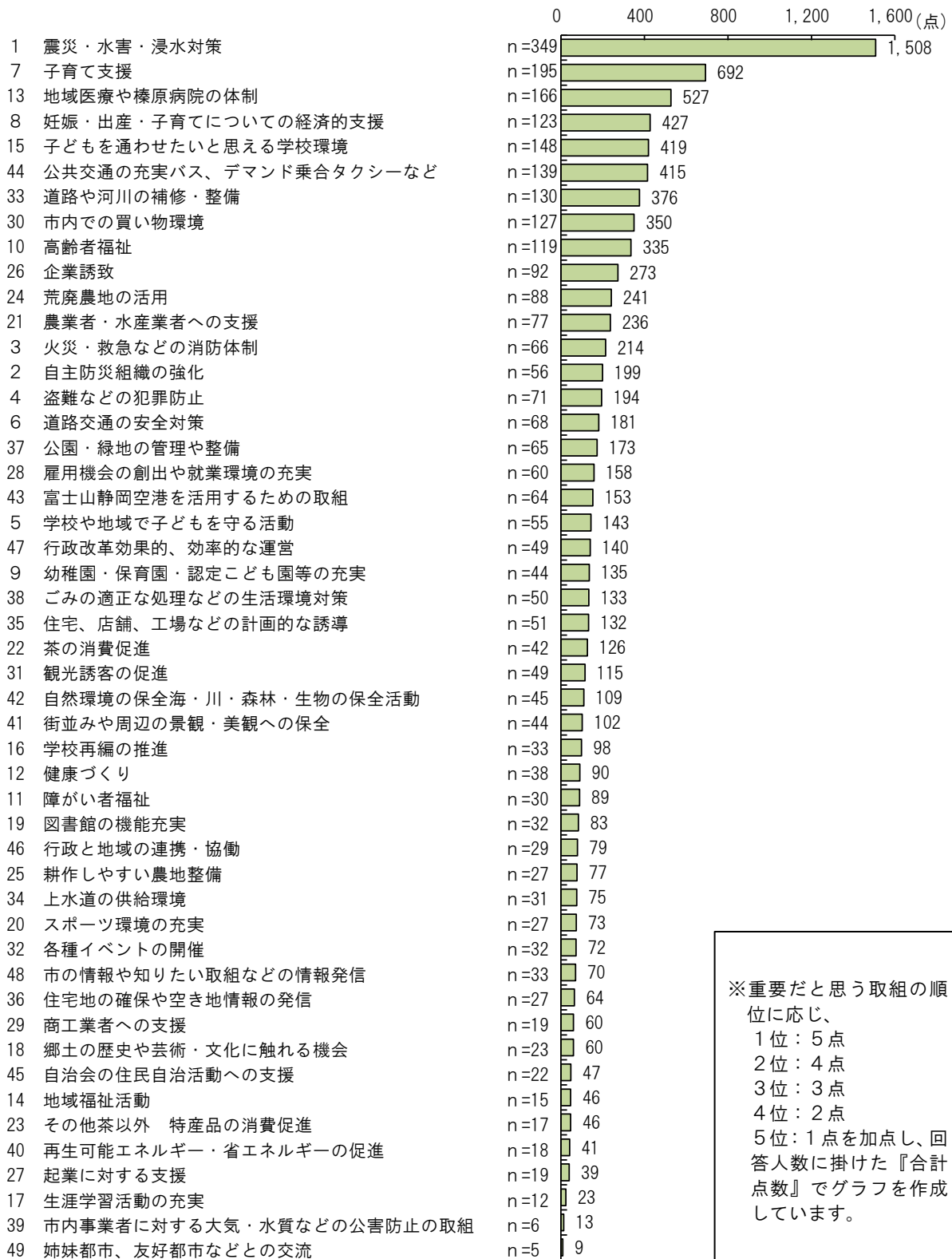
4番目に重要だと思う施策は、《15 子どもを通わせたいと思える学校環境》が37人と最も多く、次いで《44 公共交通の充実》が36人、《13 地域医療や榛原病院の体制》が31人などとなっています。

(30) 重要だと思う取組（5位）



5番目に重要だと思う施策は、《30 市内での買い物環境》が36人と最も多く、次いで《15 子どもを通わせたいと思える学校環境》《33 道路や河川の補修・整備》がともに27人、《24 荒廃農地の活用》が26人などとなっています。

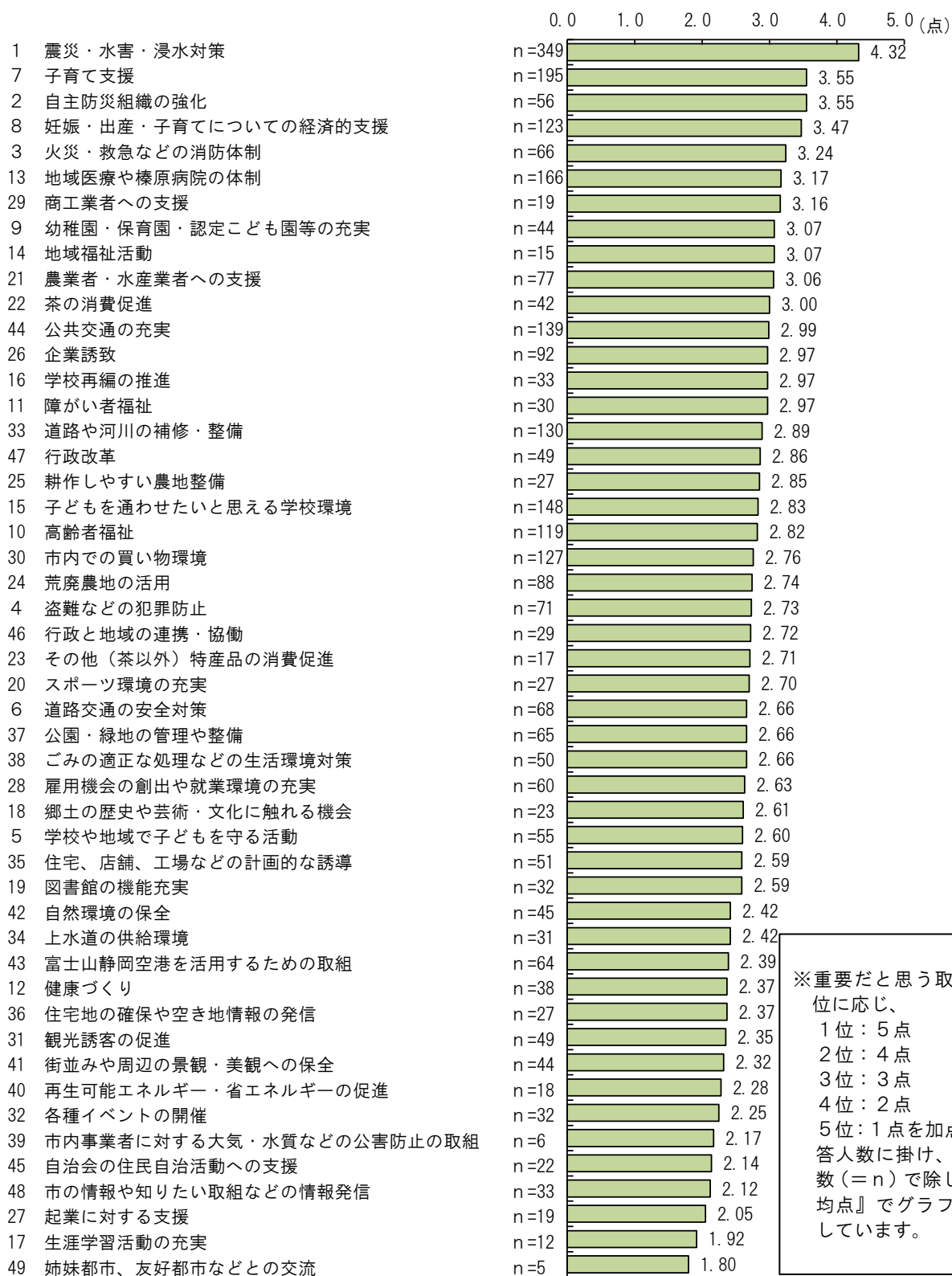
(31) 重要だと思う取組（合計点数の高い順）



※重要だと思う取組の順位に応じ、
 1位：5点
 2位：4点
 3位：3点
 4位：2点
 5位：1点を加点し、回答人数に掛けた『合計点数』でグラフを作成しています。

1位～5位で加点した合計点数は、《1 震災・水害・浸水対策》が1,508点と最も高く、次いで《7 子育て支援》が692点、《13 地域医療や榛原病院の体制》が527点などとなっています。

(32) 重要だと思う取組（平均点の高い順）



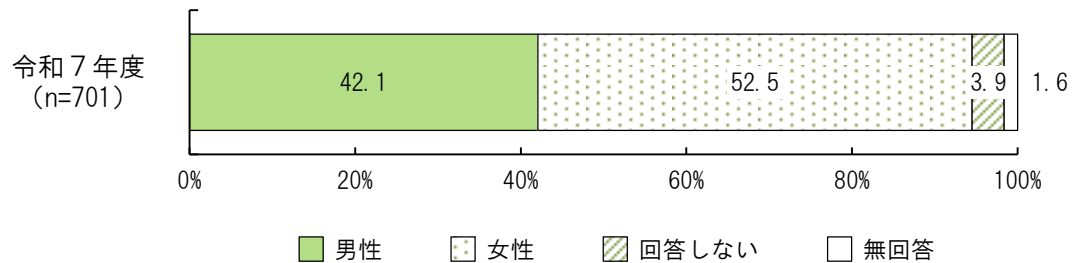
※重要だと思う取組の順
位に応じ、
1位：5点
2位：4点
3位：3点
4位：2点
5位：1点を加点し、回
答人数に掛け、回答総
数(=n)で除した『平
均点』でグラフを作成
しています。

1位～5位で加点した平均点は、《1 震災・水害・浸水対策》が4.32点と最も高く、次いで《7 子育て支援》《2 自主防災組織の強化》がともに3.55点、《8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援》が3.47点などとなっています。

⑪回答者自身のことについて

(33) 回答者の属性 ①性別

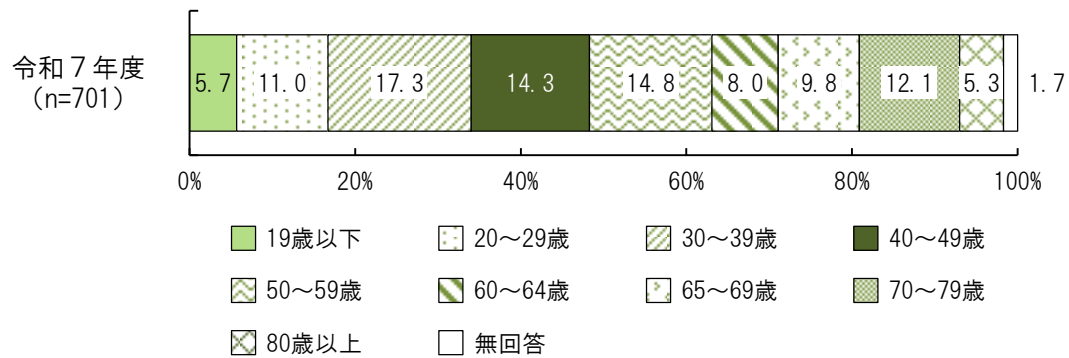
問20：1 あなたの性別は？（○は1つ）



回答者の性別は、「男性」が42.1%、「女性」が52.5%、「回答しない」が3.9%となっています。

(34) 回答者の属性 ②年齢

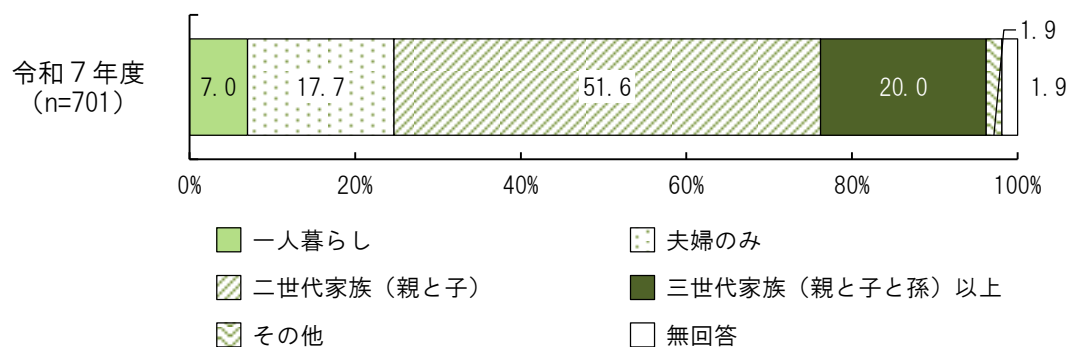
問20：2 あなたの年齢は？（○は1つ）



回答者の年齢は、「30～39歳」が17.3%と最も多く、次いで「50～59歳」が14.8%、「40～49歳」が14.3%などとなっています。

(35) 回答者の属性 ③同居世帯の構成

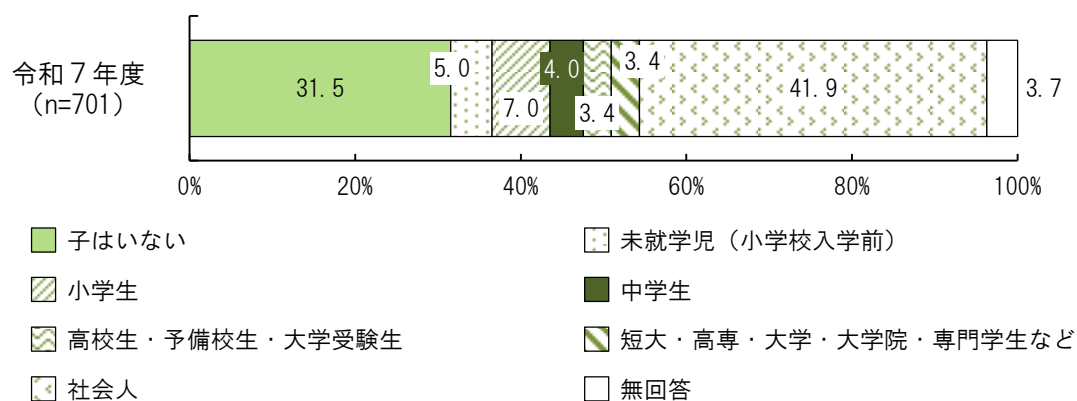
問20：3 あなたを含む同居世帯の構成は？（○は1つ）



回答者の同居世帯の構成は、「二世世代家族（親と子）」が51.6%と最も多く、次いで「三世世代家族（親と子と孫）以上」が20.0%、「夫婦のみ」が17.7%などとなっています。

(36) 回答者の属性 ④子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろ

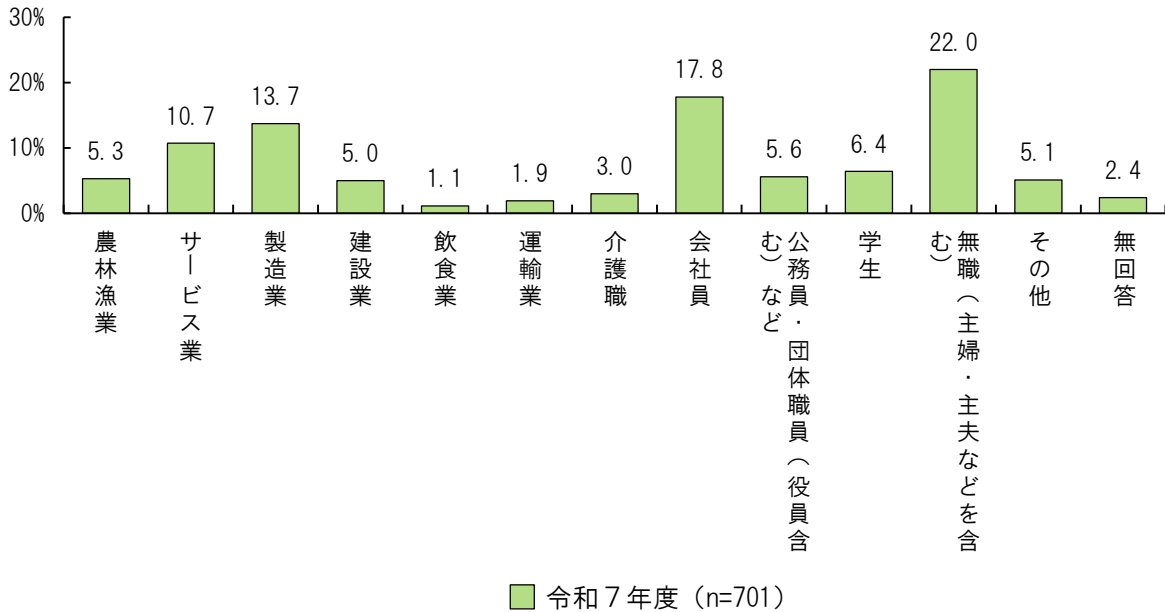
問20：4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。（○は1つ）



回答者の子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろは、「社会人」が41.9%と最も多く、次いで「子はいない」が31.5%、「小学生」が7.0%などとなっています。

(37) 回答者の属性 ⑤職業

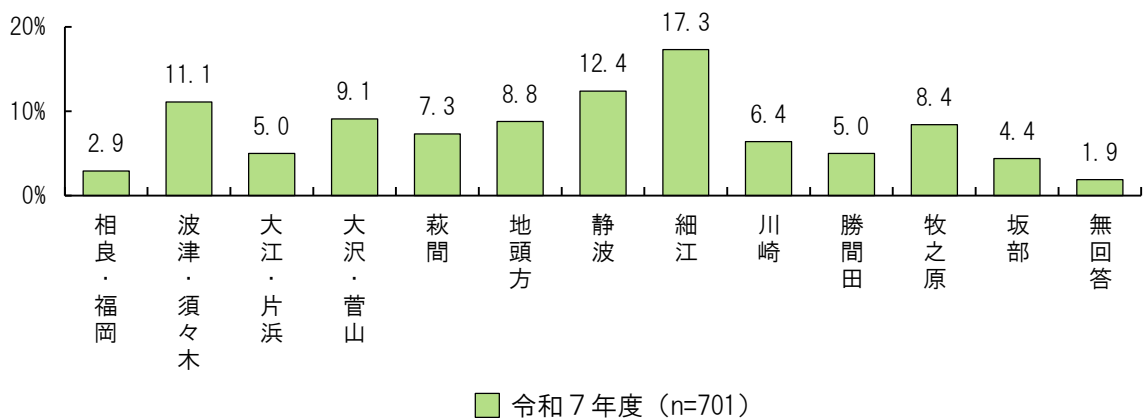
問20：5 あなたの職業は？（○は1つ）



回答者の職業は、「無職（主婦・主夫などを含む）」が 22.0%と最も多く、次いで「会社員」が 17.8%、「製造業」が 13.7%などとなっています。

(38) 回答者の属性 ⑥居住地域

問20：6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？（○は1つ）



回答者の居住地域は、「細江」が 17.3%と最も多く、次いで「静波」が 12.4%、「波津・須々木」が 11.1%などとなっています。

3. 調査票

令和7年度 牧之原市市民意識調査

一牧之原市のより良い将来に向けて、あなたの声をお聞かせくださいー

日頃から、市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
牧之原市では、住む魅力のあるまち、次世代にわたりこの地で暮らすことに幸せを感じられるまちを目指し、第3次総合計画をスタートしました。

現在、牧之原市では出生数の減少や若者の減少が、まちの持続性に向けた大きな課題となっています。その課題解決のため、総合計画の中には、牧之原らしい魅力ある独自の暮らし方・楽しみ方を創出すること、安心して楽しく子育てができ将来に希望がもてる環境づくりやサービスの充実を行うことなど、さまざまなプロジェクトを位置づけています。

この市民意識調査は、総合計画に設定している数値目標の進捗をチェックするとともに、市民の皆様の声をお聴きするために実施しています。

設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、牧之原市の「輝く未来」の実現に向けて、皆様の声を市政に反映させていただきたく、ご協力をお願いいたします。



令和7年4月 牧之原市長 杉本 基久雄

■調査の取扱い

1. 調査票は無記名で回答してください。調査結果は統計的に処理します。
2. 調査結果は、調査目的以外に使用することはありません。

■調査対象

市内在住の16歳以上の男女から無作為で1,400人を抽出しています。

■記入上の注意

1. この調査は宛名のご本人が記入してください。ご本人が回答できない場合は、ご家族などによる聞き取りにて記入をお願いします。
2. ご回答は、番号に○を記入してください。回答は、設問ごとに「1つ」「3つ以内」などそれぞれ指定されていますので、ご注意ください。
3. 筆記用具の種類は問いません。各番号を囲むように濃く記載してください。例 (①)

■インターネットで回答する場合

本調査はインターネットからも回答できます。インターネットで回答する場合は、下記のQRコード又はURLから回答フォームにアクセスし、入力フォームが表示されたら下記のログインIDを入力してください。



【URL】<https://logoform.jp/form/gCEn/914309>

ログイン ID

※ログインIDは重複回答を避けるために使用するものであり、個人を特定するものではありません。

■調査票の返送

調査票への記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、**5月12日(月)までに切手を貼らずにお近くの郵便ポストに投函してください。**※インターネット回答の場合は、紙での返送は不要です。

■お問合せ先

牧之原市役所 企画政策部 企画政策課(担当:芳村) 電話 0548-23-0045

「牧之原市での暮らし」について、お聞かせください。

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 住み続けたい | 2 市内の他の場所へ移りたい |
| 3 市外へ移りたい | 4 わからない |

(問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

問2 他の場所へ移りたい理由は何ですか？(○は3つ以内)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから | 2 通勤や通学など交通面が不便だから |
| 3 道路などの生活基盤が整備されていないから | 4 子育てや教育の環境が良くないから |
| 5 医療や介護の環境が良くないから | 6 自然環境が悪化しているから |
| 7 地震や津波などの被災のおそれがあるから | 8 人間関係やしきたり等が煩わしいから |
| 9 知人や親族がいないから | 10 故郷ではないから |
| 11 勤めたい会社が市内にないから | |
| 12 その他（具体的に： | ） |

問3 市内で転居するとしたら、どんな場所に住みたいですか？(○は3つ以内)

※転居する予定がない方もお答えください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 災害の心配がないところ |
| 2 災害の心配はあるが、対策がされているところ（避難タワーや避難路など） |
| 3 市街地周辺で高台エリア |
| 4 幹線道路やインターチェンジ周辺など交通の利便性が高いところ |
| 5 公共交通機関へのアクセスの良いところ |
| 6 商店や公共施設の近く |
| 7 学校の近く |
| 8 職場の近く |
| 9 病院や医療施設の近く |
| 10 新興住宅地 |
| 11 自然豊かで緑の多いところ |
| 12 昔から慣れ親しんだところ（過去に住んでいた、通い慣れた場所など） |
| 13 その他（具体的に： |
| ） |

問4 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？(○は1つ)

- 1 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い
- 2 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に： _____）

「女性にやさしいまち」について、お聞かせください。

当市では、若者の市外への流出が進んでおり、それに伴い出生数も大きく減少しています。当市の男女別の人口構成では、20代から40代で女性が男性に比べて少ないため、若者世代の定住や出生数を増やすためには、女性の定住意欲を高めるような事業の創出、施策の充実が必要であると考えられます。

そのため、当市は「女性にやさしいまち」を目指し、仕事、結婚、子育て、日常生活の各ライフステージにおいて、女性が暮らしやすく、活躍できる環境を充実していきます。

問5 あなたは、牧之原市は女性が暮らしやすいまちだと思いますか？(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり思わない | 5 まったく思わない | 6 わからない |

問6 あなたは、女性にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何かと思いますか？(○は2つ以内)

- 1 仕事（働きたい職種がある、育児と仕事の両立ができる など）
- 2 結婚（出会いの場がある など）
- 3 子育て（子どもを産み育てやすい環境づくり など）
- 4 日常生活（買い物や食事などで楽しく過ごせる施設の充実 など）
- 5 その他（具体的に： _____）

「子育て」について、お聞かせください。

問7 あなたは、牧之原市が子どもを育てやすい環境だと思いますか？(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり思わない | 5 まったく思わない | 6 わからない |

問8 あなたは、子どもを育てやすい環境にするためには、市はどんなことに力を入れるべきだと思いますか？（○は3つ以内）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 小児科や産婦人科などの医療機関の充実 | 2 親子で遊べる施設や公園の整備 |
| 3 子育てに関する経済的支援の充実 | 4 悩みごとを話せる相談窓口の充実 |
| 5 教育・文化水準の向上 | 6 子どもを預かる施設の充実 |
| 7 男性の育児・家事参加の促進 | 8 地域で子どもを育てる意識の向上 |
| 9 子育てについての積極的な情報提供 | 10 仕事や家事などとの両立の支援 |
| 11 その他（具体的に： | ） |

「教育」について、お聞かせください。

当市では、児童生徒数の減少や施設の老朽化という課題を踏まえ、平成 29 年度から子どもたちにとっての望ましい教育環境について検討を続けてきました。キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールを推進し、子どもたちの「次代を切り拓く力」を育むとともに、安全・安心で学びやすく、通いたい・通わせたい・働きたいと思える魅力的な義務教育学校を作ります。

義務教育学校は、1～9 年生が同じ教育方針の下、同じ施設で過ごす施設一体型とし、榛原地域は 2030 年度、相良地域は 2033 年度の開校を予定しています。

問9 あなたは、義務教育学校の整備を踏まえ、今後、子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？（○は3つ以内）

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 教科の基礎的な学力 | 2 実際の場面で使える英語力 |
| 3 コンピュータを活用する力 | 4 音楽・美術など芸術面の能力や情操 |
| 5 体力や運動能力 | 6 ものごとを論理的に考える力 |
| 7 自分の考えを表現する力 | 8 ものごとを計画的に行う力 |
| 9 新しいものを生み出す創造的な力 | 10 自ら学ぼうとする意欲 |
| 11 善悪を判断する力 | 12 人間関係を築く力（コミュニケーション力） |
| 13 社会で役立とうとする心 | 14 基本的な生活習慣 |
| 15 その他（具体的に： | ） |

「多文化共生」について、お聞かせください。

当市は、農業や自動車産業が主要産業で、約 2,600 人（令和7年4月1日時点）の外国籍住民が暮らしています。今後は、国内労働人口の減少が予測されることから、外国籍従業員の力が必要となり、市内で暮らす外国籍住民が増えると想定されています。

こういったことに対応するため、当市では、16 歳以上の外国籍の方を対象とした日本での日常会話や生活習慣を学ぶための「はじめての日本語教室」や、小中学校編入前の外国籍の児童生徒が通う日本語初期支援教室「いっぽ」を実施しています。

問10 あなたは、外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？（○は2つ以内）

- 1 言語サポート（日本語習得の支援 など）
- 2 日常生活サポート（ごみ出しや地域での生活ルールなどの周知 など）
- 3 雇用サポート（企業や働くことに関する情報の周知 など）
- 4 相談できる窓口（悩みや相談を受けてくれる窓口の設置 など）
- 5 市民の理解（やさしい日本語を使って話をする など）
- 6 その他（具体的に： _____）

「公共施設の最適化」について、お聞かせください。

日本では、昭和 40 年代から 50 年代における、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一齐に整備しました。

これらの公共施設は、老朽化により、近い将来一齐に作り直さなければいけない時期を迎えます。しかし、人口や経済構造が変化する中で、全ての公共施設を維持・更新していくことが財政的に難しくなるため、当市では公共施設の最適化に向け、計画的に取り組んでいきます。

問11 牧之原市では、この「公共施設の最適化」に対応するための取組を行っています。あなたは、市のどのような取組を知っていますか？（○はいくつでも）

- | | | |
|---------------------|------------|--------------|
| 1 学校再編の取組 | 2 保育施設の民営化 | 3 片浜小学校の利活用 |
| 4 消防団詰所の統廃合 | 5 図書館の整備 | 6 老朽化施設の取り壊し |
| 7 多目的体育館の整備 | 8 道の駅の整備 | 9 知らない |
| 10 その他（具体的に： _____） | | |

問12 「公共施設の最適化」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？（○は1つ）

- | | | |
|---------|----------------|----------|
| 1 容認できる | 2 ある程度までは容認できる | 3 容認できない |
|---------|----------------|----------|

「健康寿命」について、お聞かせください。

問13 あなたが健康について気を付けていることは何ですか？（○はいくつでも）

- 1 睡眠・休養を十分にとる
- 2 食事・栄養に気を配っている
- 3 定期的に歯科検診を受けている
- 4 定期的に健康診断を受けている
- 5 運動やスポーツをするようにしている
- 6 ストレスをためないようにしている
- 7 酒・たばこを控えている、または、やめている
- 8 不安や悩みを相談できる人間関係を築いている
- 9 新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている
- 10 運動に係る行事（グラウンドゴルフ等）に参加している
- 11 趣味活動やクラブ活動に参加している
- 12 地域活動や奉仕活動等に参加している
- 13 健康について気を付けていることはない
- 14 その他（具体的に： _____）

「行政サービスのデジタル化」について、お聞かせください。

デジタル技術が日々進歩し市民生活に浸透する中、各自治体においても新たな生活様式への変革を図る「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の動きを加速させています。

当市としても、将来にわたり持続可能で安定した行政運営を行い、市民の利便性を向上させるため、行政サービスのデジタル化を計画的に進めています。

問14 あなたは現在、個人でインターネットを利用していますか？利用している場合は、ご利用端末にすべて○をつけてください。（○はいくつでも）

インターネットを利用している	1 パソコン	2 スマートフォン
	3 携帯電話（スマートフォンを除く）	4 タブレット型端末
	5 家庭用ゲーム機	6 インターネットに接続できるテレビ
	7 その他（具体的に： _____）	
インターネットを利用していない	8 インターネットは利用していない	

問 15 デジタル技術の導入によって、どのような行政サービスの利便性向上に期待しますか？
(○は3つ以内)

- | |
|---|
| 1 窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る |
| 2 オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる |
| 3 窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー）が利用できる |
| 4 飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる |
| 5 市からの情報提供が強化される（SNSやLINE、ホームページなど） |
| 6 行政が保有するデータを利用・活用できる（オープンデータ） |
| 7 パソコンやスマートフォンの操作支援や講習会が受けられる |
| 8 業務の効率化により行政コストが削減できる |
| 9 特になし |
| 10 その他（具体的に： _____） |

「市からの情報発信」について、お聞かせください。

問 16 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？(○は3つ以内)

- | | | |
|---------------------|-------------|---------|
| 1 子育て | 2 健康・医療・福祉 | 3 防災・防犯 |
| 4 道路整備 | 5 観光・イベント | 6 環境 |
| 7 教育 | 8 産業 | 9 生活 |
| 10 スポーツ | 11 文化・歴史・芸術 | |
| 12 その他（具体的に： _____） | | |

問 17 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|-------------|--------------|
| 1 広報まきのほら | 2 ホームページ | 3 Facebook |
| 4 市公式LINE | 5 教育委員会だより | 6 新聞、テレビ、ラジオ |
| 7 区、町内会の会合 | 8 市民グループの会合 | 9 議員の話 |
| 10 職員の話 | 11 公共施設の資料等 | 12 議会だより |
| 13 その他（具体的に： _____） | | |

「行政サービス」について、お聞かせください。

問18 あなたは、市の取組について満足していますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

※取組によっては、あなたに直接関係のない取組も含まれるかもしれませんが、ご家族・知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○をつけてください。

(○は1つずつ)

	満足度 (評価できる取組だと思うか)			
	満足	←→	不満	
【記入例】 3 火災・救急などの消防体制	1	2	3	4
防災				
1 震災・水害・浸水対策	1	2	3	4
2 自主防災組織の強化（防災訓練や防災資機材の補助など）	1	2	3	4
3 火災・救急などの消防体制	1	2	3	4
4 盗難などの犯罪防止	1	2	3	4
5 学校や地域で子どもを守る活動（軒先運動や青色パトロールなど）	1	2	3	4
6 道路交通の安全対策	1	2	3	4
健康福祉				
7 子育て支援	1	2	3	4
8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援	1	2	3	4
9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4
10 高齢者福祉	1	2	3	4
11 障がい者福祉	1	2	3	4
12 健康づくり	1	2	3	4
13 地域医療や榛原病院の体制	1	2	3	4
14 地域福祉活動	1	2	3	4

満足度 (評価できる取組だと思うか)				
満足 ←————→ 不満				
教育文化				
15 子どもを通わせたいと思える学校環境(学習内容、学校行事、地域連携など)	1	2	3	4
16 学校再編の推進	1	2	3	4
17 生涯学習活動の充実	1	2	3	4
18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会	1	2	3	4
19 図書館の機能充実	1	2	3	4
20 スポーツ環境の充実	1	2	3	4
産業経済				
21 農業者・水産業者への支援	1	2	3	4
22 茶の消費促進	1	2	3	4
23 その他(茶以外)特産品の消費促進	1	2	3	4
24 荒廃農地の活用	1	2	3	4
25 耕作しやすい農地整備	1	2	3	4
26 企業誘致	1	2	3	4
27 起業に対する支援	1	2	3	4
28 雇用機会の創出や就業環境の充実	1	2	3	4
29 商工業者への支援	1	2	3	4
30 市内での買い物環境	1	2	3	4
31 観光誘客の促進	1	2	3	4
32 各種イベントの開催	1	2	3	4

		満足度 (評価できる取組だと思うか)			
		満足	←	→	不満
生活基盤					
33	道路や河川の補修・整備	1	2	3	4
34	上水道の供給環境	1	2	3	4
35	住宅、店舗、工場などの計画的な誘導	1	2	3	4
36	住宅地の確保や空き家情報の発信	1	2	3	4
37	公園・緑地の管理や整備	1	2	3	4
38	ごみの適正な処理などの生活環境対策	1	2	3	4
39	市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組	1	2	3	4
40	再生可能エネルギー・省エネルギーの推進	1	2	3	4
41	街並みや周辺の景観・美観への保全	1	2	3	4
42	自然環境の保全（海・川・森林・生物の保全活動）	1	2	3	4
43	富士山静岡空港を活用するための取組	1	2	3	4
44	公共交通の充実（バス、デマンド乗合タクシーなど）	1	2	3	4
市政経営					
45	自治会の住民自治活動への支援	1	2	3	4
46	行政と地域の連携・協働	1	2	3	4
47	行政改革（効果的、効率的な運営）	1	2	3	4
48	市の情報や知りたい取組などの情報発信（広報紙や市公式LINEなど）	1	2	3	4
49	姉妹都市、友好都市などとの交流	1	2	3	4

問 19 あなたは、市の取組の中でどれが重要だと思いますか？問 18（市の取組への満足度）の 1～49 の項目から上位 5 つまでを選んで番号を記入してください。（数字で記入）

【記入例】	1位	2位	3位	4位	5位
	1	15	7	12	30

1位	2位	3位	4位	5位

あなたご自身について、お聞かせください。

問 20 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1 あなたの性別は？

- 1 男性
2 女性
3 回答しない

2 あなたの年齢は？

- 1 19 歳以下 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳 5 50～59 歳
6 60～64 歳 7 65～69 歳 8 70～79 歳 9 80 歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？

- 1 一人暮らし 2 夫婦のみ 3 二世世代家族（親と子）
4 三世世代家族（親と子と孫）以上 5 その他（具体的に： ）

4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。

- 1 子はいない 2 未就学児（小学校入学前） 3 小学生
4 中学生 5 高校生・予備校生・大学受験生
6 短大・高専・大学・大学院・専門学生など 7 社会人（2～6に該当しない場合を含む）

5 あなたの職業は？

- 1 農林漁業 2 サービス業 3 製造業 4 建設業
5 飲食業 6 運輸業 7 介護職 8 会社員
9 公務員・団体職員（役員含む）など 10 学生
11 無職（主婦・主夫などを含む） 12 その他（具体的に： ）

6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

- 1 相良・福岡 2 波津・須々木 3 大江・片浜 4 大沢・菅山
5 萩間 6 地頭方 7 静波 8 細江
9 川崎 10 勝間田 11 牧之原 12 坂部

次ページの設問へのご回答をお願いします。

日ごろ思うこと・感じること、なんでもお聞かせください。

問21 日ごろの暮らしの中で、感じていることや考えていること、市の取組やまちづくりに対するアイデアなど、ご自由にお書きください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、この調査票を同封の返信用封筒にお入れいただき、
お近くの郵便ポストに **5月12日（月）** までにご投函ください。

※インターネットにてご回答いただいた方は、調査票の返送は不要です。

※回答結果については、市広報紙 8 月号に掲載予定です。



令和 7 年度 牧之原市 市民意識調査 報告書

発行：令和 7 年 6 月
発行者：牧之原市

企画・編集：牧之原市役所 企画政策部 企画政策課
〒421-0495
静岡県牧之原市静波 447-1
TEL 0548-23-0045
FAX 0548-23-0059
E-mail seisaku@city.makinohara.lg.jp
URL <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>